TOSHIBA
Leading Innovation >>>

:: ご使用の前に 6

:: 設置と基本の接続・設定 15

:: 外部機器の接続・設定 29

:: その他の機能の接続・設定 39

:: 資料 52

REGZA

地上デジタルハイビジョン液晶テレビ
取扱説明書

19A8000／22A8000

準備編

：：必ず最初にこの「準備編」をお読みください。
：：本書では安全上のご注意、設置、接続、設定などについて説明しています。

このたびは東芝テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書「準備編」と別冊の「操作編」をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

準備編ガイド

●以下はテレビ番組を視聴できるようになるまでの基本的な準備の流れです。

1 付属品を確認する 5ページ

2 「安全上のご注意」〜「たいせつなお知らせ」を読む 6〜14ページ

各部のなまえや機能を確認したいとき……15〜18ページ

3 テレビの設置、接続、設定をする 19〜28ページ

- テレビを設置する……19〜20
- B-CAS（ビーキャス）カードを入れる……20
- アンテナ線を接続する……21〜22
- リモコンの準備をする……23
- 電源を入れる……24
- はじめての設定をする……25〜27

※ 正しく受信できないとき……28

4 B-CAS（ビーキャス）カードの登録をする

- B-CASカードが貼ってある説明書をご覧ください。

5 お客様登録をする

- 付属の「液晶テレビ〈レグザ〉お客様登録サービス」のチラシをご覧ください。

●以下は必要になったときにお読みください。

外部機器の接続・設定 29〜38ページ

- 本機に接続できる機器や、接続・設定のしかたなどについて説明しています。

その他の機能の設定 39〜51ページ

- 「はじめての設定」の各項目やその他の機能を個別に設定したり、お買い上げ時の設定に戻したりする場合の操作方法について説明しています。

資料を見る 52〜66ページ

- チャンネル自動設定一覧、ソフトウェアライセンス情報などを掲載しています。

準備編もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意 …… 6
使用上のお願いとご注意 …… 13
たいせつなお知らせ …… 14

設置と基本の接続・設定

各部のなまえ …… 15
テレビを設置する …… 19
B-CAS(ビーキャス)カードを入れる …… 20
アンテナを接続する …… 21
リモコンの準備 …… 23
電源を入れる …… 24
はじめての設定をする …… 25
正しく受信できないとき …… 28

外部機器の接続・設定

本機に接続できる外部機器一覧 …… 29
ビデオやDVDプレーヤー /レコーダーをつなぐ …… 30
オーディオ機器をつなぐ …… 32
ビデオカメラレコーダーをつなぐ …… 34
ゲーム機をつなぐ …… 35
パソコンをつなぐ …… 35
HDMI連動設定 …… 36
外部入力設定 …… 37
録画時間設定 …… 38

その他の機能の接続・設定

アンテナの方向調整 …… 39
チャンネル設定 …… 40
- 自動設定 …… 40
- 手動設定 …… 43
- チャンネルスキップ設定 …… 45
- ステレオ／モノラルの設定 …… 46
- 無信号消音設定 …… 46
- チャンネル設定を最初の状態に戻す …… 46

簡易確認テスト …… 47
文字スーパー表示設定 …… 47
地域の設定 …… 48
室内環境設定 …… 48
お買い上げ時の設定に戻すには …… 49
メニュー 一覧 …… 51

資料

地上デジタル放送について …… 52
地上アナログ放送の自動設定一覧表 …… 53
地上デジタル放送の放送(予定)一覧表 …… 58
東芝デジタルテレビA8000で使われる
ソフトウェアのライセンス情報 …… 60
東芝デジタルテレビA8000で使われるフリー
ソフトウェアコンポーネントに関するエンド
ユーザーライセンスアグリーメント原文(英文) …… 61
対応機器一覧 …… 66

保証とアフターサービス …… 裏表紙

この取扱説明書内のマークの見かた

参照していただきたい情報が記載されているページの番号を示しています。

機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。

取扱上のお願いを記載しています。

取扱上のご注意を記載しています。

- この取扱説明書は、19A8000と22A8000で共用です。記載しているイラストは19A8000のものです。22A8000はイメージが多少異なります。

別冊(操作編)もくじ

※ 以下は別冊の内容です。(操作編もよくお読みください)

操作編(別冊)

はじめに

- 本機の特長
- 各部のなまえ
- リモコン操作ボタン
- 基本操作
  - 電源を入れる
  - 電源を切る
  - 音量を調整する
  - クイックメニューを使う

テレビを見る

- テレビ放送を見る
- ビデオ・DVDなどを見る
- 見たい番組を選ぶ
- 番組表を便利に使う
- 番組の情報を見る
- 画面サイズを調整する
  - 画面サイズを切り換える
  - 画面のスキャンモードを設定する
  - 画面の表示領域を調整する
  - 画面の位置や幅を調整する
- 便利な機能を使う
  - 映像を一時静止させる
  - 字幕を見る
  - 音声を切り換える
  - 二重音声を切り換える
  - 映像、音声を切り換える

映像・音声設定をする

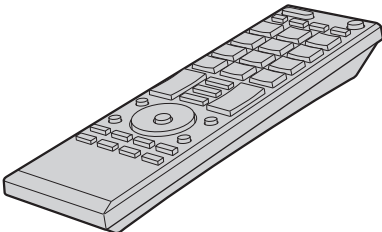
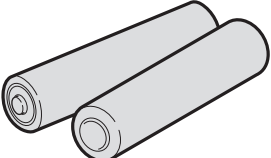
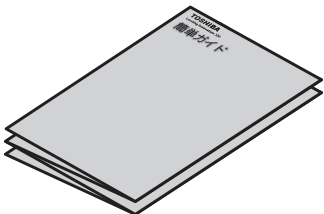
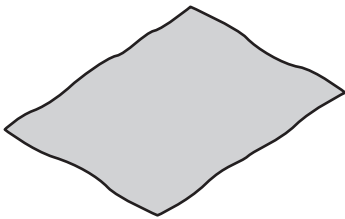
- お好みの映像を選ぶ
- お好みの映像に調整する
- カラー調整
- ノイズリダクション
- ヒストグラムバックライト制御
- 明るさセンサー
- 明るさ調整
- ファインシネマ設定
- ヒストグラム表示
- お好みの音声を選ぶ

録画・予約をする

- 見ている番組の録画をする
- 番組を指定して録画・予約をする
- 日時を指定して録画・予約をする
- 予約のリストの確認・予約の取消
- 予約に関するお知らせ

レグザリンクを使う

- はじめに
- レグザリンクでできること
- 映像を見る/機器選択

困ったときは

- ご確認ください
  - 自然現象や本機の特性に関すること
  - 基本操作
  - 映像
  - 音声
  - デジタル放送関係
  - HDMI連動機能
- エラー・メッセージ表示について
  - 全般
  - HDMI連動機能対応の東芝レコーダーに録画・予約をするときのエラー表示

その他

- タイマーを使う
- 省エネ設定
- 文字入力をする
- ダウンロードについて
- お知らせを見る
- アイコン一覧
- メニュー 一覧
- Basic Operations
- さくいん
- 本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット
- お手入れについて
- 仕様
- B-CASカードID番号記入欄
- 保証とアフターサービス

付属品

● 本機には以下の付属品があります。お確かめください。
● アンテナや外部機器に接続するためのケーブル、コードなどは付属されておりません。機器の配置や端子の形状、使用環境などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

付属品／名称	付属数
リモコン（CT-90328）	1個
単四形乾電池（R-03）	2個
クリップ ● 柱や丈夫な壁などに転倒防止の処置をするのに使います。 19	1個
クリーニングクロス	1枚

付属品／名称	付属数
「液晶テレビ〈レグザ〉お客様登録サービス」のチラシ	1枚
取扱説明書 準備編（本書） 操作編	各1部
簡単ガイド	1部
B-CAS（ビーキャス）カード ● B-CASカードはテレビ本体の背面に貼付された袋の中にあります。 ※ B-CASカードは、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから供給されたものを同梱しています。	1枚

安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表　示	表示の意味
⚠警告	“取扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷*1を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、人が軽傷*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること”を示します。

＊１： 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
＊２： 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊３： 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の例】

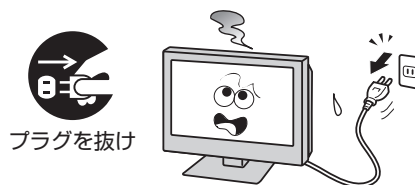
図記号	図記号の意味
⃠ 禁　止	“⃠”は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	“●”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注　意	“△”は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

異常や故障のとき

■ **煙が出ている、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

プラグを抜け

■ **画面が映らない、音が出ないときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く**

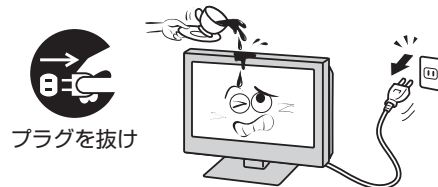
そのまま使用すると、火災の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

プラグを抜け

⚠警告

異常や故障のとき つづき

■ **内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

■ **落としたり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
キャビネットが破損したままで取り扱うと、けがのおそれがあります。
お買い上げの販売店に、点検・修理をご依頼ください。

■ **電源コードや電源プラグが傷んだり、発熱したりしたときは、本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜く**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
電源コードや電源プラグが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

設置するとき

■ **本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する**

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

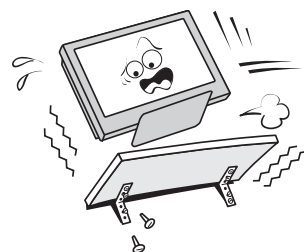
指 示

■ **屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には置かない**

火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー
室での使用禁止

■ **ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない**

テレビが落ちて、けがの原因となります。
水平で安定したところに据え付けてください。
テレビ台を使用するときは、その取扱説明書もよくお読みください。

■ **振動のある場所に置かない**

振動でテレビが移動・転倒し、けがの原因となります。

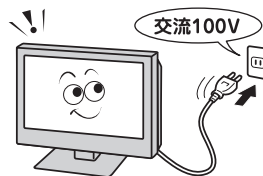
安全上のご注意 つづき

⚠警告

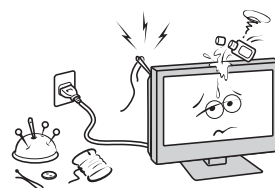
設置するとき つづき

■ **電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む**

- 交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- 差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。
- 傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

指示

■ **上にものを置かない**

- 金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
- 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

上載せ禁止

■ **壁に取り付けて使用する場合、壁掛け工事は、お買い上げの販売店に依頼する**

工事が不完全だと、けがの原因となります。

指示

使用するとき

■ **修理・改造・分解はしない**

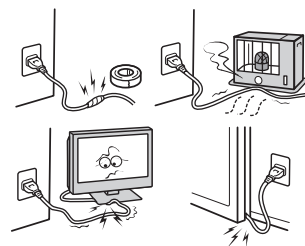
内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

■ **電源コード・電源プラグは、**

- **傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したり（熱器具に近づけるなど）しない**
- **引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない**
- **無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない**

火災・感電の原因となります。

禁止

■ **異物を入れない**

通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様にはご注意ください。

異物挿入禁止

■ **雷が鳴りだしたら、テレビ・電源コード・アンテナ線および本機に接続した機器やケーブル・コードに触れない**

感電の原因となります。

禁止

⚠警告

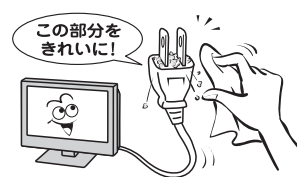
使用するとき つづき

■ 包装に使用しているビニール袋でお子様が遊んだりしないように注意する

かぶったり、飲み込んだりすると、窒息のおそれがあります。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

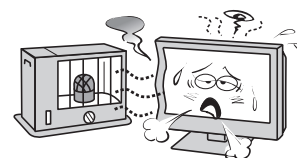
お手入れについて

■ ときどき電源プラグを抜いて点検し、刃や刃の取付け面にゴミやほこりが付着している場合は、きれいに掃除する

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

⚠注意

設置するとき

■ 温度の高い場所に置かない

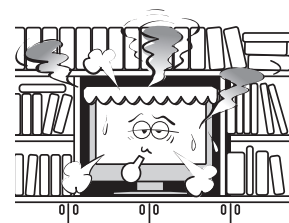
直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置くと火災の原因となることがあります。
また、キャビネットの変形や破損などによって、感電の原因となることがあります。

■ 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

■ 転倒・落下防止の処置をする

転倒・落下防止の処置をしないと、テレビの転倒・落下によってけがなどの危害が大きくなることがあります。
転倒防止のしかたは 19 をご覧ください。

■ 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 壁に押しつけないでください。(10cm以上の間隔をあける)
- 押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

安全上のご注意 つづき

⚠注意

設置するとき つづき

■ **車(キャスター)付きのテレビ台に設置する場合は、キャスターが動かないように固定する**

固定しないとテレビ台が動き、けがの原因となることがあります。
畳やじゅうたんなど柔らかいものの上に置くときは、キャスターをはずしてください。キャスターをはずさないと、揺れたり、傾いたりして倒れることがあります。

指示

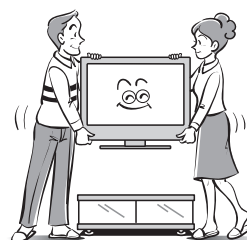
■ **移動したり持ち運んだりする場合は、**

● **離れた場所に移動するときは電源プラグ・アンテナ線・機器との接続線および転倒防止をはずす**
はずさないまま移動すると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となったり、テレビが転倒してけがの原因となったりすることがあります。

指示

● **包装箱から出すとき、持ち運ぶときは、無理のない人数で取り扱う**
無理をすると、からだを痛めたり、テレビを落としてけがをしたりする原因となることがあります。

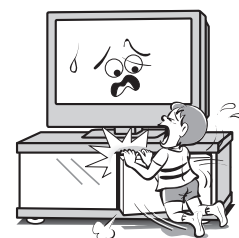
● **車(キャスター)付きのテレビ台に設置している場合、移動させるときは、キャスターの固定を解除して、テレビを支えながら、テレビ台を押す**
テレビを押したり、テレビを支えていなかったりすると、テレビが落下してけがの原因となることがあります。

● **衝撃を与えないように、ていねいに取り扱う**
テレビが破損してけがの原因となることがあります。

使用するとき

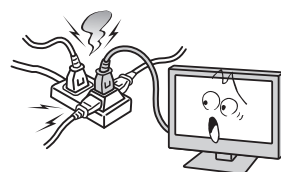
■ **テレビ台を使用するときは、**

● **不安定な台を使わない**
● **片寄った載せかたをしない**
● **テレビ台のトビラを開いたままにしない**

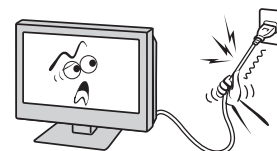
倒れたり、破損したり、指をはさんだり、引っ掛けたりして、けがの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

禁止

■ **コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない**

タコ足配線をしないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

禁止

■ **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない**

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグを持って抜いてください。

引っ張り禁止

⚠注意

使用するとき つづき

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

■ テレビやテレビ台にぶら下ったり、上に乗ったりしない

落ちたり、倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

■ 旅行などで長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。
本体やリモコンの電源ボタンを押して画面を消した場合は、本機への通電は完全には切れていません。本機への通電を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ ヘッドホーンやイヤホーンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ 液晶テレビの画面をたたいたり、衝撃を加えたりしない

ガラスが割れて、けがの原因となることがあります。
もしも、ガラスが割れて液晶（液体）がもれたときは、液晶に触れないでください。
もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
衣服などについたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
床や周囲の家具、機器などについたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

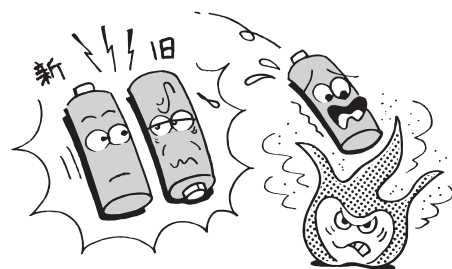
安全上のご注意 つづき

⚠注意

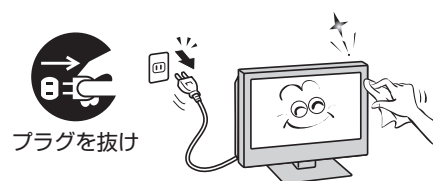
使用するとき つづき

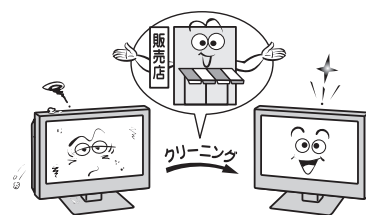
■ リモコンに使用している乾電池は、

- 指定以外の乾電池は使用しない
- 極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない
- 充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしない
- 火や直射日光などの過激な熱にさらさない
- 表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない

これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
器具についたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

お手入れについて

■ お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。
お手入れのしかたは操作編 60 をご覧ください。

■ 1年に一度は内部の清掃を、お買い上げの販売店にご相談ください

本体の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。内部清掃費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

使用上のお願いとご注意

取扱いについて

- ご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。
- 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動をあたえないでください。
- 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 電源プラグは非常時と長期間ご使用にならないとき以外は、常時コンセントに接続してください。（番組情報を取得するためです）
- 外部入力（ビデオ入力1，2、HDMI入力1，2）の映像や音声には若干の遅れが生じます。以下の場合にはこの遅れによる違和感を感じることがあります。
  - ゲーム、カラオケなどを接続して楽しむ場合
  - DVDやビデオなどの音声を、直接AVアンプなどの外部機器に接続して視聴する場合

蛍光管について

- 本機内部に使用している蛍光管には寿命があります。
  画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しなくなったりしたときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

録画・録音について

- 本機に接続した機器に録画・録音する際は、事前に試し録画・録音をして、正しくできることを確かめておいてください。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。録画・録音したものを権利者の許諾なく、複製・改変したり、インターネットなどで送信・掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為なども違反になりますのでご注意ください。
  - 録画した番組を自分のホームページで見られるようにする。
  - 録画した番組をメールやメッセンジャーサービスなどで他人に送る。

  また、以下の行為も著作権法違反となるおそれがありますのでご注意ください。
  - 番組を録画したビデオテープやDVDなどの媒体を友人に貸す。

  著作権法違反は刑事処罰を受けますので自己責任のもとでご利用ください。なお、著作権法違反によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

- B-CAS（ビーキャス）カードの登録廃止、登録名義変更などについては、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにお問い合わせください。
  お問い合わせ先：
  カスタマーセンター　TEL.0570-000-250
- 「お買い上げ時の設定に戻すには」49を参照して、「すべての初期化」の操作をしてください。
- **廃棄時にご注意願います**
  家電リサイクル法では、お客様がご使用済の液晶テレビを2009年4月1日以降に廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

免責事項について

- 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 録画・録音機器に正しく記録（録画、録音など）できなかった内容の補償、および付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 他の接続機器との組合せによる誤動作や動作不能、誤操作などから生じた損害（録画機器などの故障、録画内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

たいせつなお知らせ

■ 地上デジタル放送サービスの対応機能について

- 本機はデータ放送の視聴はできますが、双方向サービスには対応していません。
- 本機はCATVパススルーでの地上デジタル放送受信に対応しています。

■ 地上デジタル放送の番組情報取得について

- **番組情報を取得するために、番組情報取得設定（操作編 50）を「取得する」にして、毎日1時間以上本機の電源を「切」または「待機」にしておくことをおすすめします。**
  - 地上デジタル放送では、番組情報（番組名や放送時間など）が放送電波の中にはいって送られてきます。
    本機は、電源が「切」または「待機」のときに番組情報を自動的に取得して、番組表表示や番組検索、予約などに使用します。電源が「入」のときにも番組情報は取得しますが、視聴中のデジタル放送以外の放送の番組情報は取得できない場合があります。（デジタル放送の種類や本機のご使用状態によって、取得できる内容は異なります）
  - 電源プラグを抜いている場合、および番組情報取得設定（操作編 50）を「取得しない」に設定している場合には、番組情報は取得できません。番組情報が取得できていない場合には、番組表が正しく表示されなかったり、番組検索や予約などができなかったりすることがあります。

■ 同梱のB-CAS（ビーキャス）カードについて

- B-CASカードは、常に本体に挿入しておいてください。 20
  ※ B-CASカードは、デジタル放送の受信に必要です。
  B-CASカードの登録や取扱いの詳細は、カードが貼ってある説明書をご覧ください。
- カードの破損、紛失、盗難などの場合、および本機の廃棄などでカードが不要となった場合などは、（株）ビーエス･コンディショナルアクセスシステムズにご連絡ください。
  お問い合わせ先：カスタマーセンター　TEL.0570-000-250

■ HDMI連動機能 36 について

- 本書に記載していない機器を本機のHDMI入力端子に接続した場合に、本機がHDMI連動機能対応機器として認識し、一部の連動操作ができることがありますが、その動作については保証いたしかねます。

■ 本機の現在時刻の表示（操作編 10 の図を参照）について

- 本機はデジタル放送から現在時刻を取得しています。デジタル放送を受信しない場合、本機の現在時刻表示はできません。

■ 取扱説明書（本書および別冊の操作編）について

- 記載されているテレビ画面表示は、実際に表示される画面と文章表現などが異なる場合があります。画面表示については実際のテレビ画面でご確認ください。
- 受信画面の図などに記載されている番組名などは架空のものです。
- 記載されている機能の中には、放送サービス側がその運用をしていない場合には使用できないものがあります。
- 画面に表示されるアイコン（絵文字や絵記号）については、「アイコン一覧」（操作編 54）をご覧ください。
- 本書および別冊の操作編、画面表示、リモコンの操作ボタン名などでは、以下の略語を使用しています。

略　語	意　味
デジタル放送、地上デジタル、地デジ	地上デジタル放送
地上アナログ、地アナ	地上アナログ放送

■ ソフトウェアの更新について

- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、本機内部のソフトウェア（制御プログラム）を更新する場合があります。
  本機の自動ダウンロード機能を「する」の状態に設定しておくと、放送電波で送られるソフトウェアを本機が受信し、自動的にソフトウェアを更新することができます。（お買い上げ時は、「する」の状態に設定されています）
  ソフトウェアの更新や自動ダウンロードについては、操作編の 52 をご覧ください。

■ インターネットで情報を・・・

- ホームページに最新の商品情報やサービス･サポート情報、その他のお知らせなどを掲載しておりますので、ご覧ください。

■ http://www.toshiba.co.jp/product/tv/

※ 上記アドレスは予告なく変更する場合があります。このような場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ(http://www.toshiba.co.jp/)をご覧ください。

- 東芝総合ホームページからもさまざまな情報を提供しています。

設置と基本の接続・設定

各部のなまえ

- イラストは、見やすくするために誇張、省略しており、実際とは多少異なります。
- 詳しくは[ ]内のページをご覧ください。（代表的なページを示しています）

前面

画面（液晶パネル）

REGZA

TOSHIBA

リモコン受光部 24

明るさセンサー（操作編 27）

オンタイマー

電源
入-緑/待機-赤

19A8000

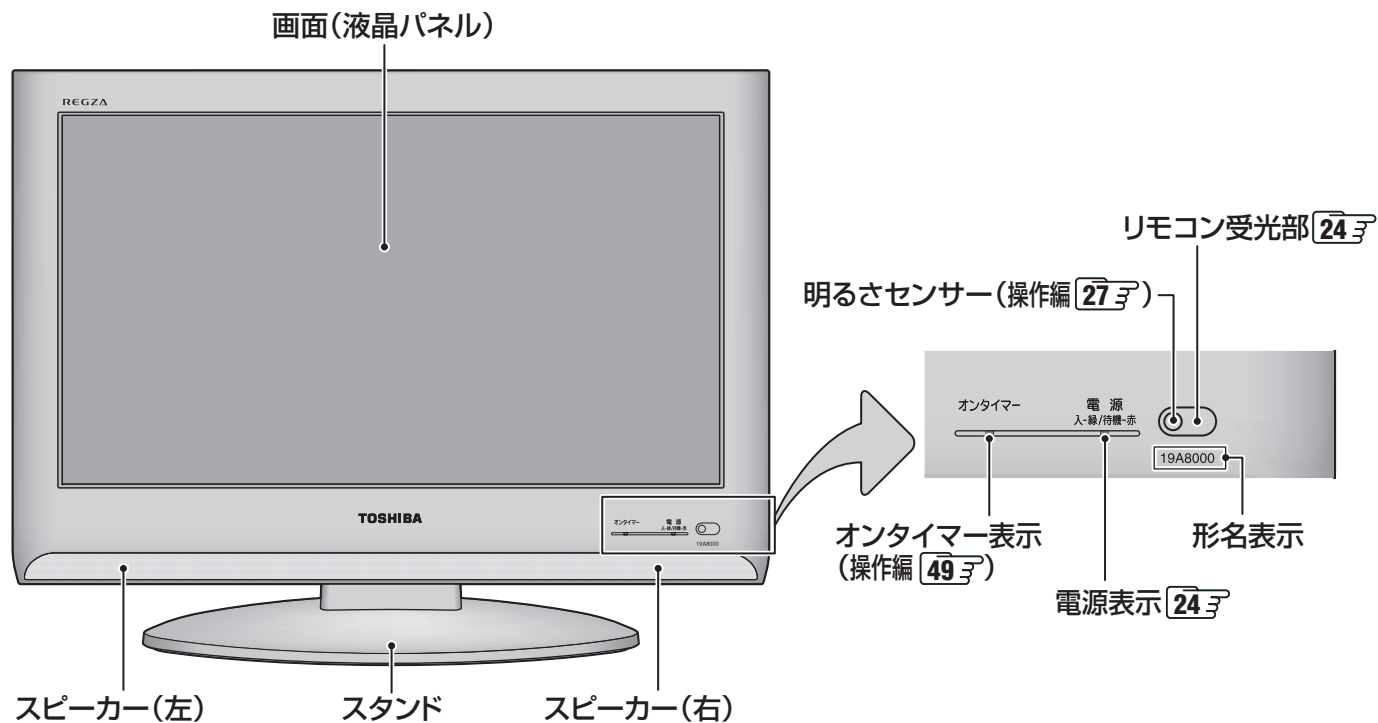
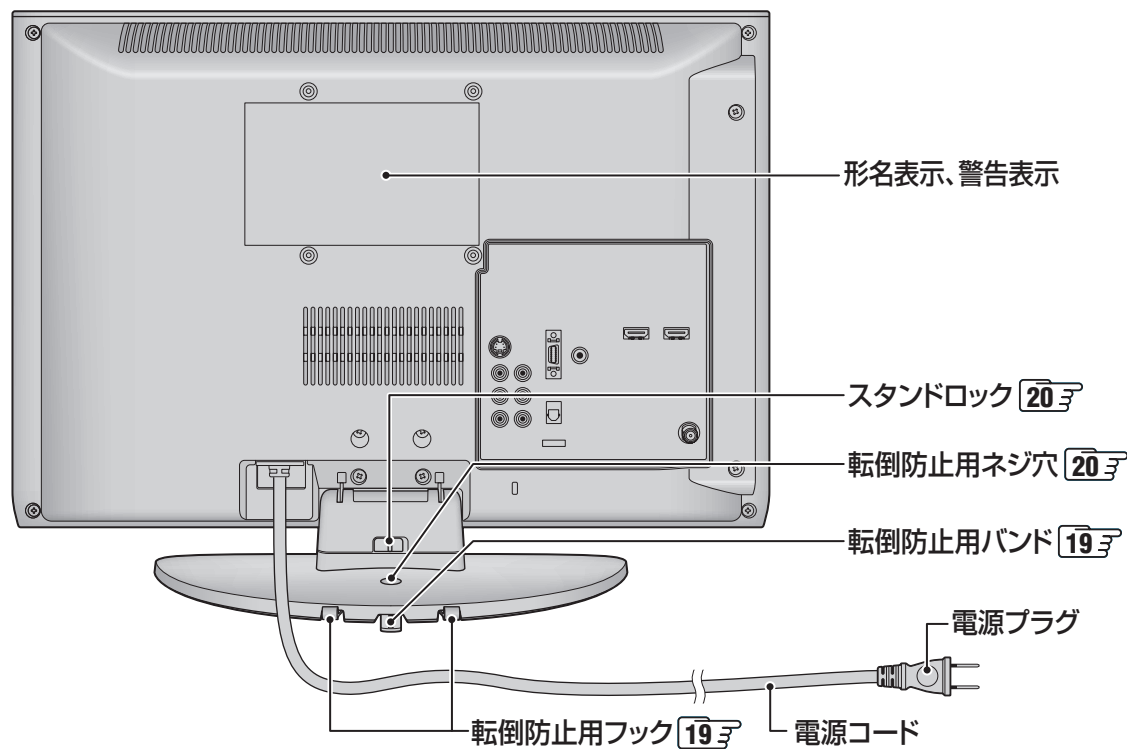
オンタイマー表示
（操作編 49）

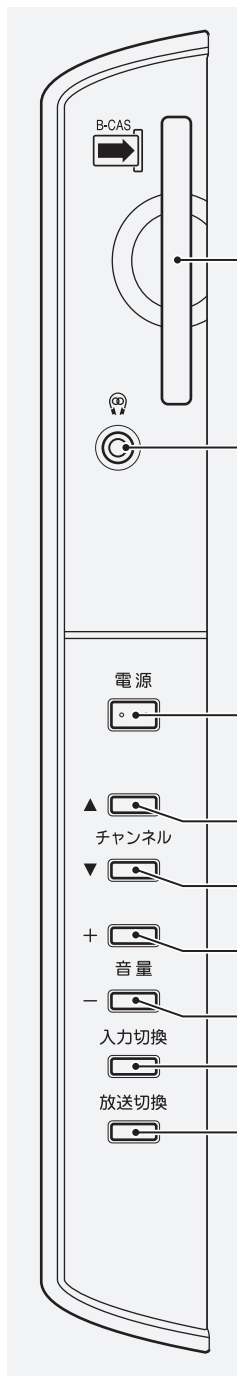
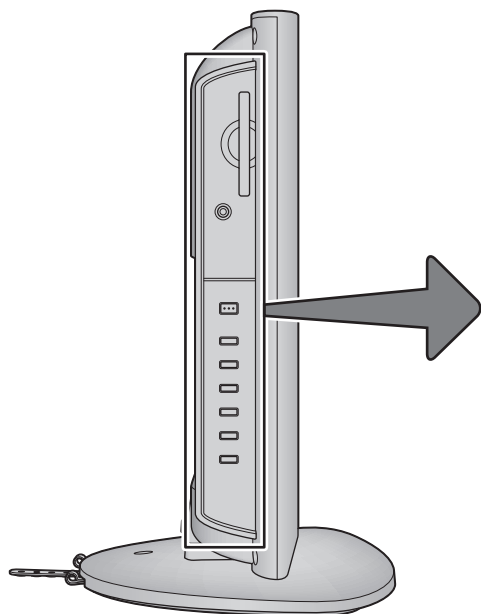
形名表示

電源表示 24

スピーカー（左）

スタンド

スピーカー（右）

背面

各部のなまえ つづき

左側面

B-CASカード挿入口 20

- B-CASカードを差し込みます。

ヘッドホーン端子

- ヘッドホーンで聴くときに、プラグをここに差し込みます。
  モノラルイヤホーンをつないだ場合は、左音声だけが聞こえます。

電源 24

- 電源を「入」、「切」にします。

チャンネル ▲·▼（アップ·ダウン）

- チャンネルを順に切り換えます。

音量 ＋·－

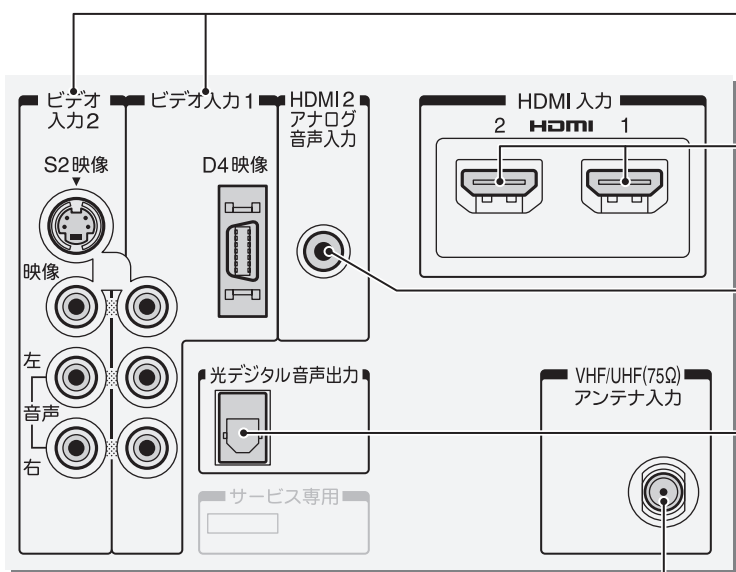
- 音量を調節します。

入力切換

- 入力を順に切り換えます。

放送切換（操作編 8 ）

- 放送の種類を切り換えます。

背面の入出力端子

ビデオ入力1, 2端子 30 31 34 35

- ビデオやDVDプレーヤー(レコーダー)などの映像機器をつなぎます。

HDMI入力1, 2端子 31 32 34 35

- HDMI出力端子のある機器(レグザリンク対応機器など)をつなぎます。

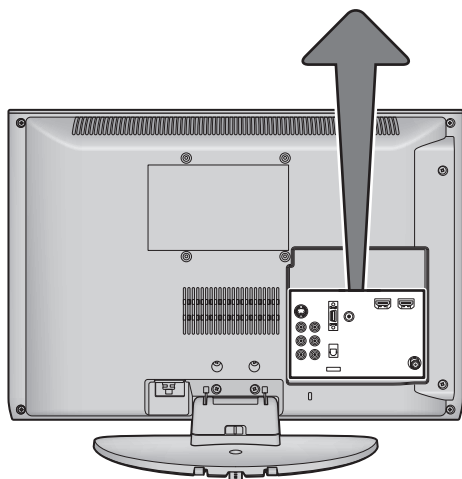
HDMI2アナログ音声入力端子 31 35

- HDMI入力2端子に接続した機器からアナログ音声を入力するときに使います。

光デジタル音声出力端子 32

- オーディオ機器で音声を聴きたい場合などに使います。

VHF/UHF(75Ω)アンテナ入力端子 21 22

- VHF/UHFアンテナをつなぎます。

各部のなまえ つづき

リモコン

- 準備編で使用するリモコンのボタンと、そのおもな機能は以下のとおりです。(ボタンによっては、通常の操作時と機能が異なるものがあります)
- イラストは、見やすくするために誇張、省略しており、実際とは多少異なります。
- 詳しくは 内のページをご覧ください。(代表的なページを示しています)

リモコン発光部 24
- 操作するとき、本体のリモコン受光部に向けます。

電源 24
- 電源の「入」、「待機」を切り換えます。

数字ボタン 48
- 数字の入力が必要な設定で使います。(通常の操作では選局に使います)

電池カバー 23
- 乾電池を入れるときに取りはずします。

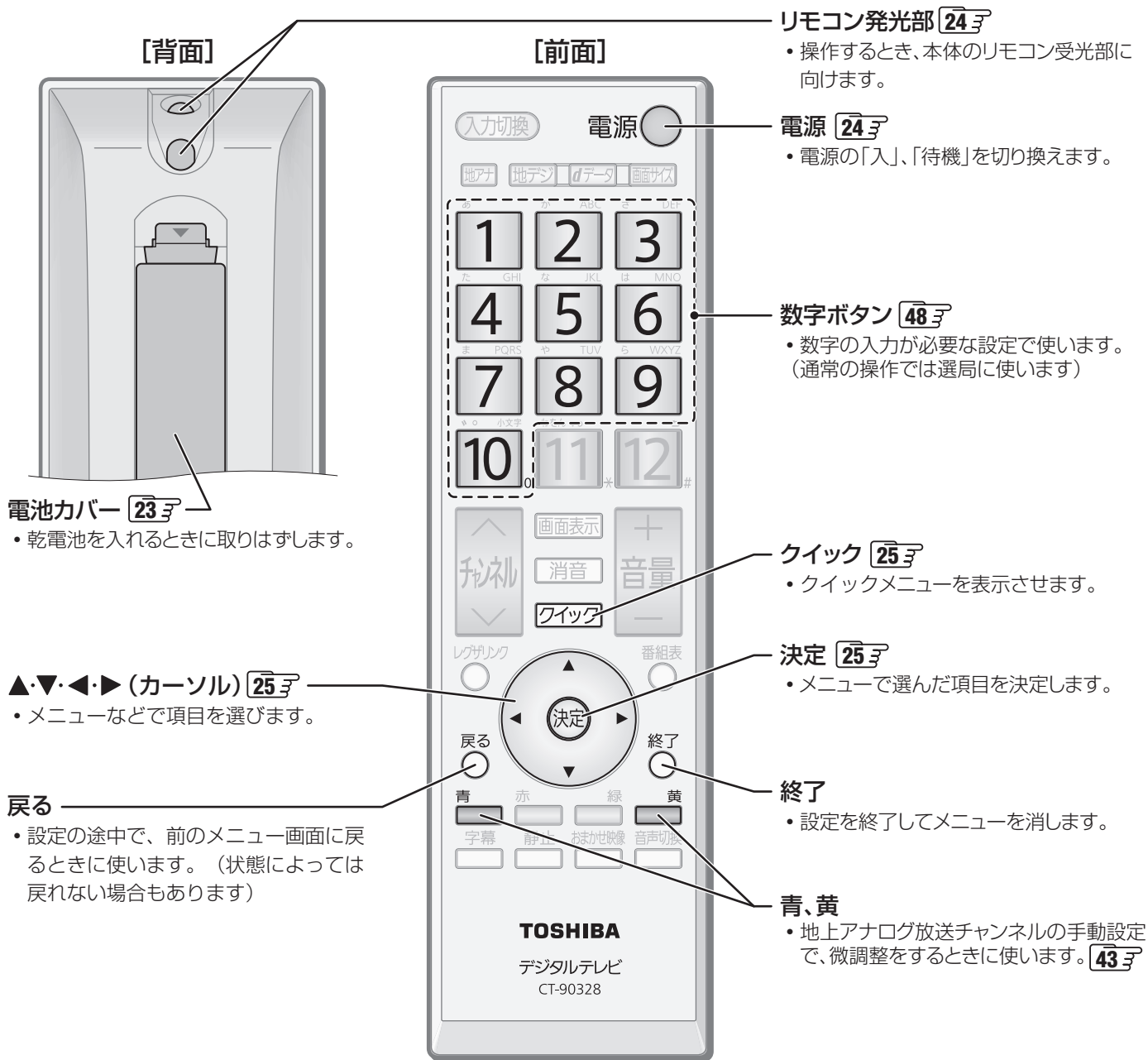
クイック 25
- クイックメニューを表示させます。

決定 25
- メニューで選んだ項目を決定します。

▲·▼·◀·▶ (カーソル) 25
- メニューなどで項目を選びます。

終了
- 設定を終了してメニューを消します。

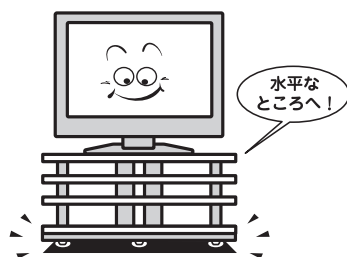
戻る
- 設定の途中で、前のメニュー画面に戻るときに使います。(状態によっては戻れない場合もあります)

青、黄
- 地上アナログ放送チャンネルの手動設定で、微調整をするときに使います。43

テレビを設置する

● 設置の前に「安全上のご注意」 6 ～ 12 を必ずお読みください。

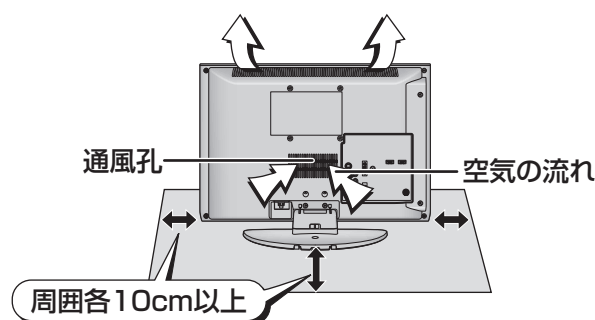
⚠警告	■ 本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する 万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。
⚠注意	■ 転倒･落下防止の処置をする 地震などでのテレビの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止の処置をしてください。

正しい置きかた

■文丈夫で水平な安定した所に設置してください

■テレビ台を使用する場合

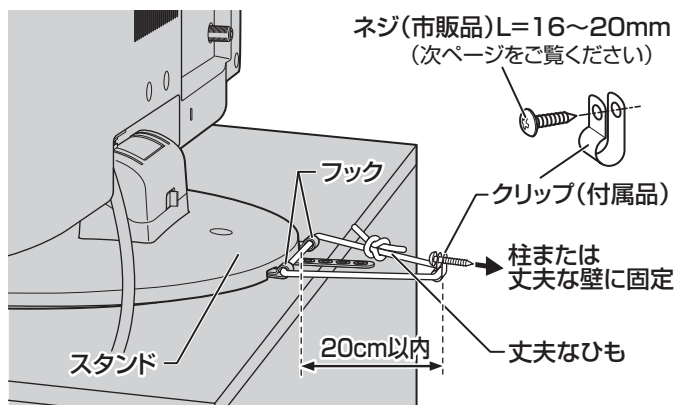
● テレビ台の取扱説明書をご覧ください。

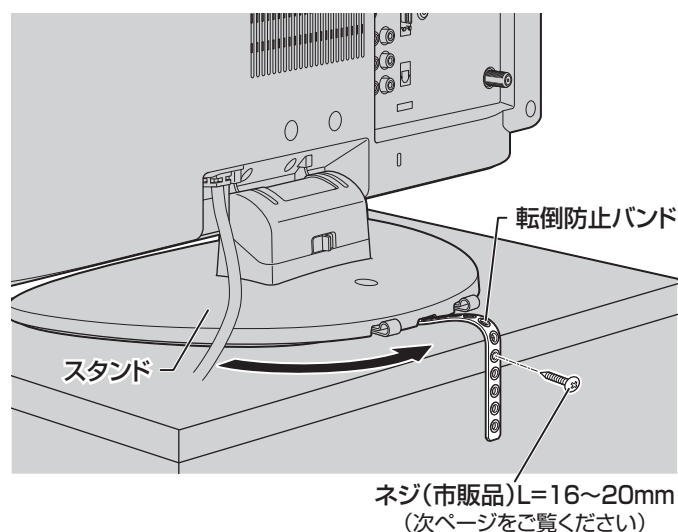
■周囲からはなして置いてください

● 通風孔をふさがないように本機の上および周囲に10cm以上の空間を設けてください。

転倒・落下防止のしかた

● 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。以下に記載した転倒・落下防止のしかたは、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

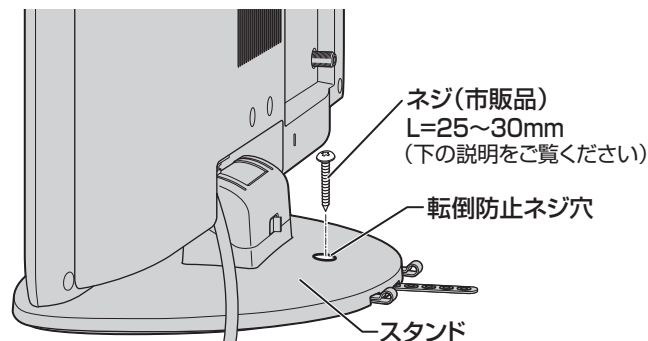
壁または柱などに固定するとき

● スタンド背面のフックと付属のクリップを使用し、確実に支持できる壁または柱などに丈夫なひもで固定してください。
● クリップはスタンド背面のフックと同じくらいの高さの場所にネジ(市販品)で取り付けてください。
※ 針金や鎖など金属製のものは、瞬間的な衝撃に対する柔軟性が乏しく、本機や柱などの取付部分が破損する原因となりますので使用しないでください。
※ 移動や接続をするときは、ひもをはずしてください。

壁または柱などに固定するとき

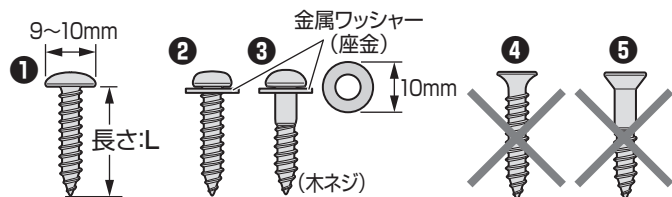
● スタンド底面の転倒防止バンドを後方に回転させて、設置する台の確実に支持できる背面にネジ(市販品)で固定してください。
※ 後方には倒れます。固定後は台を壁などに近づけて設置し、小さなお子様がはいれないようにしてください。

● 他のデジタル機器や電子レンジなどから出る電磁波によって、本機の映像が乱れたり、雑音が出たりする場合があります。相互に影響しない位置に設置してください。

テレビを設置する つづき

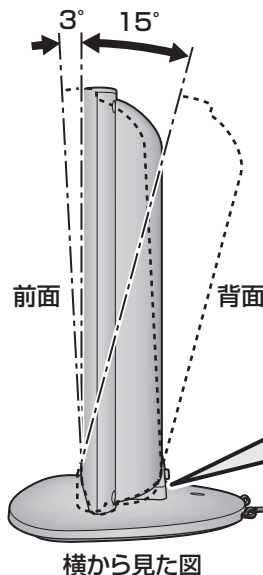
転倒防止ネジ穴を使用して固定するとき

- 転倒防止ネジ穴を使ってネジ（市販品）でスタンドを設置面にしっかりと固定します。
- 材質のしっかりした、十分に厚い場所に固定してください。

※ 固定後は、本機を押したり、持ち上げたりしないでください。破損の原因になります。

固定用のネジ（市販品）について

- 下図を参考に、固定する場所の状況に応じて、しっかりと固定できる長さのタッピングネジや木ネジをご使用ください。
- 頭の形状が❷:ナベ、❸:丸のネジは、固定部の変形・破損防止のためにワッシャーを併用してください。
- 頭の形状が❹:ラッパ、❺:皿のネジは使用しないでください。
- ネジの太さは、公称3.8～4.1mmのものをご使用ください。

本機を見やすい角度に調整するとき

- 本体の前後方向の角度を調整することができます。
  見やすい角度に調整してお使いください。
  （スタンド部分をしっかり押さえて調整してください）

※ スタンドロックは、後方（背面側）への角度調整範囲を制限するものです。（「LOCK（固定）」側にしたときに、調整した角度に固定されるわけではありません）

無理な力を加えないでください。破損の原因になります。

スタンドロックを「LOCK（固定）」側にしてご使用ください。「UNLOCK（解除）」側で使用すると、本機が転倒するおそれがあります。

LOCK　UNLOCK

●「LOCK」側にした状態で、
・前面側に約3°傾けられます。
・背面側に約15°傾けられます。

※スタンドロックは、本体を垂直に立てた状態で操作してください。

B-CAS(ビーキャス)カードを入れる

- **同梱のB-CASカードは、デジタル放送や「放送局からのお知らせ」の受信などに必要です。常に本体に入れておいてください。**

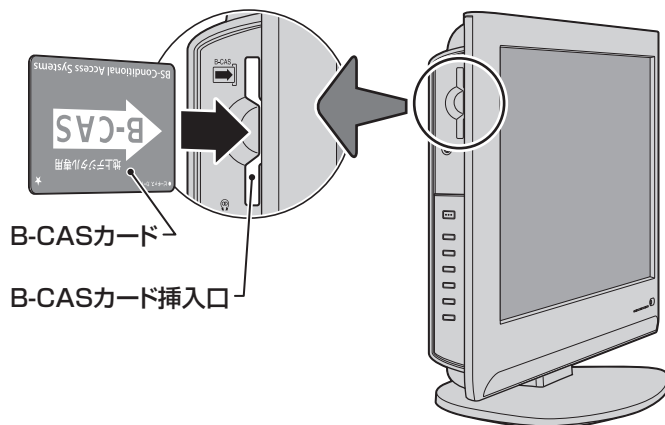
※ B-CASカードを抜き差しするときは、本機の電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。

※ お買い上げ時、B-CASカードは本体背面に貼付された袋の中にはいっています。

● B-CASカードの絵柄面を本体の前面側に向けて、奥まで差し込みます。

※ 取り出すときは、B-CASカードをつかんで抜きます。

- 同梱のB-CASカードの説明書についている「加入申込書用バーコードシール」は、受信契約をする際に加入申込書に必ず貼ってください。
- 「同梱のB-CAS（ビーキャス）カードについて」14 も必ずお読みください。
- 説明書はよくお読みのうえ、のちのお問い合わせ先確認などにそなえて、たいせつに保管してください。

設置と基本の接続・設定

アンテナを接続する

※ アンテナ工事には技術と経験が必要です。アンテナの設置・調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。また、アンテナの取扱説明書もよくお読みください。

● アンテナや接続に必要なアンテナ線(同軸ケーブル)、混合器、分配器などは付属されておりません。機器の配置や端子の形状、使用環境条件などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

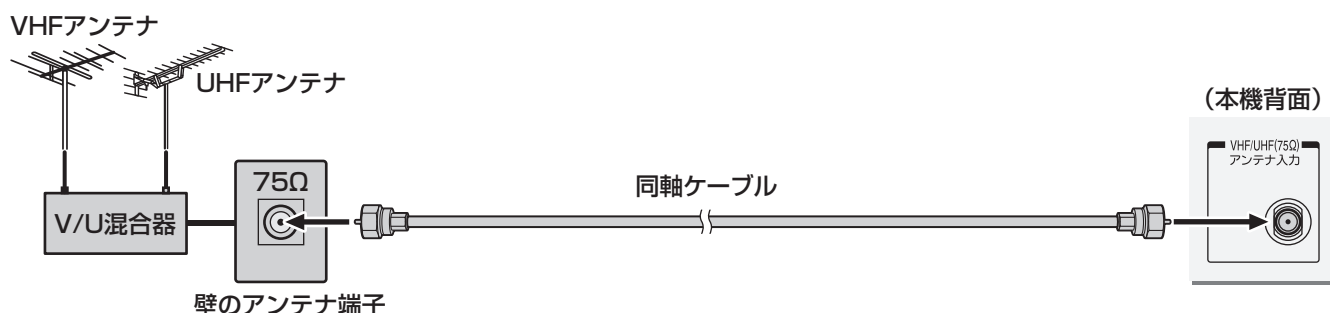
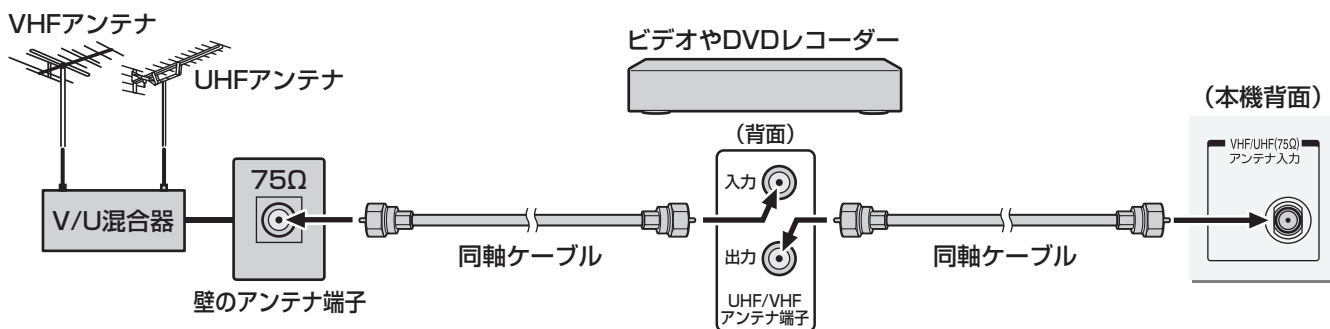
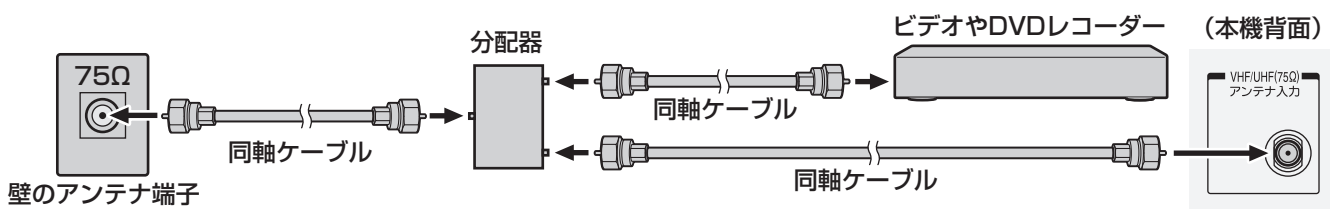
アンテナ線のつなぎかた

● 接続するときは必ず本機および接続機器の電源を切り、電源プラグを抜いてください。

● 地上デジタル放送はUHFアンテナで受信します。UHFアンテナが設置されている場合はそのままで受信できることもありますが、状況によってはアンテナの交換やアンテナ方向の変更などが必要になる場合があります。

● お住まいの地域で地上デジタル放送を視聴できるかどうかは、お買い上げの販売店または「総務省 地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター」(TEL. 0570-07-0101)にご相談ください。(放送エリア内でも、ビルなどの障害物がある場合は視聴できないことがあります)

● 同軸ケーブル両端のコネクターのピンが曲がっていないか確認してください。曲がったままでつなぐと、ショートすることがあります。

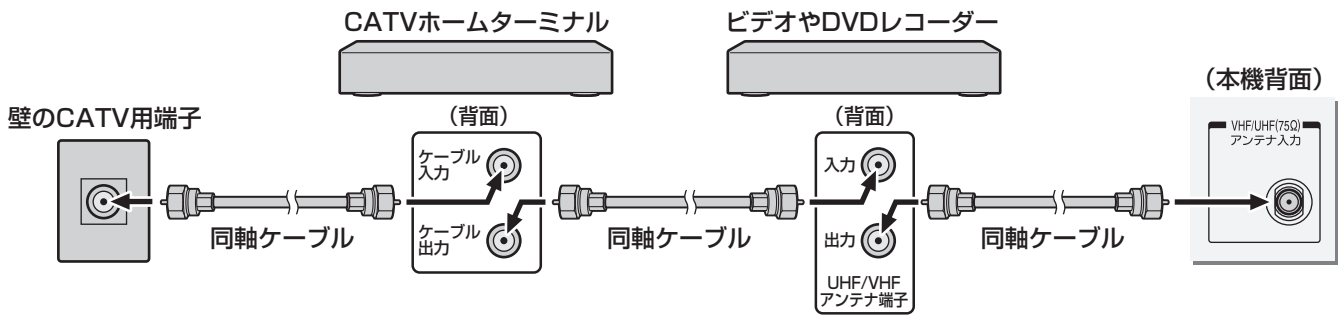
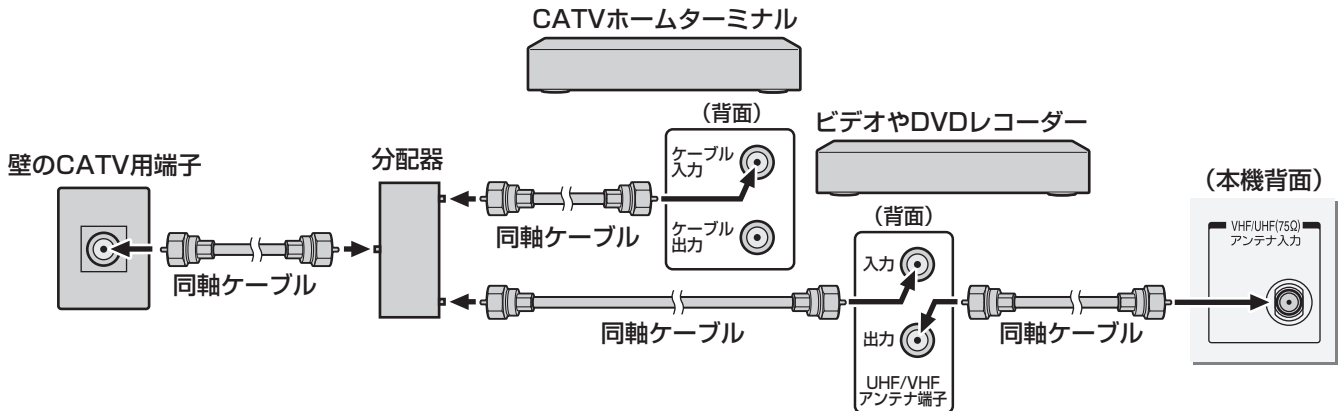
アンテナ線がVHF/UHF混合の場合(またはVHFだけ、またはUHFだけの場合)

ビデオやDVDレコーダーを経由したつなぎかた(壁の端子が75Ωでビデオなどの入力がV・U混合のとき)

分配器を使用したつなぎかた

VHFとUHFのアンテナ線がそれぞれ別になっているとき

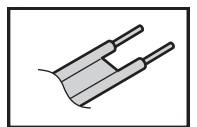
● V/U混合器、形名HMX-77(別売品)などが必要です。詳しくは販売店にご相談ください。

次のページにつづく

アンテナを接続する つづき

CATV（ケーブルテレビ）をご利用のとき

● CATVホームターミナルによっては端子の名称が異なる場合があります。接続方法や、地上デジタル放送の視聴についてなど、詳しくはご契約のケーブルテレビ会社にご相談ください。

● 地上デジタル放送のUHF電波が壁のCATV用端子に送られてきている場合でも、CATVホームターミナルによっては「ケーブル出力」端子にその電波が出力されないことがあります。その場合には、UHFに対応した市販の分配器を使用して、以下のように接続してください。

● VHF/UHFアンテナ線は同軸ケーブルをおすすめします。
平行フィーダー線を使用すると受信状態が不安定になることがあり、妨害電波を受けやすくなります。
● やむをえず、平行フィーダー線を使用するときは、平行フィーダー線をBS・110度CSデジタル用アンテナケーブルから妨害を受けない距離まで離してください。（同軸ケーブルを使用する場合でも、妨害を受けるようであれば、BS・110度CSデジタル用アンテナケーブルから離してみてください）
● アンテナ線を他のデジタル機器に近づけないでください。受信障害の原因となることがあります。
● VHF、UHFアンテナは定期的な点検・交換をおすすめします。アンテナの設置場所は、屋外のため傷みやすく性能が低下します。特にばい煙の多い地域、温泉、海岸の近くでは傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

平行フィーダー線

■ 地上デジタル放送を受信する場合
● 混合器、分波器、分岐器、ブースターなどを使用する場合は、地上デジタル放送の伝送チャンネルに対応したものを選び、妨害波の影響などを防ぐために空き端子には終端抵抗器（75Ω）を接続してください。
● 一般的に地上デジタル放送はUHFアンテナで受信しますが、CATV（ケーブルテレビ）で伝送される場合や共聴システム（VHF帯、またはUHF帯）で伝送される場合もあります。詳しくは、共聴システム管理者（マンション管理者や管理組合など）や、お住まいの地域のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

リモコンの準備

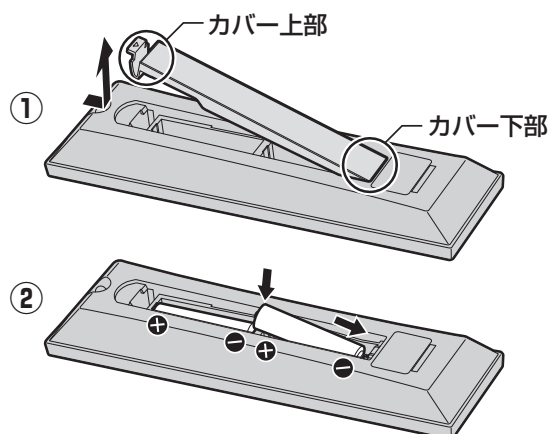
⚠注意	■ リモコンに使用している乾電池は、 ● 指定以外の乾電池は使用しない ● 極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない ● 充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしない ● 火や直射日光などの過激な熱にさらさない ● 表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない ● 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。 もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。器具についたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

● 単四形乾電池R03またはLR03を2個ご使用ください。
お買い上げ時は単四形乾電池R03が2個付属されています。

■カバーをはずし、乾電池を入れる

① カバーをはずすときは、カバー上部の▼部分を▼方向に押しながら、すくい上げます。

② 乾電池の極性表示⊕と⊖を確かめて、図の向きになるように入れます。

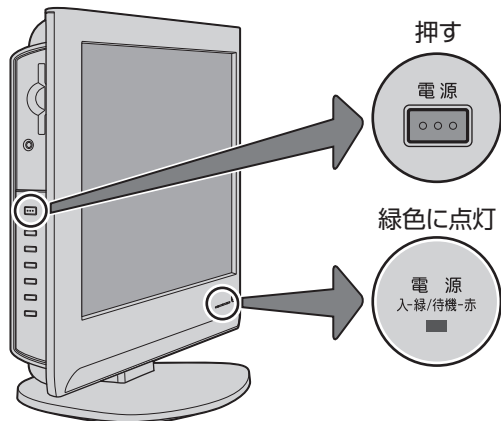
● カバーを閉めるときは、カバー下部の突起をリモコン本体のみぞに差し込んで、パチンと音がするまでカバー上部を押し込みます。

■ 乾電池について
- 乾電池の寿命はご使用状態によって変わります。リモコンが動作しにくくなったり、操作できる距離が短くなったりしたら2個とも新しい乾電池と交換してください。
- 使用済の乾電池は、地方自治体またはお住まいの地域で定められた規則に従って廃棄してください。

電源を入れる

● アンテナの接続が終わったら、本機の電源を入れます。

1 電源プラグをコンセントに差し込む

● 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
● 番組情報を取得するために、電源プラグは非常時と長期間使用しないとき以外はコンセントに差し込んでおいてください。

2 本体左側面の電源ボタンを押す

● 電源がはいり、本体前面の「電源」表示が緑色に点灯します。
● もう一度本体の電源ボタンを押すと、電源が切れます。

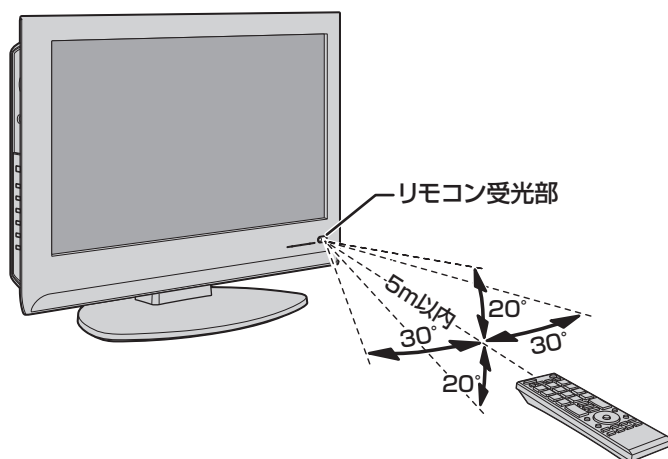
■ はじめて電源を入れたとき

● 「はじめての設定」の画面が表示されます。
次ページ以降の手順に従って設定してください。

■ リモコンで電源を入/待機にするには

● 電源「入」の状態でリモコンの電源を押すと待機状態になり、「電源」表示が赤色に点灯します。
● 「待機」のときにリモコンの電源◯を押すと電源がはいり、「電源」表示が緑色に点灯します。

■ リモコンの使用範囲について

● リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて使用してください。
● リモコン受光部に強い光を当てないでください。強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。
● リモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。動作しなかったり、動作しにくくなったりします。

● リモコン受光部から
距離‥‥5m以内
角度‥‥左右30°以内、上下20°以内

※ リモコン発光部は二ヵ所あり、リモコンを立てた状態でも操作できます。

ご注意

■リモコンについて
●落としたり、振りまわしたり、衝撃などを与えたりしないでください。
●水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。
●分解しないでください。
●高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。

はじめての設定をする

- 本機を使えるようにするための基本的な設定をまとめて行います。
- 設定項目は下表のとおりです。
  「はじめての設定」は何度でもできますが、やり直した場合はそれまでに設定していた内容(地上アナログ放送や地上デジタル放送のチャンネルを手動で設定した内容など)は消去されます。

設定項目	内　容
地上アナログ/デジタル放送チャンネル設定	地上デジタル放送と地上アナログ放送のチャンネルを同時に設定します。
室内環境設定	映像メニューの「おまかせ」をより効果的に働かせるために、室内の照明環境を設定します。

■「地上デジタル/アナログ放送チャンネル設定」について

- 地上アナログ放送の場合
  入力された地方・地域に応じて、リモコンの数字ボタン1～12に自動的にチャンネルが設定されます。
  自動設定される内容については「地上アナログ放送の自動設定一覧表」(53～57)をご覧ください。
  ※ 自動設定された内容の確認や変更をしたい場合は「手動設定」43をしてください。
- 地上デジタル放送の場合
  次ページの手順**8**(または41)の「初期スキャン」をすることで、本機が地上デジタル放送の受信できるチャンネルを探し、リモコンの数字ボタン1～12に自動設定します。**(「初期スキャン」をしないと、地上デジタル放送は受信できません)**
  自動設定は、入力された地方、地域と実際に受信できたチャンネルの情報をもとに、放送システム上の規定などに従って行われます。初期スキャンは(VHF1～12)→(UHF13～62)→(CATV13～63)の順で行われます。
  ※「初期スキャン」によってチャンネルが設定されても、電波が弱い場合には正常に受信できないことがあります。
  ※ 自動設定された内容の確認や変更をしたい場合は「手動設定」44をしてください。

■ 新たに開局したチャンネルを追加登録したいとき

- 地上デジタル放送の放送局が新たに開局された場合や、中継局が新設されるなどしてチャンネルがふえた場合などは、「自動設定」の「再スキャン」42をしてください。新たに受信できたチャンネルが追加設定されます。

地上アナログ／デジタル放送チャンネル設定

- 地上デジタル放送と地上アナログ放送のチャンネルを同時に設定します。

※ B-CASカードが挿入されていないと「はじめての設定」ができません。あらかじめご確認ください。20

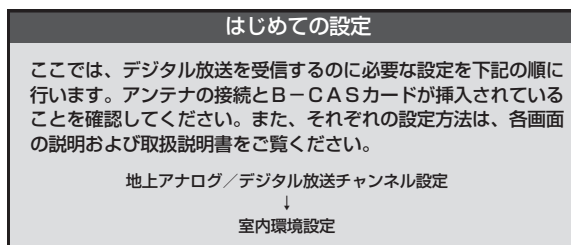
※ **はじめて電源を入れたときは、手順2から操作してください。**

1 以下の操作で「はじめての設定」の説明画面にする

❶ クイック を押す
❷ ▲·▼で「設定」を選び、決定を押す
❸ ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す
❹ ▲·▼で「はじめての設定」を選び、決定を押す

はじめての設定

ここでは、デジタル放送を受信するのに必要な設定を下記の順に行います。アンテナの接続とB－CASカードが挿入されていることを確認してください。また、それぞれの設定方法は、各画面の説明および取扱説明書をご覧ください。

地上アナログ／デジタル放送チャンネル設定
↓
室内環境設定

2 画面の説明を読んで、決定を押す

- 「地上アナログ/デジタル放送チャンネル設定」の説明画面が表示されます。

3 画面の説明を読んで、決定を押す

- 地方を選ぶ画面が表示されます。

4 お住まいの地方を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

例

5 お住まいの都道府県を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

例

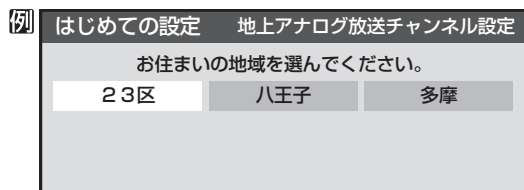
はじめての設定　地上アナログ放送チャンネル設定

お住まいの都道府県を選んでください。

茨城県	栃木県	群馬県
埼玉県	千葉県	東京都
神奈川県		

はじめての設定をする つづき

6 お住まいの地域を▲･▼･◀･▶で選び、(決定)を押す

例

● お住まいの地域名が表示されないときは、近くの地域名を選びます。

7 表示された地上アナログチャンネル一覧の内容を確認して、(決定)を押す

例

はじめての設定　地上アナログ放送チャンネル設定

リモコン	チャンネル	表示	放送局
1	1	地アナ１	ＮＨＫ総合
2	16	地アナ１６	放送大学
3	3	地アナ３	ＮＨＫ教育
4	4	地アナ４	日本テレビ
5	14	地アナ１４	ＴＯＫＹＯ　ＭＸ
▼ 6	6	地アナ６	ＴＢＳ

リモコンの数字ボタンの数字
※▼ボタンを押せば、7～12が表示されます。

● 設定された内容を変更したい場合は、「はじめての設定」がすべて終了したあとで、「手動設定」43で行ってください。

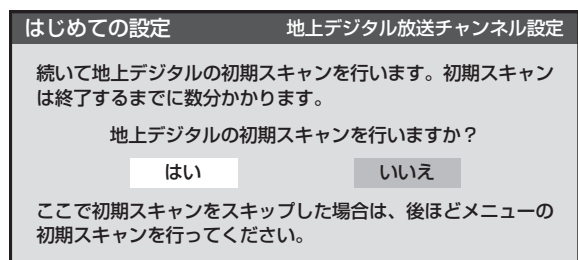
8 画面の説明を読んで、以降の操作をする

はじめての設定　地上デジタル放送チャンネル設定

続いて地上デジタルの初期スキャンを行います。初期スキャンは終了するまでに数分かかります。

地上デジタルの初期スキャンを行いますか？

はい　いいえ

ここで初期スキャンをスキップした場合は、後ほどメニューの初期スキャンを行ってください。

■ 地上デジタル放送の初期スキャンをする場合

❶ ◀･▶で「はい」を選び、(決定)を押す

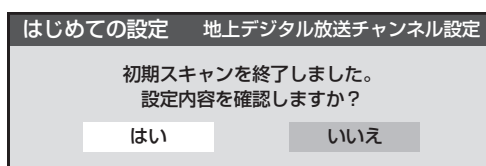
● 初期スキャンが自動的に始まります。
終了するまでしばらくお待ちください。

● 初期スキャンが終わったら、次は手順**9**に進みます。

■ 地上デジタル放送の初期スキャンをあとでする場合

❶ ◀･▶で「いいえ」を選んで(決定)を押し、「室内環境設定」（手順**10**）に進む

● あとで「自動設定」の「初期スキャン」41をしてください。

9 下図の画面が表示されたら、以降の操作をする

❶ ◀･▶で「はい」を選び、(決定)を押す

● 設定内容の確認画面が表示されます。

例

リモコンの数字ボタンの数字
※▼ボタンを押せば、7～12が表示されます。

❷ 設定内容を確認して(決定)を押し、「室内環境設定」（手順**10**）に進む

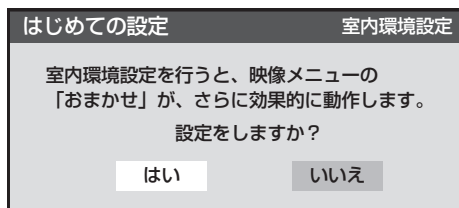
● 以上で地上デジタル放送チャンネルの自動設定が終了しました。

● チャンネルの欄が「－－－」となった場合は、放送がないか、または受信できなかったことを示します。

● 設定された内容を変更したい場合は、「はじめての設定」がすべて終了したあとで、「手動設定」44で行ってください。

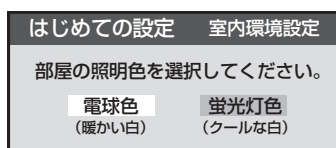
室内環境設定

● 本機の「映像メニュー」には、テレビを見る室内の照明環境などに応じて自然で見やすい映像に自動調整する「おまかせ」があります。ここでは、「おまかせ」をより効果的に働かせるための設定をします。

10 設定する場合は◀･▶で「はい」を選び、(決定)を押す

■ 室内環境設定をしない場合

❶ ◀･▶で「いいえ」を選んで(決定)を押し、手順**12**に進む

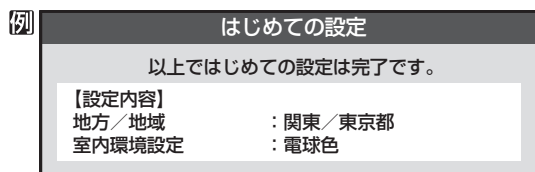
● 必要になったときに「室内環境設定」48をしてください。

11 ◀·▶で照明の色(「電球色(暖かい白)」または「蛍光灯色(クール な白)」)を選び、決定を押す

- **電球色(暖かい白)**…室内の照明が白熱灯(電球)や電球色の蛍光灯の場合に選びます
- **蛍光灯色(クールな白)**…室内の照明が蛍光灯の場合に選びます(蛍光灯のタイプが電球色の場合は「電球色」を選んでください)

※ 照明のタイプがわからない場合は、「電球色」を選んでください。

※ 手順**10**で「いいえ」を選んだ場合は、「電球色」(お買い上げ時の設定)になります。

12 設定完了の画面が表示されたら、内容を確認して、決定を押す

例

● 以上で「はじめての設定」は終わりです。

正しく受信できないとき

「はじめての設定」をしても地上デジタル放送が正しく受信できないとき

- 正しく受信できないチャンネルで以下の操作をして、アンテナレベルの数値を確認してください。

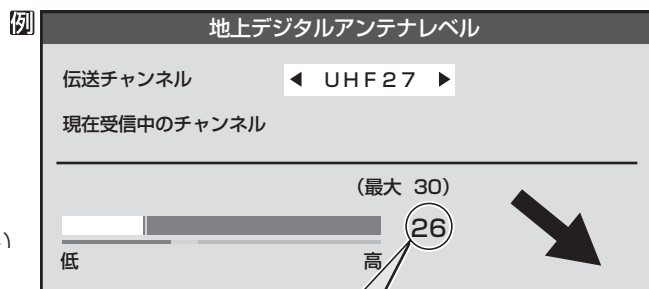
❶ クイック を押す

❷ ▲·▼で「その他の操作」を選び、決定 を押す

❸ ▲·▼で「アンテナレベル」を選び、決定 を押す

❹ アンテナレベルを確認したら、終了 を押す

❺ 以下の確認や処置をする
- アンテナレベルが低い場合は、アンテナが正しく接続されているかご確認ください。
- 症状が改善されない場合は、アンテナの交換や方向調整が必要になることがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、「アンテナの方向調整」39 を参照して、アンテナレベルを確認しながらアンテナの方向を調整してください。
- CATVをご利用の場合やマンションなどの共聴システムをご利用の場合は、パススルーでの地上デジタル放送受信に対応しているか、ご契約のCATV会社や共聴システムの管理者にそれぞれお問い合わせください。

例

地上デジタル放送を受信できるアンテナレベルの目安は、43以上です。

❻「初期スキャン」41 の操作をする

「はじめての設定」や「地上アナログ自動設定」52 をしても地上アナログ放送が正しく受信できないとき

- アンテナの種類（チャンネル1～12はVHF、13～62はUHF）や向きが、設定した地域·都市名の条件に合っていることを確認してください。
- 複数の地域·都市名が隣接する地域にお住まいの場合は、地域·都市名を変えて設定すれば受信状態が改善されることがあります。（例：お使いになる地域が「横浜みなと」の場合は「横浜·川崎」または「平塚·茅ケ崎」など）
このような場合は、次のようにして設定します。

❶ 近隣の別の地域·都市にアンテナの種類や向きを合わせる
- お買い上げの販売店にご相談ください。

❷「自動設定」の「地上アナログ放送の場合」40 の手順**1**～**4**の操作をする

❸ 40 の手順**5**で、アンテナを向けた地域·都市名を選び、決定 を押す

上記の対処をしても地上アナログ放送の一部のチャンネルが正しく受信できないとき

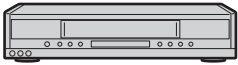
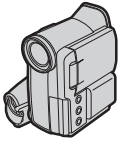
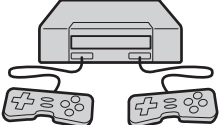
- 受信できるチャンネルを手動設定で探します。

❶「手動設定」の「地上アナログ放送の場合」43 の手順**1**～**2**の操作をする

❷ 43 の手順**3**で、該当する「リモコンボタン」を選び、手順**4**の❶でほかに受信できる「チャンネル」を選んで、決定 を押す

例：地域·都市名を「横浜·川崎」に設定した場合で、数字ボタン7に割り当てられている「tvk」「42CH」だけが正しく受信できないときは、隣接地域の「48CH」（横浜みなと）や「46CH」（小田原）などに変えてみて、正しく受信できるところを探します。

例

❸ 必要に応じて 43 の手順**4**の❷～❹の操作で「表示」、「放送局」、「受信地域」を設定する

本機に接続できる外部機器一覧

● 本機に接続できるおもな外部機器は以下のとおりです。接続や設定のしかたはそれぞれの参照ページをご覧ください。

● 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
● 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
● DVDプレーヤーやDVDレコーダー、デジタルチューナーなどのコピー制御のかかった映像を出力する機器を、ビデオやAVアンプなどを経由して本機につなぐと、コピー制御が働き映像が乱れる場合がありますので、レグザリンク対応のAVアンプを経由して接続する場合（32）を除いて直接本機につないでください。

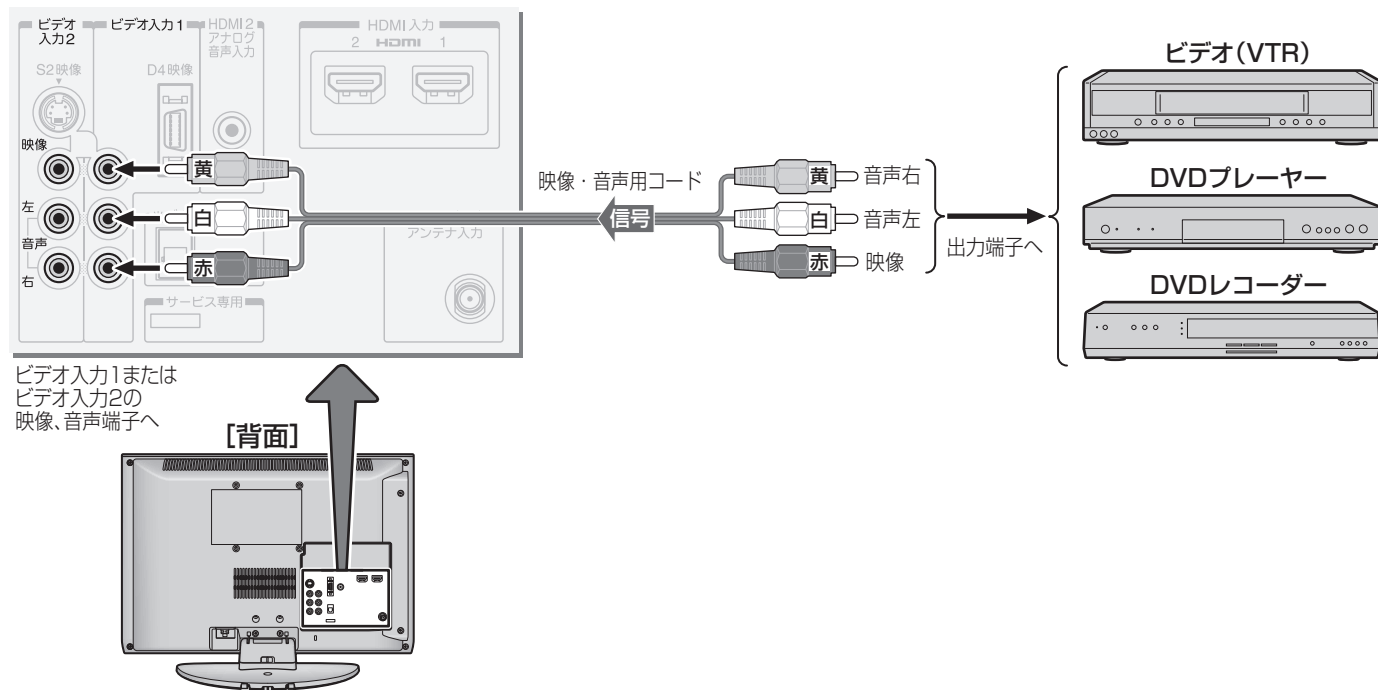
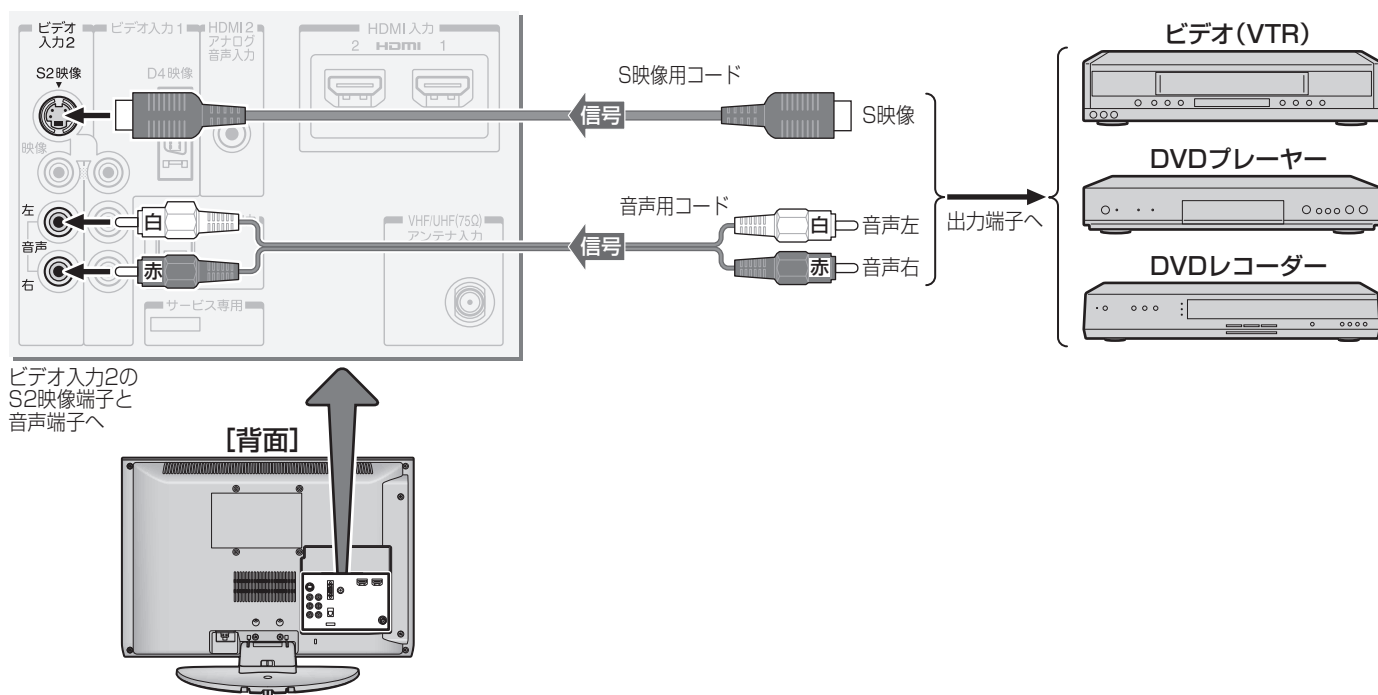
テレビ（本機）

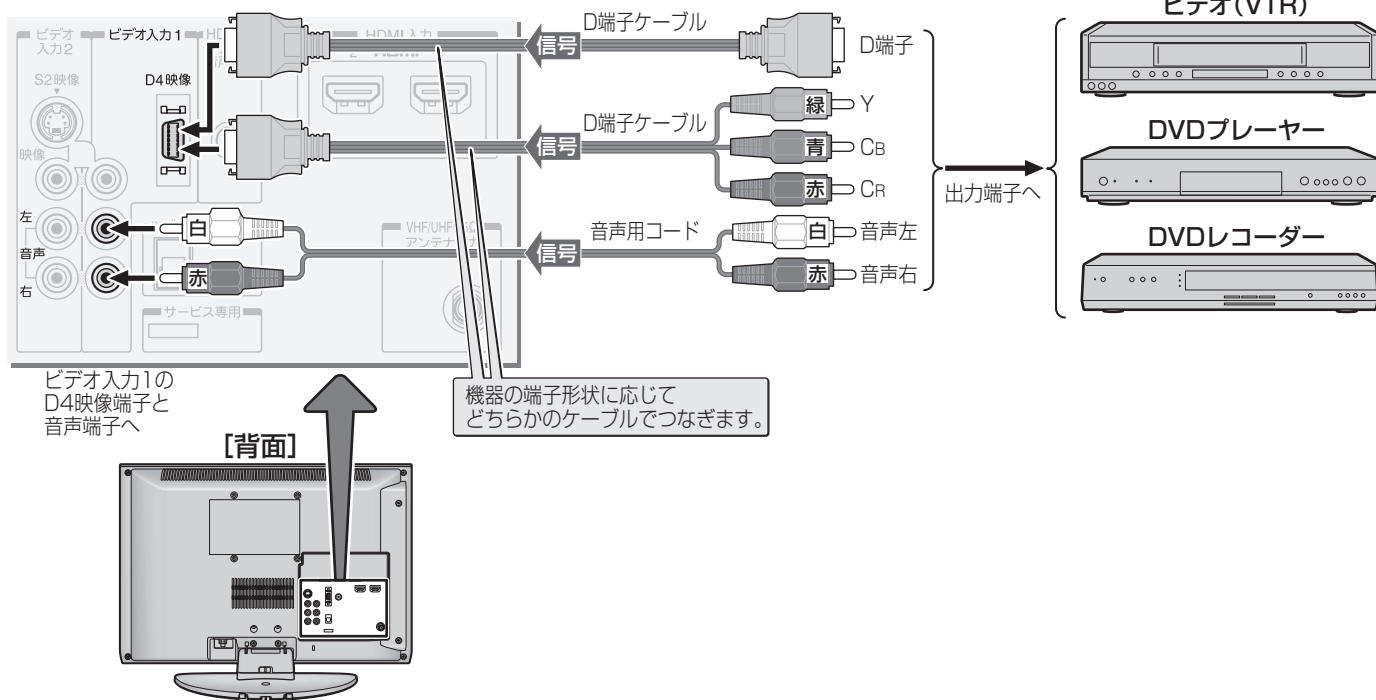
接続できる外部機器	参照ページ
ビデオ DVDプレーヤー DVDレコーダー	接続 30、31 設定 36～38
オーディオ機器	接続 32 設定 33、36
ビデオカメラレコーダー	接続 34 設定 36、37
ゲーム機	接続 35 設定 37
パソコン	接続 35 設定 36、37

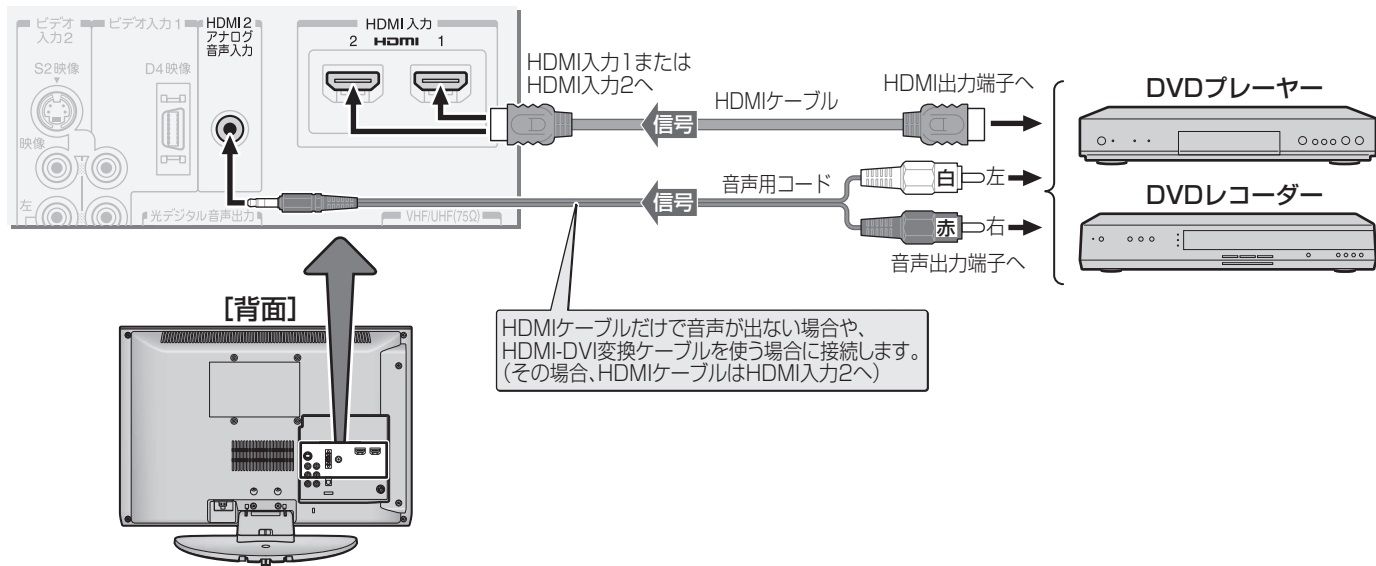
お願い
● 接続機器の音声出力がモノラルのときは、市販のステレオ／モノラル変換コードをご使用ください。

ビデオやDVDプレーヤー /レコーダーをつなぐ

- DVDプレーヤーやDVDレコーダー、デジタルチューナーなどのコピー制御のかかった映像を出力する機器を、ビデオやAVアンプなどを経由して本機につなぐと、コピー制御が働き映像が乱れる場合がありますので、直接本機につないでください。
- ビデオ入力2につないで使うときは、(入力切換)で「ビデオ2」を選んでから、「映像設定」(操作編 22)の「映像メニュー」で「ゲーム」以外を選んでください。
- 必要に応じて「外部入力設定」37 をしてください。

映像・音声用コードでつなぐとき

S映像用コードでつなぐとき

- ビデオ入力2のS2映像入力端子と映像入力端子の両方につないだ場合は、S2映像入力端子が選択されます。

D端子ケーブルでつなぐとき

HDMIケーブルでつなぐとき

● HDMIケーブルは、HDMIロゴ(HDMI)の表示があるケーブルをご使用ください。また、1080pの映像信号を入力する場合は、High Speed HDMI™ Cableをご使用ください。(一般のHDMIケーブルでは、正常に動作しないことがあります)

■ レグザリンク対応の東芝レコーダーの場合

● レグザリンク対応の東芝レコーダーの場合は、本機とHDMIケーブルでつなげば本機から録画予約をしたり、本機のリモコンでレコーダーの基本操作をしたり、本機との連動機能 36 を使ったりすることができます。
● 録画予約や基本操作などについては、「レグザリンクを使う」(操作編 38)の章をご覧ください。
● 必要に応じて「HDMI連動設定」36、「外部入力設定」37 および「録画時間設定」38 をしてください。

● ビデオ入力1のD4映像入力端子と映像入力端子の両方につないだ場合は、D4映像入力端子が選択されます。
● 本機のD4映像入力端子が対応している映像信号　コンポーネント映像信号480i、480p、720p、1080i
● 本機にはHDMI出力端子付機器を接続できますが、接続する機器によっては映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
● 本機のHDMI入力端子が対応している映像信号　480i、480p、720p、1080i、1080p
● 本機のHDMI入力端子が対応している音声信号　種類：リニアPCM、サンプリング周波数：48kHz／44.1kHz／32kHz
● レグザリンク対応の東芝レコーダーについては、66 の❶をご覧ください。

オーディオ機器をつなぐ

ミニコンポなどの場合

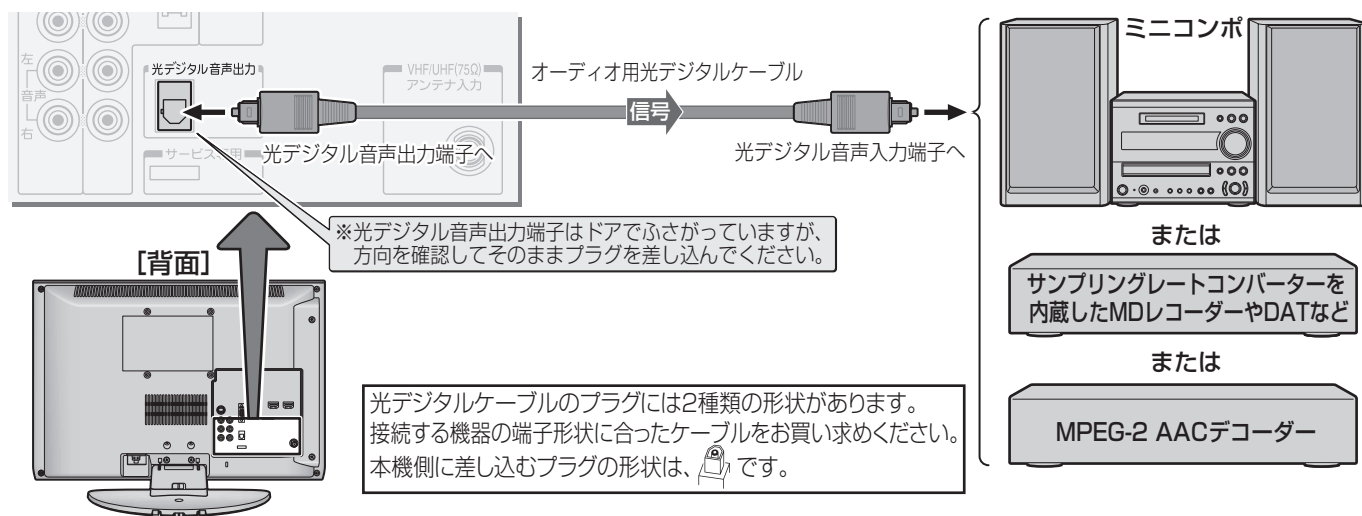
■ ミニコンポなどの音響システムにつなぐとき

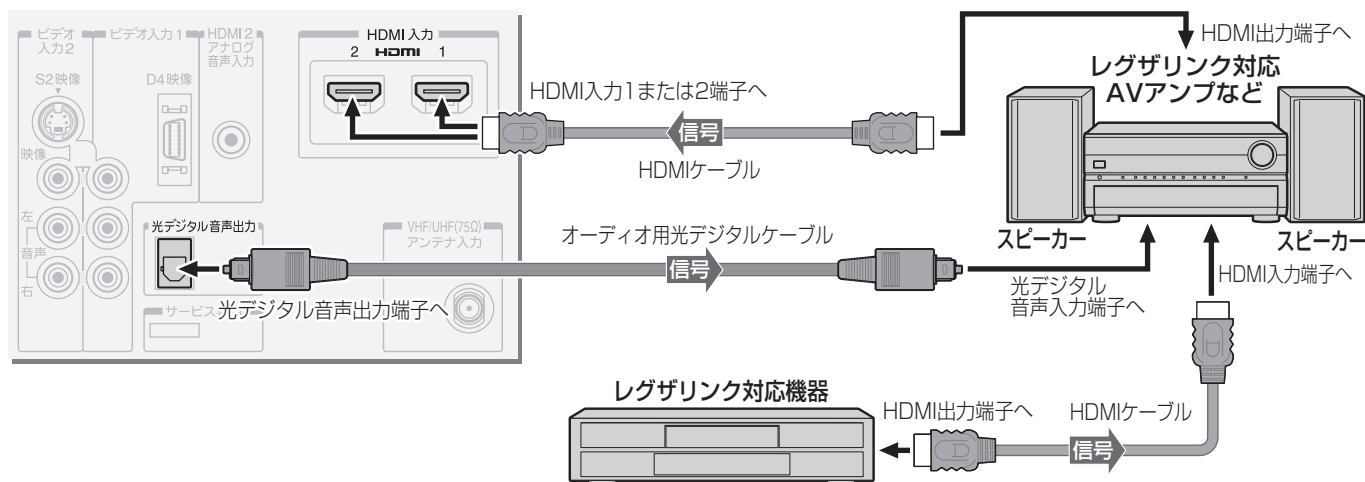
- 本機の音量を最小に調整し、ミニコンポなどの音響システム側で音量を調節してご使用ください。
- 音響システム側が対応しているデジタル音声入力に従って、次ページの「光デジタル音声出力設定」をします。

■ サンプリングレートコンバーターを内蔵したMDレコーダーやDATにつなぐとき

- MDレコーダーやDATの光デジタル音声入力端子につなげば、高音質で録音して楽しむことができます。
- 次ページの「光デジタル音声出力設定」を「PCM」に設定します。

■ MPEG-2 AACデコーダーにつなぐとき

- デジタル放送のMPEG-2 AAC方式の信号を、MPEG-2 AACデコーダーで楽しむことができます。
- 次ページの「光デジタル音声出力設定」を「デジタルスルー」または「サラウンド優先」に設定します。

レグザリンク対応のAVシステム機器（AVアンプなど）の場合

- レグザリンク対応のAVシステム機器の場合は、本機のリモコンでAVシステムの音量を調節するなどの操作ができます。36
- レグザリンク対応のAVシステム機器のHDMI入力端子にレグザリンク対応機器をつなぐことができます。
- HDMIケーブルは、HDMIロゴ（HDMI）の表示があるケーブルをご使用ください。また、1080pの映像信号を入力する場合は、High Speed HDMI™ Cableをご使用ください。（一般のHDMIケーブルでは、正常に動作しないことがあります）
- AVシステム機器が対応しているデジタル音声入力に従って、次ページの「光デジタル音声出力設定」をしてください。また、必要に応じて「HDMI連動設定」36をしてください。

- レグザリンク対応AVシステム機器（推奨機器）については、66 の2をご覧ください。
- 本機のHDMI入力端子については、31 の「お知らせ」をご覧ください。
- 光デジタル音声出力端子について、次ページの「お知らせ」をご覧ください。

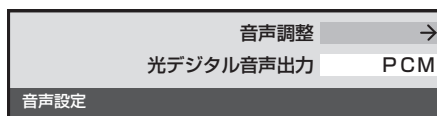
光デジタル音声出力の設定

● 光デジタル音声出力端子から出力する音声信号の設定です。
● お買い上げ時は、「PCM」に設定されています。
● MPEG-2 AACデコーダーやAACデコーダー内蔵アンプをつなぐときは、「デジタルスルー」または「サラウンド優先」に設定してください。

1 以下の操作で「音声設定」画面にする

❶ クイック を押す

❷ ▲・▼で「音声設定」を選び、決定 を押す

2 ▲・▼で「光デジタル音声出力」を選び、決定 を押す

3 ▲・▼で信号を選び、決定 を押す

- **PCM**……………………リニアPCM信号が出力されます。
- **デジタルスルー** ……MPEG-2 AAC信号の場合、その信号が出力されます。
- **サラウンド優先** ……MPEG-2 AAC信号で、サラウンド音声(5.1chや4.1chサラウンド音声など)の場合には、それらの信号が出力されます。それ以外の場合にはリニアPCM信号が出力されます。

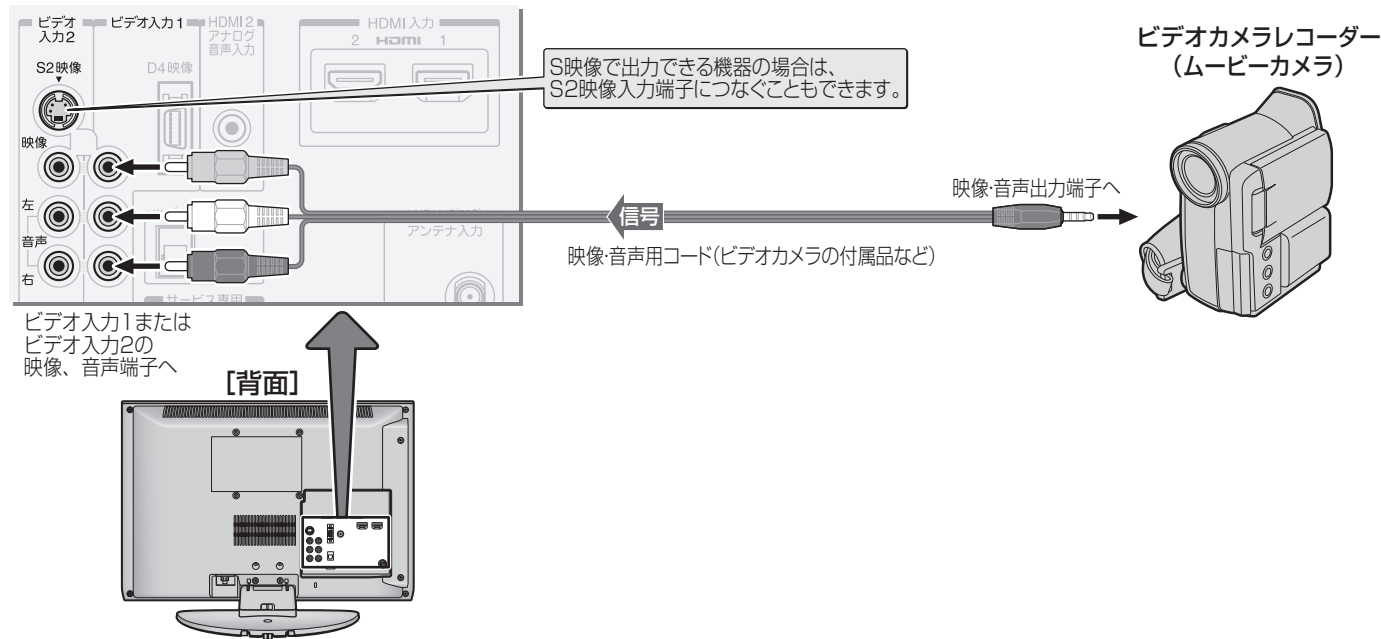
4 終了 を押して、メニューを消す

● 光デジタル音声出力端子からは、テレビのスピーカー音と同じ音が出力されます。ただし、音声調整の効果は得られません。
● MPEG-2 AAC音声の場合には、主音声・副音声の切換は本機では行われません。MPEG-2 AACデコーダー側で切り換えてください。
● 地上アナログ放送の視聴時およびビデオ入力1または2を選択しているときは、光デジタル音声出力端子からは設定にかかわらずリニアPCM信号が出力されます。
● 本機が出力する光デジタル音声出力のサンプリング周波数は、「PCM」(リニアPCM)の場合、48kHzまたは32kHzです。
● HDMI入力を選択しているときは、HDMI入力端子からリニアPCMの音声信号が入力されているときだけ、光デジタル音声出力端子からリニアPCM信号が出力されます。(HDMI入力端子にリニアPCM以外の音声信号を入力した場合は、設定にかかわらず光デジタル音声出力端子から信号は出力されません)
● HDMI入力の選択時に光デジタル音声出力端子から出力される信号を、他の機器に録音することはできません。
● サンプリングレートコンバーターを内蔵していないMDレコーダーには、デジタル信号での録音はできません。

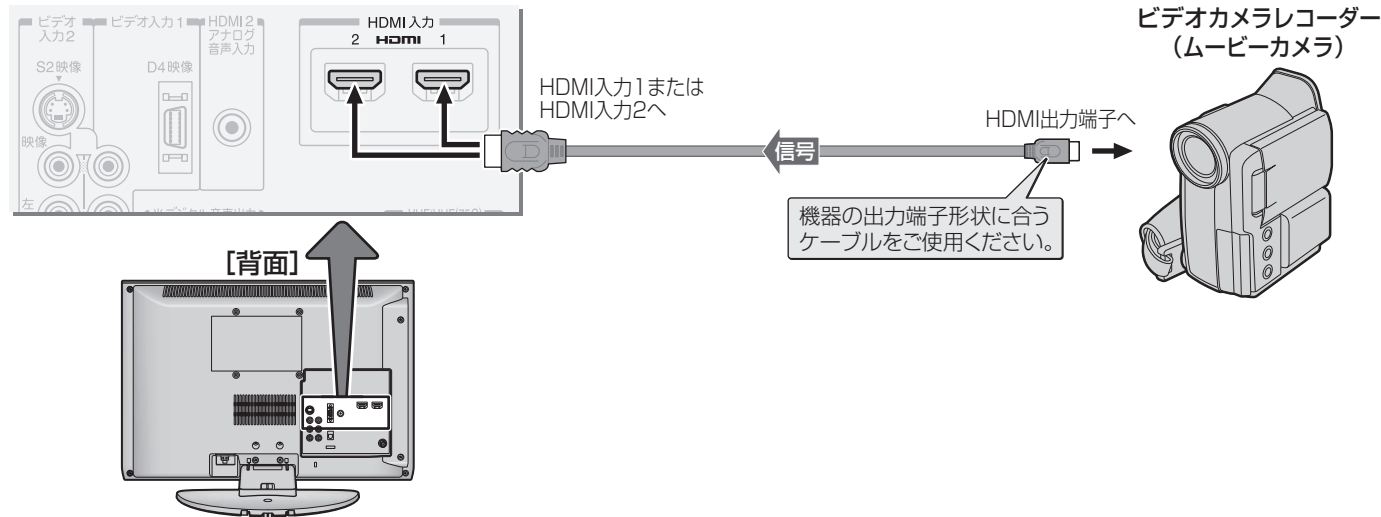
ビデオカメラレコーダーをつなぐ

● 本機はデジタルビデオカメラレコーダーのDV端子との接続はできません。

映像・音声用コードやS映像用コードでつなぐとき

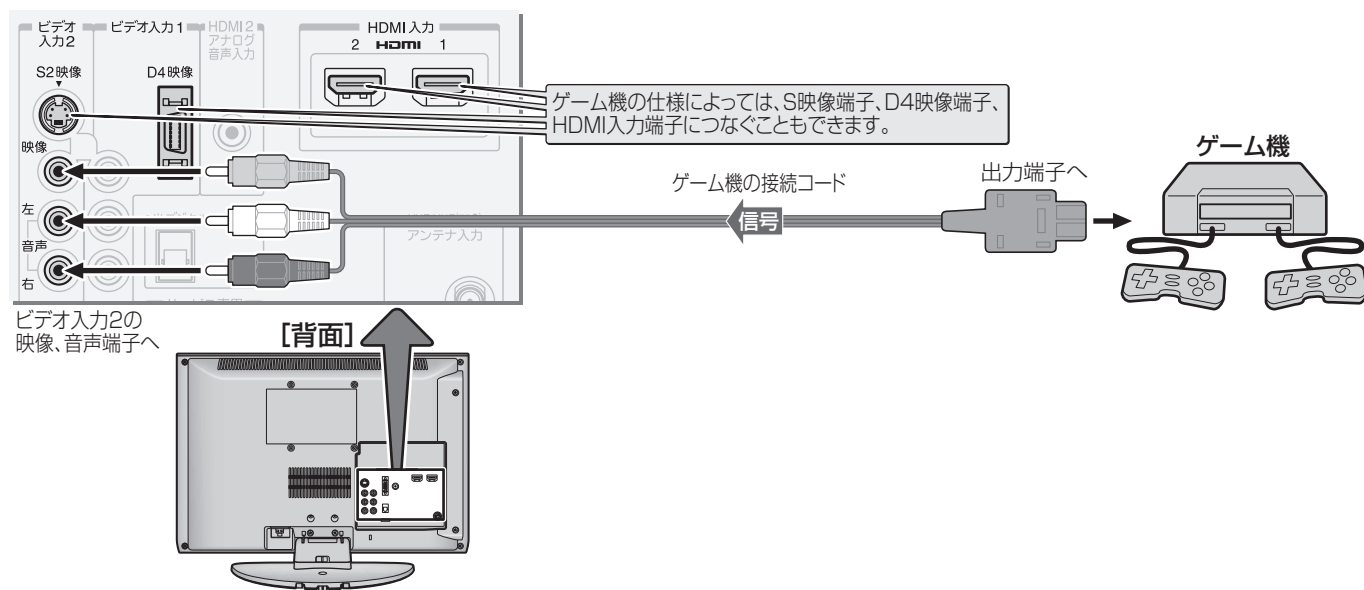
● ビデオ入力2にビデオカメラレコーダーをつないで使うときは、(入力切換)で「ビデオ2」を選んでから、「映像設定」(操作編 22)の「映像メニュー」で「ゲーム」以外を選んでください。
● 映像・音声コードやS映像用コードでつないだ場合は、480i(標準画質)の映像でだけ視聴できます。
● 必要に応じて「外部入力設定」37 をしてください。

HDMIケーブルでつなぐとき

● ハイビジョン対応のビデオカメラレコーダーの場合、ハイビジョン画質で視聴するにはHDMIケーブルでつなぎます。(D端子ケーブルでつなぐこともできます)
● HDMIケーブルは、HDMIロゴ(HDMI)の表示があるケーブルをご使用ください。また、1080pの映像信号を入力する場合は、High Speed HDMI™ Cableをご使用ください。(一般のHDMIケーブルでは、正常に動作しないことがあります)

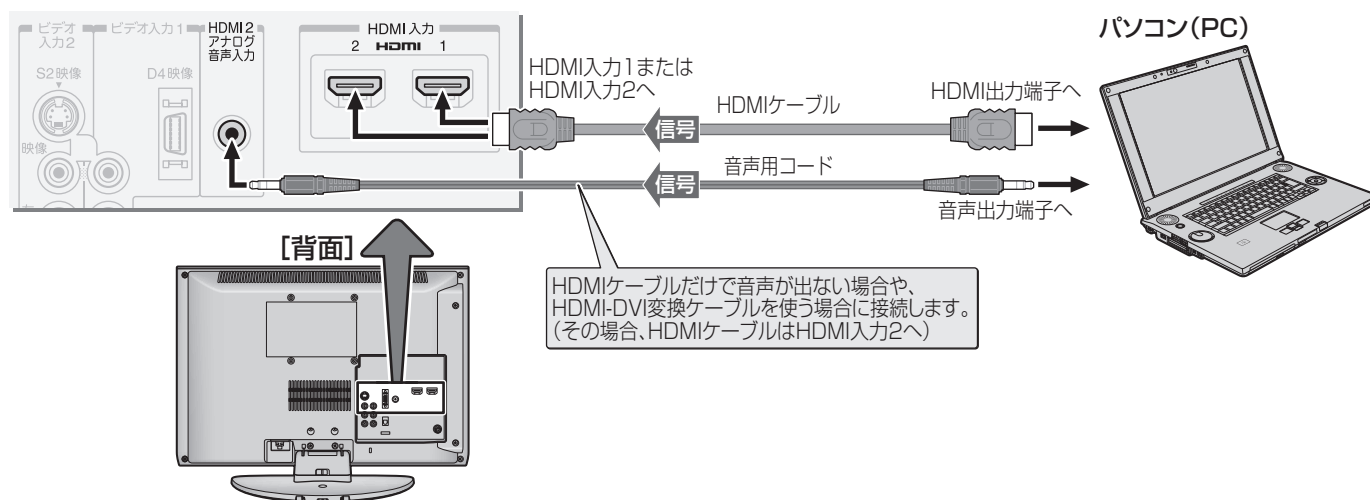
※ レグザリンク対応のビデオカメラレコーダーをHDMI端子につなげば、本機のリモコンで再生･停止などの操作ができます。(本機からの録画や録画の操作はできません)
● 必要に応じて「HDMI連動設定」36、「外部入力設定」37 をしてください。

● レグザリンク対応ビデオカメラレコーダーについては、66 の3をご覧ください。
● 本機のHDMI入力端子については、31 の「お知らせ」をご覧ください。

外部機器の接続と設定

ゲーム機をつなぐ

● ゲーム機は、ビデオ入力2につなぎます。
※ ビデオ入力1、2およびHDMI入力1、2のどれにでも接続して楽しめます。ビデオ入力2以外につないだ場合は、つないだ入力を(入力切換)で選択して、「映像設定」(操作編 22)の「映像メニュー」を「ゲーム」に設定してください。
● 必要に応じて「外部入力設定」 37 をしてください。

外部機器の接続と設定

パソコンをつなぐ

● HDMI端子付のパソコンをつなぐことができます。
● HDMIケーブルは、HDMIロゴ(HDMI)の表示があるケーブルをご使用ください。また、1080pの映像信号を入力する場合は、High Speed HDMI™ Cableをご使用ください。(一般のHDMIケーブルでは、正常に動作しないことがあります)
● 外部モニターで表示できるようにパソコンを設定してしてください。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。
● 必要に応じて「外部入力設定」 37 をしてください。
※ レグザリンク対応の東芝パソコンの場合は次ページのPC映像連動機能が使用できます。必要に応じて「HDMI連動設定」をしてください。

お知らせ
● レグザリンク対応東芝パソコンについては、 66 の4をご覧ください。
● パソコンから、本機が対応しているフォーマットの信号を入力してください。対応している信号フォーマットや条件などについては、操作編 60 をご覧ください。
● 本機が対応している信号を入力しても、パソコンによっては本機が認識できないことがあります。
● パソコンのDVD再生ソフトなどで再生した映像は、本機の画面で正しく表示されなかったり、映像の動きが不自然になったりする場合があります。

HDMI連動設定

● レグザリンク対応機器（HDMI連動機能対応機器）でレグザリンクの機能や各種の連動機能を使う場合は、以下の設定をする必要があります。

1 以下の操作で「HDMI連動設定」画面にする

❶ クイック を押す

❷ ▲･▼で「設定」を選び、決定 を押す

❸ ▲･▼で「レグザリンク設定」を選び、決定 を押す

❹ ▲･▼で「HDMI連動設定」を選び、決定 を押す

2 設定する項目を▲･▼で選んで 決定 を押し、表の手順で設定する

HDMI連動設定	
HDMI連動機能	使用する
HDMI連動機器リスト	→
連動機器→テレビ入力切換	連動する
連動機器→テレビ電源	連動する
テレビ→連動機器電源オフ	連動する
PC映像連動	使用する
AVシステム連動	使用しない
優先スピーカー	テレビスピーカー

3 終了 を押して、メニューを消す

項目	説明および操作手順
HDMI連動機能	● レグザリンクや以下の各種連動機能を使用するかどうかを設定します。 ❶ **▲･▼で「使用する」または「使用しない」を選び、決定 を押す**
連動機器→テレビ入力切換	● 連動機器の再生操作をしたときに、本機が自動的に入力切換をして、その機器を選択する機能です。（本機の電源が「入」の場合） ❶ **▲･▼で「連動する」または「連動しない」を選び、決定 を押す**
連動機器→テレビ電源	● 連動機器の再生操作をしたときに本機の電源が「入」になり、連動機器の電源を「待機」にしたときに本機の電源も「待機」になる機能です。 ❶ **▲･▼で「連動する」または「連動しない」を選び、決定 を押す** ※ この機能と、「連動機器→テレビ入力切換」を「連動する」に設定しておくと、本機の電源が「入」になったあとに自動的に入力が切り換わります。
テレビ→連動機器電源オフ	● 本機の電源を「待機」にしたときに、連動機器の電源も「待機」になる機能です。（録画中の機器など、動作状態によっては「待機」にならない場合があります） ❶ **▲･▼で「連動する」または「連動しない」を選び、決定 を押す** ※ 「省エネ設定」（操作編 50）の「無操作自動電源オフ」、「オンエアー無信号オフ」、「外部入力無信号オフ」や、「オフタイマー」（操作編 49）の各機能によって本機の電源が「待機」になった場合も、連動機器の電源が「待機」になります。
PC映像連動	● 本機に接続したレグザリンク対応東芝パソコン 66 からの映像を見る場合に、パソコンの画面の形式や映像に応じて、本機が自動的に画面サイズや映像メニューの設定を切り換える機能です。 ❶ **▲･▼で「使用する」または「使用しない」を選び、決定 を押す**
AVシステム連動	● レグザリンク対応のAVシステム（AVアンプなど）とAVシステム用のスピーカーを接続している場合に、本機のリモコンで以下のことができます。 • 音声をテレビから出すか、AVシステムのスピーカーから出すかの切換え • 音声をAVシステムのスピーカーから出す場合の音量調節 ❶ **▲･▼で「使用する」または「使用しない」を選び、決定 を押す**
優先スピーカー	● 「AVシステム連動」を「使用する」に設定した場合に、優先するスピーカーを選択することができます。この機能は本機の電源が「入」のときに働きます。 ❶ **▲･▼で以下から選び、決定 を押す** • **テレビスピーカー** 本機のスピーカーから音声が出ます。 • **AVシステムスピーカー** AVシステム機器の電源が「入」のときは、AVシステムのスピーカーから音声が出ます。 ※ 本機のヘッドホーン端子は、本機のスピーカーから音声が出る条件のときに使用できます。

● 本機が認識できるレグザリンク対応機器の台数は、AVアンプ１台、東芝レコーダーは3台まで、東芝パソコンは1台です。

● 「連動機器→テレビ入力切換」、「連動機器→テレビ電源」、「テレビ→連動機器電源オフ」の機能は、東芝レコーダー RD-A600および RD-A300（どちらもバージョンアップ後）では使用できません。

外部入力設定

外部入力表示設定

● 入力切換をしたときに表示される機器の名称(VTR、DVDなど)を変更することができます。

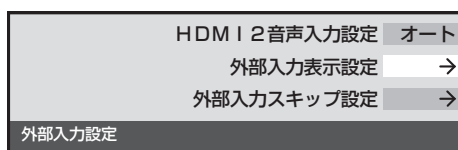
1 以下の操作で「外部入力設定」画面にする

❶ クイック を押す

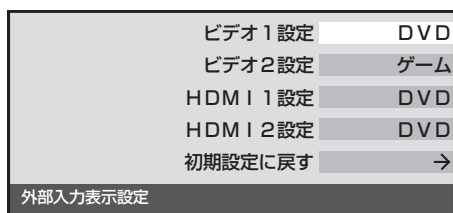
❷ ▲·▼で「設定」を選び、決定を押す

❸ ▲·▼で「機能設定」を選び、決定を押す

❹ ▲·▼で「外部入力設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「外部入力表示設定」を選び、決定を押す

3 設定する外部入力を▲·▼で選び、決定を押す

4 機器名を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

ビデオ1設定	
レコーダー	DVD
VTR	CATV
ゲーム	チューナー
PC	ムービーカメラ
表示しない	

5 終了を押して、メニューを消す

■ 外部入力表示をお買い上げ時の状態に戻すには

❶ 上記手順3で「初期設定に戻す」を選び、決定を押す

❷ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

● お買い上げ時の状態(手順3のイラストの設定)に戻ります。

❸ 終了を押して、メニューを消す

外部入力スキップ設定

● 入力切換をするときに、使っていない入力をスキップする(飛び越す)ことができます。

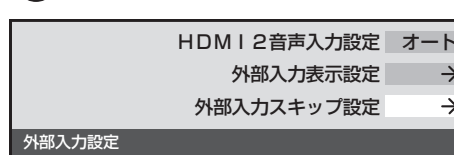
1 以下の操作で「外部入力設定」画面にする

❶ クイック を押す

❷ ▲·▼で「設定」を選び、決定を押す

❸ ▲·▼で「機能設定」を選び、決定を押す

❹ ▲·▼で「外部入力設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「外部入力スキップ設定」を選び、決定を押す

3 設定する外部入力を▲·▼で選び、決定を押す

● 決定を押すたびに「スキップ」が「する」、「しない」に交互に切り換わります。

外部入力スキップ設定	
ビデオ	スキップ
ビデオオート	する
HDMI 1	しない
HDMI 2	しない

■「ビデオオート」を選択しているとき

- **する**……入力切換時に、ビデオ入力1、2の入力端子(映像、D4映像、S2映像)に何もつながっていない入力をスキップします。
- **しない**….入力切換時にスキップしません(ビデオ入力1、2が順に切り換わります)。

■「ビデオオート」以外を選択しているとき

- **する**……入力切換時にスキップします。
- **しない**….入力切換時にスキップしません。

4 終了を押して、メニューを消す

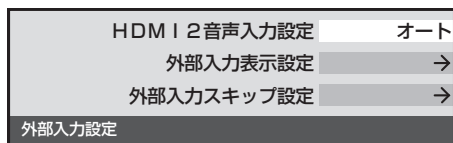
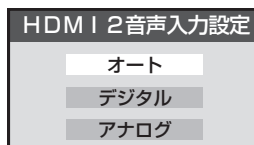
外部入力設定 つづき

HDMI2音声入力設定

● 通常は「オート」の設定のままでご使用ください。
● 「オート」で、31 および 35 の「HDMIケーブルでつなぐとき」に図示したHDMI2アナログ音声入力端子への音声用コードを接続しても音声が出ない場合は、以下の手順で「アナログ」に設定してください。

1 以下の操作で「外部入力設定」画面にする

❶ クイック を押す
❷ ▲·▼で「設定」を選び、決定 を押す
❸ ▲·▼で「機能設定」を選び、決定 を押す
❹ ▲·▼で「外部入力設定」を選び、決定 を押す

2 ▲·▼で「HDMI2音声入力設定」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で以下の項目から選び、決定 を押す

- **オート**……… 自動切換になります。
- **デジタル**…… HDMI入力2端子からの音声が出ます。
- **アナログ**…… HDMI2アナログ音声入力端子からの音声が出ます。

4 終了 を押して、メニューを消す

録画時間設定

● レグザリンク対応の東芝レコーダーに本機の操作で録画する場合の録画時間を設定しておくことができます。
● 録画時間は録画開始時に確認・変更することができます。詳しくは、操作編の「録画・予約する」30 の章をご覧ください。

1 以下の操作で「録画時間設定」画面にする

❶ クイック を押す
❷ ▲·▼で「設定」を選び、決定 を押す
❸ ▲·▼で「レグザリンク設定」を選び、決定 を押す
❹ ▲·▼で「録画時間設定」を選び、決定 を押す

2 ▲·▼で録画時間を選び、決定 を押す

3 終了 を押して、メニューを消す

アンテナの方向調整

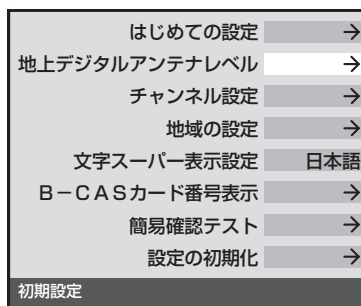
● 「はじめての設定」をしても地上デジタル放送が正しく受信できなかったときは、お買い上げの販売店などにご相談のうえ、以下の操作でアンテナの方向調整をしてください。

1 以下の操作で「初期設定」画面にする

❶ クイック を押す

❷ ▲・▼で「設定」を選び、決定 を押す

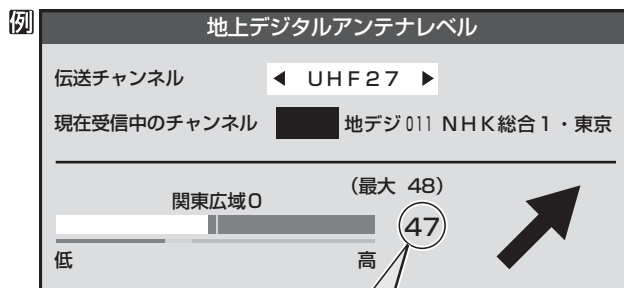
❸ ▲・▼で「初期設定」を選び、決定 を押す

2 ▲・▼で「地上デジタルアンテナレベル」を選び、決定 を押す

3 ◀・▶で「伝送チャンネル」を選ぶ

● お住まいの地域の地上デジタル放送に使用されている伝送チャンネルを選んでください。

● ◀・▶を押すたびに以下のように切り換わります。

VHF1～VHF12 ⟷ UHF13～UHF62 ⟷ CATV13～CATV63

例

受信できるアンテナレベルの目安は、43以上です。（表示される数値は、受信C/Nを換算したものです）

4 アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整する

● アンテナレベルがふえると ↗ が表示され、減ると ↘ が表示されます。

● 画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がっていないことを確認してください。

5 アンテナを固定して、決定 を押す

6 終了 を押して、メニューを消す

チャンネル設定

● 「はじめての設定」25が済んでいて、特に変更の必要がない場合は「チャンネル設定」をする必要はありません。
● チャンネル設定には、「自動設定」と「手動設定」43があります。

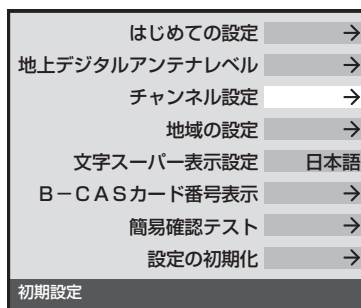
自動設定

● 「自動設定」では、地上アナログ放送と地上デジタル放送が設定できます。

地上アナログ放送の場合

● テレビをご覧になる地域で放送されているチャンネル（VHF/UHF）を自動で設定することができます。
● お買い上げ時は、リモコンの数字ボタン1〜12には、VHFの1〜12チャンネルがボタンの数字に合わせて設定されています。
● 地上アナログ自動設定は、「地上アナログ放送の自動設定一覧表」（53〜57）の内容で設定されますが、チャンネルが変更されて受信できなくなることがあります。受信できないチャンネルがあるときは、「手動設定」43で設定してください。

1 以下の操作で「チャンネル設定」画面にする

❶ クイックを押す
❷ ▲·▼で「設定」を選び、決定を押す
❸ ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す
❹ ▲·▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「地上アナログ自動設定」を選び、決定を押す

3 お住まいの地方を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

例
4 お住まいの都道府県を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

例

地上アナログ自動設定

お住まいの都道府県を選んでください。

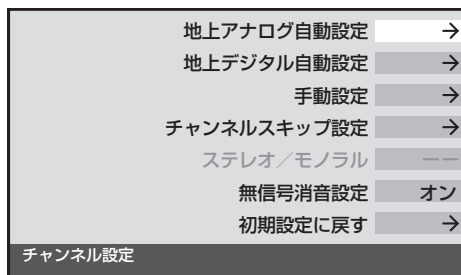
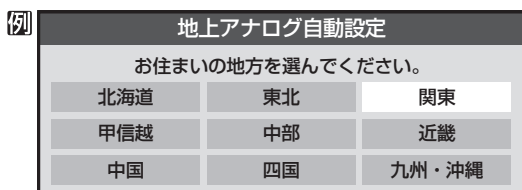
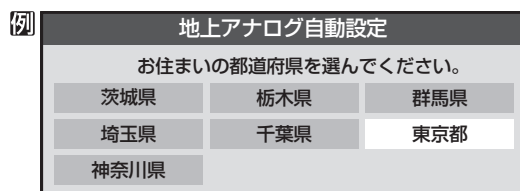
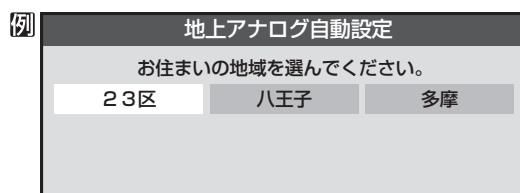
茨城県	栃木県	群馬県
埼玉県	千葉県	東京都
神奈川県		

5 お住まいの地域・都市を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

例

地上アナログ自動設定

お住まいの地域を選んでください。

２３区	八王子	多摩

● お住まいの地域や都市名が記載されていない場合は、アンテナが向いている近くの地域名を選びます。
● 自動で設定されるチャンネルについては、53〜58の一覧表をご覧ください。
● 設定された内容を変更したい場合は、「手動設定」43をしてください。

6 設定終了のメッセージ画面が表示されたら、終了を押してメニューを消す

■ 地上アナログ放送のチャンネル設定について

● お使いの地域・都市名で地上アナログ自動設定をしても正しく受信できない場合は、28をご覧ください。
● ダウンロード（操作編52）によって、本機内に設定している「地上アナログ放送の自動設定一覧表」（53〜57）の内容が変わる場合があります。その結果、選択の手順**3**〜**5**の項目が変わる場合もあります。
● 設定したチャンネルを一覧表示して確認する場合や、受信できないチャンネルがあるときは、「手動設定」の「地上アナログ放送の場合」43で設定してください。

地上デジタル放送の場合

● 地上デジタル放送の自動設定には、引越しなどで受信地域が変わったときにする「初期スキャン」と、放送チャンネルに変更があったときにする「再スキャン」があります。また、本機の電源が「切」または「待機」のときに自動的に行われる「自動スキャン」もあります。

初期スキャン

● 受信可能なチャンネルを自動的に探して、リモコンの1～12に放送の運用規定に基づいて設定します。
● 「初期スキャン」をするとこれまでに選局設定した内容はすべて消去されて、設定し直されます。
● 「はじめての設定」終了後、新たに開局した地上デジタル放送チャンネルを登録する場合や、中継局が新設・変更された場合は、次ページの「再スキャン」をしてください。
● 自動設定される内容は「地上デジタル放送の放送（予定）一覧表」（58～59）が目安となります。

1 以下の操作で「地上デジタル自動設定」画面にする

❶ クイック を押す
❷ ▲･▼で「設定」を選び、決定を押す
❸ ▲･▼で「初期設定」を選び、決定を押す
❹ ▲･▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す
❺ ▲･▼で「地上デジタル自動設定」を選び、決定を押す

2 ▲･▼で「初期スキャン」を選び、決定を押す

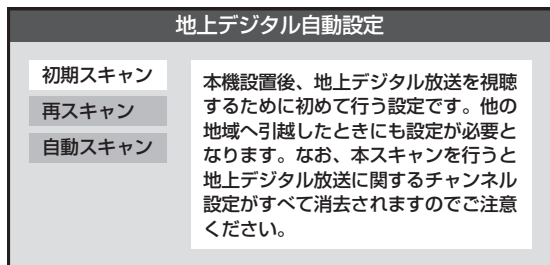
地上デジタル自動設定

初期スキャン	本機設置後、地上デジタル放送を視聴するために初めて行う設定です。他の地域へ引越したときにも設定が必要となります。なお、本スキャンを行うと地上デジタル放送に関するチャンネル設定がすべて消去されますのでご注意ください。
再スキャン	
自動スキャン	

3 お住まいの地方を▲･▼･◀･▶で選び、決定を押す

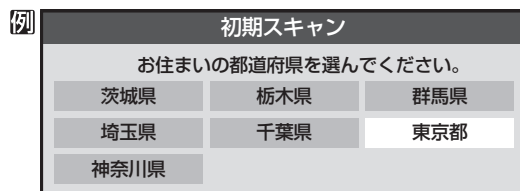
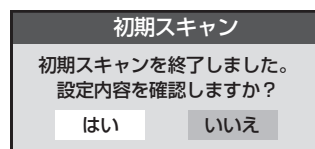
例

初期スキャン
お住まいの地方を選んでください。

北海道	東北	関東
甲信越	中部	近畿
中国	四国	九州・沖縄

4 お住まいの都道府県または地域を▲･▼･◀･▶で選び、決定を押す

例

初期スキャン
お住まいの都道府県を選んでください。

茨城県	栃木県	群馬県
埼玉県	千葉県	東京都
神奈川県		

5 初期スキャン終了のメッセージ画面が表示されたら、以下の操作をする

設定された内容を確認する場合

❶ ◀･▶で「はい」を選び、決定を押す
❷ 設定内容を確認したら決定を押す
● 設定された内容を変更したい場合は、「初期スキャン」終了後に「手動設定」44をしてください。

設定された内容を確認しない場合

❶ ◀･▶で「いいえ」を選び、決定を押す

6 終了を押して、メニューを消す

● 「はじめての設定」25と「初期スキャン」では、地方･都道府県･地域の設定のしかたが異なっています。これは「はじめての設定」では、地上アナログと地上デジタルの設定を同時にまとめて行っているためです。

チャンネル設定 つづき

自動設定 つづき

地上デジタル放送の場合 つづき

再スキャン

- 新たに放送局が開局したりしてチャンネルがふえた場合など、放送に変更があった場合は、「再スキャン」をすればチャンネルを追加設定することができます。
- 「初期スキャン」(26 または 41)をしていないと「再スキャン」はできません。

1 以下の操作で「地上デジタル自動設定」画面にする

❶ クイック を押す

❷ ▲·▼で「設定」を選び、決定を押す

❸ ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す

❹ ▲·▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

❺ ▲·▼で「地上デジタル自動設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「再スキャン」を選び、決定を押す

- 再スキャンの結果、放送に変更があった場合は、1～12への設定方法を選ぶ画面が表示されます。▲·▼でどちらかを選び、決定を押します。
  - **すべて設定し直す**…地上デジタル放送のすべての設定をし直します。
  - **現在の設定に追加する**…1～12の未設定のボタンだけを新たに設定します。

3 再スキャン終了のメッセージ画面が表示されたら、以下の操作をする

設定された内容を確認する場合

❶ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

❷設定内容を確認したら決定を押す

- 設定された内容を変更する場合は、「再スキャン」終了後に「手動設定」44 をしてください。

設定された内容を確認しない場合

❶ ◀·▶で「いいえ」を選び、決定を押す

4 終了を押して、メニューを消す

自動スキャン

- 「自動スキャン」は本機の電源が「切」または「待機」のときに不定期に行われます。
- 「初期スキャン」(26 または 41)をしていないと、自動スキャンは行われません。
- 「自動スキャン」で放送局の変更が見つかった場合は、本機のチャンネル設定の内容を自動で変更し、「本機に関するお知らせ」(操作編 53)でお知らせします。
- 変更後の受信できるチャンネルについては番組表(操作編 10)でご確認ください。(枝番(操作編 8)だけが変更されている場合もあります)
- お買い上げ時は「自動スキャンする」に設定されています。チャンネル設定した内容を自動で変更させたくない場合は、「自動スキャンしない」に設定してください。
- 「自動スキャン」は不定期に行われるため、「自動スキャンする」に設定していても本機のチャンネル設定が最新になっていない場合があります。放送局の変更があった場合は、「再スキャン」をすることをおすすめします。また、録画予約などをしていた場合は、予約チャンネルをご確認ください。

1 以下の操作で「地上デジタル自動設定」画面にする

❶ クイック を押す

❷ ▲·▼で「設定」を選び、決定を押す

❸ ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す

❹ ▲·▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

❺ ▲·▼で「地上デジタル自動設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「自動スキャン」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「自動スキャンする」または「自動スキャンしない」を選び、決定を押す

- 「自動スキャンしない」を選ぶと、「再スキャン」をしないかぎり、新しいチャンネルや変更になったチャンネルが受信できません。

4 終了を押して、メニューを消す

■「再スキャン」の動作について

- 前ページの「初期スキャン」の場合は、数字ボタン1～12にすでに設定されている放送局をすべて消去して新たに放送局を設定し直しますが、「再スキャン」では次のようになります。
  - 放送局がすでに登録されている数字ボタンについて、「再スキャン」によって放送システム上の規定で設定すべき放送局が新たに見つかった場合、すでに登録されている放送局をそのまま残すのか、新たな放送局に設定し直すのかの選択ができます(手順**2**の操作)。(すべてのボタンについてまとめて選択します。個別の選択はできません。個別に設定を変えたい場合は、「再スキャン」終了後に「手動設定」44 をしてください)
  - 新たな放送局が見つからなかった数字ボタンについては、そのまま設定が残ります。
- 「再スキャン」終了後の各チャンネルの構成については、番組表で確認できます。(操作編 10)
- 「再スキャン」をしても、枝番(操作編 8)については、通常は変更されません。
- 「再スキャン」によってチャンネルが設定されても、電波が弱い場合には正常には受信できないことがあります。

手動設定

● リモコンのボタンに設定されている内容を変更したいときに手動設定をします。

地上アナログ放送(VHF／UHF／CATV C13〜C63)の場合

● 以下の場合にも手動設定をしてください。
- 自動設定で正しく受信できないとき
- 設定されたチャンネル表示を変えたいとき
- CATVのチャンネルを[1]〜[12]に設定したいとき

1 以下の操作で「手動設定」画面にする

❶ [クイック]を押す
❷ ▲·▼で「設定」を選び、(決定)を押す
❸ ▲·▼で「初期設定」を選び、(決定)を押す
❹ ▲·▼で「チャンネル設定」を選び、(決定)を押す
❺ ▲·▼で「手動設定」を選び、(決定)を押す

2 ▲·▼で「地上アナログ」を選び、(決定)を押す

3 設定を変更したい数字ボタン([1]〜[12])の数字を▲·▼で選び、(決定)を押す

4 次の❶〜❹の手順で、それぞれの項目を設定する

例

手動設定	地上アナログ
リモコンボタン	5
❶ チャンネル	◀ 14 ▶
❷ 表示	地アナ14
❸ 放送局	TOKYO MX
❹ 受信地域	23区

❶ ▲·▼で「チャンネル」を選び、◀·▶で地上アナログ放送のチャンネルを選ぶ

● ◀·▶を押すと次のように切り換わります。
(◀·▶を押し続けると、チャンネルを早く切り換えることができます)

地上アナログ放送(1〜62) ⟷ CATV(C13〜C63)

● 色が消えたり、映像が不安定になったりしたときに、[青]と[黄]で微調整するとよくなる場合があります。
※ 調整前の状態に戻すには◀·▶でチャンネルを選び直してください。

❷ ▲·▼で「表示」を選び、画面に表示させるチャンネル番号を◀·▶で選ぶ

● ◀·▶を押すと次のように切り換わります。

地上アナログ放送(1〜62) ⟷ CATV(C13〜C63)
↑↓ BSアナログ放送(BS1、BS3、…BS15)(CATVで放送されている場合) ↵

❸ ▲·▼で「放送局」を選び、◀·▶で放送局名を選ぶ

● 「表示しない」を選ぶこともできます。

❹ ▲·▼で「受信地域」を選び、◀·▶でアンテナを向けている放送局の地域を選ぶ

※ レグザリンク対応の東芝レコーダーを接続している場合、東芝レコーダー側の地上アナログチャンネルを「HDMI連動で取得」の操作で設定する場合に、本機から渡すためのデータが設定されます。

5 (決定)を押す

※ 他のボタンの設定も変更する場合は、手順**3**〜**5**を繰り返します。

6 (終了)を押して、メニューを消す

● 「チャンネル設定」をした地上アナログチャンネルは、「チャンネルスキップ設定」45が自動的に「受信」に設定されます。
● 手動設定をしたあとで、「地上アナログ自動設定」40や「はじめての設定」25をすると、手動設定をした内容が消えますので再度設定をしてください。

■ CATV(ケーブルテレビ)について
● CATVの受信は、サービスの行われている地域でだけ可能で、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。詳しくは、CATV会社にご相談ください。

チャンネル設定 つづき

手動設定 つづき

地上デジタル放送の場合

● はじめて地上デジタル放送のチャンネル設定をする場合は、「初期スキャン」41 をしてください。「初期スキャン」が行われていない状態では、「手動設定」はできません。

1 以下の操作で「手動設定」画面にする

❶ クイック を押す
❷ ▲·▼で「設定」を選び、決定 を押す
❸ ▲·▼で「初期設定」を選び、決定 を押す
❹ ▲·▼で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す
❺ ▲·▼で「手動設定」を選び、決定 を押す

2 ▲·▼で「地上デジタル」を選び、決定 を押す

3 設定を変更したい数字ボタン（1～12）の数字を▲·▼で選び、決定 を押す

例 手動設定　地上デジタル

リモコン	チャンネル	放送局
1	テレビ	ＮＨＫ総合・東京
2	テレビ	ＮＨＫ教育・東京
3	―――	
4	テレビ	日本テレビ
5	テレビ	テレビ朝日
▼ 6	テレビ	ＴＢＳ

リモコンの数字ボタンの数字
※▼ボタンを押せば、7～12が表示されます。

4 ▲·▼で「チャンネル」を選び、◀·▶で地上デジタルのチャンネルを選ぶ

例 手動設定　地上デジタル

リモコンボタン	1
チャンネル	◀ テレビ ▶
放送局	ＮＨＫ総合・東京
設定を削除する	

● ◀·▶を押すと次のように切り換わります。
（◀·▶を押し続けると、チャンネルを早く切り換えることができます）

● 「チャンネル」の欄に「―――」が表示されているときは、その番号のボタンにチャンネルが設定されていません。

「テレビ」を選んだ場合

● 手順**3**で選んだ番号のボタンに、同じ放送局の複数のテレビ放送チャンネルがまとめて設定されます。

❶ ▲·▼で「放送局」を選ぶ
❷ 設定したい放送局名を◀·▶で選ぶ

（例）手順**3**で「6」を選び、ここで「テレビ」を選ぶと、視聴時の操作で 6 を押すたびに、「TBS」の「テレビ」チャンネルが順次選局できます。

地上デジタルのチャンネルを選んだ場合

● 手順**3**で選んだ番号のボタンに、ここで選んだ地上デジタルのチャンネルだけが設定されます。
※「放送局」の欄には選んだチャンネルの放送局名が表示されます（これを変えることはできません）。

（例）手順**3**で「6」を選び、ここで「地デジ071」を選ぶと、視聴時の操作で 6 を押したときに071チャンネルだけが選局できます。

5 決定 を押す

※ 他のボタンの設定も変更する場合は、手順**3**～**5**を繰り返します。

6 ▶を押して、設定を保存する

7 終了 を押して、メニューを消す

● 手動設定をしたあとで、「初期スキャン」41 や「はじめての設定」25 をすると、手動設定をした内容が消えますので再度設定をしてください。

チャンネル設定の内容を削除する

● デジタル放送のチャンネル設定の内容を削除できます。

1 以下の操作で「手動設定」画面にする

❶ クイック を押す

❷ ▲･▼で「設定」を選び、決定 を押す

❸ ▲･▼で「初期設定」を選び、決定 を押す

❹ ▲･▼で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す

❺ ▲･▼で「手動設定」を選び、決定 を押す

2 放送の種類(「地上アナログ」、「地上デジタル」)を▲･▼で選び、決定 を押す

3 設定内容を削除したい数字ボタンの数字を▲･▼で選び、決定 を押す

4 ▲･▼で「設定を削除する」を選び、決定 を押す

手動設定	地上デジタル
リモコンボタン	1
チャンネル	テレビ
放送局	NHK総合・東京
設定を削除する	

※ 他のボタンの設定も削除する場合は、手順**3**、**4**を繰り返します。

5 「地上デジタル」の場合は、▶を押して設定を保存する

6 終了 を押して、メニューを消す

チャンネルスキップ設定

● チャンネル で選局するときに、不要なチャンネルを飛び越すことができます。

● CATVチャンネルは、お買い上げ時は「スキップ」になっています。受信するには、以下の手順で「受信」に設定してください。

1 以下の操作で「チャンネルスキップ設定」画面にする

❶ クイック を押す

❷ ▲･▼で「設定」を選び、決定 を押す

❸ ▲･▼で「初期設定」を選び、決定 を押す

❹ ▲･▼で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す

❺ ▲･▼で「チャンネルスキップ設定」を選び、決定 を押す

2 放送の種類(「地上アナログ」、「地上デジタル」)を▲･▼で選び、決定 を押す

3 スキップ設定を変更したいチャンネルを▲･▼で選び、決定 を押す

例

地上アナログチャンネルスキップ設定

リモコン	チャンネル	放送局	スキップ
1	1	NHK総合	受信
2	16	放送大学	スキップ
3	3	NHK教育	受信
4	4	日本テレビ	受信
5	14	TOKYO MX	受信
▼ 6	6	TBS	受信

(例) 手順**2**で「地上アナログ」を選んだ場合

● 決定 を押すたびに「受信」⇔「スキップ」と交互に切り換わります。

● 1 ～ 12 に割り当てたCATVチャンネル(C13～C63)は、「リモコン」欄が1～12よりも下のリストで「設定済み」として表示されます。

※ **他のチャンネルの設定をする場合は、手順3を繰り返します。**
(違う放送のチャンネルを設定する場合は、戻る を押し、手順**2**から操作してください)

4 終了 を押して、メニューを消す

■ 受信・スキップの設定ができるチャンネル

● **地上アナログ放送**
1～12 に割り当てられた地上アナログ放送とCATVチャンネル、その他のCATVチャンネル

● **地上デジタル放送**
受信可能なチャンネル

■ 自動設定をしたあとのチャンネルスキップ設定

● **地上アナログ放送**
1～12 にチャンネルが割り当てられているボタンは「受信」、チャンネルが割り当てられていないボタンは「スキップ」に設定されています。

● **地上デジタル放送**
スキップ設定はありません。

お知らせ

■ チャンネルスキップ設定について

● 「手動設定」をしたチャンネルは、自動的に「受信」に設定されます。

● 放送局の代表チャンネルを「スキップ」に設定すると、その放送局の代表チャンネル以外のチャンネルもスキップします。代表チャンネル以外のチャンネルを「スキップ」に設定した場合は、代表チャンネルは選局できます。

チャンネル設定 つづき

ステレオ／モノラルの設定

● 電波の弱いステレオ放送のときに、雑音が出ることがあります。その場合、「モノラル」に設定すれば聴きやすくなることがあります。
● 電波の弱いチャンネルの放送を視聴している状態で以下の設定をします。

1 以下の操作で「チャンネル設定」画面にする

❶ クイック を押す
❷ ▲･▼で「設定」を選び、決定 を押す
❸ ▲･▼で「初期設定」を選び、決定 を押す
❹ ▲･▼で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す

2 ▲･▼で「ステレオ／モノラル」を選び、決定 を押す

3 ▲･▼で「ステレオ」または「モノラル」を選び、決定 を押す

4 終了 を押して、メニューを消す

■「モノラル」に設定していてステレオ放送を受信したとき

● 音声はモノラルになります。
● チャンネル切換時には、「ステレオ」と表示されます。
● 画面表示 を押したときは、「モノラル選択中」と表示されます。

無信号消音設定

● 無信号のとき（放送のないチャンネルを選択したり、放送が終わったりしたときなど）に、音声が出ないように設定することができます。
● 電波が極端に弱いチャンネルを選択したときにも、機能が働くことがあります。

1 以下の操作で「チャンネル設定」画面にする

❶ クイック を押す
❷ ▲･▼で「設定」を選び、決定 を押す
❸ ▲･▼で「初期設定」を選び、決定 を押す
❹ ▲･▼で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す

2 ▲･▼で「無信号消音設定」を選び、決定 を押す

3 ▲･▼で「オン」または「オフ」を選び、決定 を押す

・ **オン**……無信号のときに音声を出さない。
・ **オフ**……無信号のときにも音声を出す。

4 終了 を押して、メニューを消す

チャンネル設定を最初の状態に戻す

● すべてのチャンネル設定と、「ステレオ／モノラルの設定」、「無信号消音設定」をお買い上げ時の状態に戻します。

1 以下の操作で「チャンネル設定」画面にする

❶ クイック を押す
❷ ▲･▼で「設定」を選び、決定 を押す
❸ ▲･▼で「初期設定」を選び、決定 を押す
❹ ▲･▼で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す

2 ▲･▼で「初期設定に戻す」を選び、決定 を押す

3 ◀･▶で「はい」を選び、決定 を押す

4 終了 を押して、メニューを消す

■ ステレオ／モノラルの設定について
● ステレオ／モノラルの設定は、地上アナログ放送視聴時とアンテナ端子からのCATV放送視聴時にだけできます。

■ チャンネル設定を最初の状態に戻す場合について
● チャンネル設定をお買い上げ時の状態に戻すと、地上デジタル放送は受信できません。「初期スキャン」41をしてください。

簡易確認テスト

● 引越しなどでチャンネル設定を変えた場合や、B-CASカードの状態を確かめたいときなどに、簡単な確認テストをすることができます。

1 以下の操作で「初期設定」画面にする

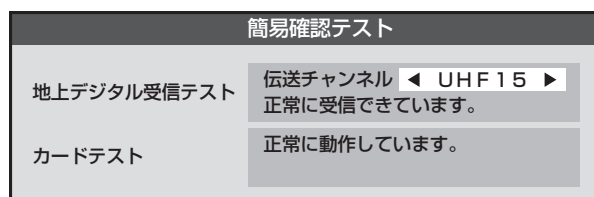
❶ クイック を押す

❷ ▲·▼で「設定」を選び、決定 を押す

❸ ▲·▼で「初期設定」を選び、決定 を押す

2 ▲·▼で「簡易確認テスト」を選び、決定 を押す

● 確認テストが始まります。テスト結果については下の「お知らせ」をご覧ください。

簡易確認テスト	
地上デジタル受信テスト	伝送チャンネル ◀ UHF15 ▶ 正常に受信できています。
カードテスト	正常に動作しています。

■「地上デジタル受信テスト」の伝送チャンネルを変えるには

❶ ◀·▶で伝送チャンネルを選ぶ

● 受信テストが始まり、結果が表示されます。

● 他の伝送チャンネルをテストする場合も同じ操作をします。

※ お住まいの地域の地上デジタル放送で使用されている伝送チャンネルがわからない場合は、「地上デジタル受信テスト」を省略して、実際の放送が視聴できるか確認してください。

3 簡易確認テストが終了したら、決定 を押す

4 終了 を押して、メニューを消す

文字スーパー表示設定

● デジタル放送には文字スーパー表示機能があり、災害時の速報などに使用されます。複数言語の文字スーパーに対応した番組の場合には、本機で表示する言語を選択することができます。お買い上げ時は日本語優先になっています。

1 以下の操作で「文字スーパー表示設定」画面にする

❶ クイック を押す

❷ ▲·▼で「設定」を選び、決定 を押す

❸ ▲·▼で「初期設定」を選び、決定 を押す

❹ ▲·▼で「文字スーパー表示設定」を選び、決定 を押す

2 ▲·▼で「表示する」または「表示しない」を選び、決定 を押す

● 「表示しない」を選んだ場合は、手順**4**に進みます。

3 ▲·▼·◀·▶で言語を選び、決定 を押す

● 日本語／英語／ドイツ語／フランス語／イタリア語／ロシア語／中国語／韓国語／スペイン語から選ぶことができます。

4 終了 を押して、メニューを消す

お知らせ

■「簡易確認テスト」の結果について

テスト項目	テスト結果の表示	内容または対処のしかた
地上デジタル受信テスト 地上デジタル放送が受信できることをテストします。	「正常に受信できています。」	――
	「正しく受信できません。」	● アンテナの接続 23 とアンテナレベル 28 を確認してください。
カードテスト 本機で使えるB-CASカードかどうかテストします。	「正常に動作しています。」	――
	「B-CASカードを正しく挿入してください。」	● B-CASカードを正しい向きで挿入後、もう一度簡易確認テストをしてください。
	「このICカードはご使用になれません。 正しいB-CASカードを挿入してください。」	
	「このB-CASカードはご使用になれません。」	● B-CASカードを確かめてください。 ● B-CASカードを交換してください。 ● カードに記載のB-CASカスタマーセンターにお問い合わせください。
	「B-CASカードが故障しています。」	

■ 文字スーパー表示設定について

● 「表示する」に設定した場合、設定した言語の文字スーパーがあるときは、その言語で表示します。設定した言語が視聴している放送にない場合は、その放送に従って表示されます。

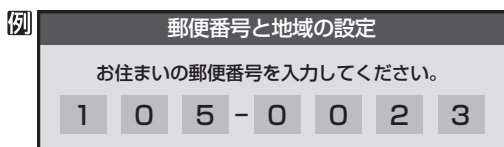
郵便番号と地域の設定

● お住まいの地域に応じたデータ放送や、文字スーパー表示、緊急警報放送などを視聴するための設定で、地域は「初期スキャン」41 とは別に設定できます。

1 以下の操作で「郵便番号と地域の設定」画面にする

❶ クイック を押す
❷ ▲･▼で「設定」を選び、決定 を押す
❸ ▲･▼で「初期設定」を選び、決定 を押す
❹ ▲･▼で「郵便番号と地域の設定」を選び、決定 を押す

2 お住まいの地域の郵便番号を 1 ～ 10₀（0）で入力し、決定 を押す

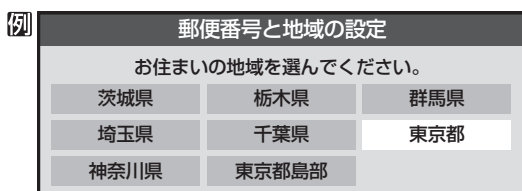
● 上3ケタを入力して 決定 を押すと残りの4ケタは自動的に「0」が入力されます。

例
3 お住まいの地方を▲･▼･◀･▶で選び、決定 を押す

● 「設定しない」を選んだ場合は手順**5**に進みます。

4 お住まいの地域を▲･▼･◀･▶で選び、決定 を押す

例

郵便番号と地域の設定
お住まいの地域を選んでください。

茨城県	栃木県	群馬県
埼玉県	千葉県	東京都
神奈川県	東京都島部	

● 伊豆、小笠原諸島地域の方は「東京都島部」を選んでください。
● 南西諸島の鹿児島県地域の方は「鹿児島県島部」を選んでください。

5 終了 を押して、メニューを消す

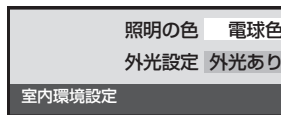
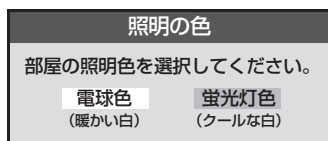
■ 郵便番号と地域の設定について
● 「はじめての設定」25 とここでの設定では、地方、都道府県、地域の設定のしかたが異なっています。これは「はじめての設定」では「地上アナログ/デジタル放送チャンネル設定」と同時にまとめて設定しているためです。
● データ放送を受信している状態で設定をした場合、放送によっては、設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されません。設定終了後に再度データ放送を受信し直してください。

室内環境設定

● 「映像メニュー」（操作編 22 ）の「おまかせ」をより効果的に働かせるための設定です。
● 「映像メニュー」で「おまかせ」を選択していないときは、この設定項目は選択できません。
● 「室内環境設定」以外の「映像設定」については操作編をご覧ください。

1 以下の操作で「室内環境設定」画面にする

❶ クイック を押す
❷ ▲･▼で「映像設定」を選び、決定 を押す
❸ ▲･▼で「お好み調整」を選び、決定 を押す
❹ ▲･▼で「室内環境設定」を選び、決定 を押す

2 ▲･▼で「照明の色」を選び、決定 を押す

3 ▲･▼で「電球色（暖かい白）」または「蛍光灯色（クールな白）」を選び、決定 を押す

• **電球色（暖かい白）**……室内の照明が白熱灯（電球）や電球色の蛍光灯の場合に選びます
• **蛍光灯色（クールな白）**……室内の照明が蛍光灯の場合に選びます（蛍光灯のタイプが電球色の場合は「電球色」を選んでください）

4 ▲･▼で「外光設定」を選び、決定 を押す

5 ▲･▼で「外光あり（通常）」または「外光なし」を選び、決定 を押す

• **外光あり（通常）**……日中、屋外から光がはいる場合。
• **外光なし**……日中、屋外からはいる光が少なく、室内照明を使用している場合。

● 「外光あり」に設定した場合、手順**3**で設定した照明の色と外光に合わせた画質に自動調整されます。デジタル放送から時刻情報を取得していない場合には、この設定では動作しません。
● 「外光なし」に設定した場合、手順**3**で設定した照明の色に合わせた画質に自動調整されます。

6 終了 を押して、メニューを消す

お買い上げ時の設定に戻すには（設定内容を初期化するには）

● お買い上げ時の設定に戻す方法は3種類あります。目的に合わせて操作してください。

※ 初期化をすると初期化前の状態に戻すことはできませんのでご注意ください。

項　目	内　容
初期化1	● チャンネル設定以外の設定項目をお買い上げ時の状態に戻します。 ● お好みに設定した項目を設定し直すときに行うと便利です。
初期化2	● チャンネル設定を含めた設定項目をお買い上げ時の状態に戻します。
すべての初期化	● 本機に設定されたすべての内容をお買い上げ時の状態に戻します。 ● 放送局からのお知らせもすべて消去されます。 ※ **この初期化は本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合に行ってください。**

1 以下の操作で「設定の初期化」画面にする

❶ クイック を押す

❷ ▲·▼で「設定」を選び、決定を押す

❸ ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す

❹ ▲·▼で「設定の初期化」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「初期化1」、「初期化2」、または「すべての初期化」を選び、決定を押す

● 初期化される項目の内容は、上の表をご覧ください。

設定の初期化

初期化1
初期化2
すべての初期化

設定項目を初期化します。
ただし、チャンネル設定と放送局からのお知らせは初期化されません。

3 初期化する場合は◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

※ 初期化したあとに初期化前の状態に戻すことはできません。

4 初期化終了の画面が表示されたら、以下の操作をする

● 「初期化1」、「初期化2」の場合は決定を押します。

● 「すべての初期化」の場合は電源を切ります。

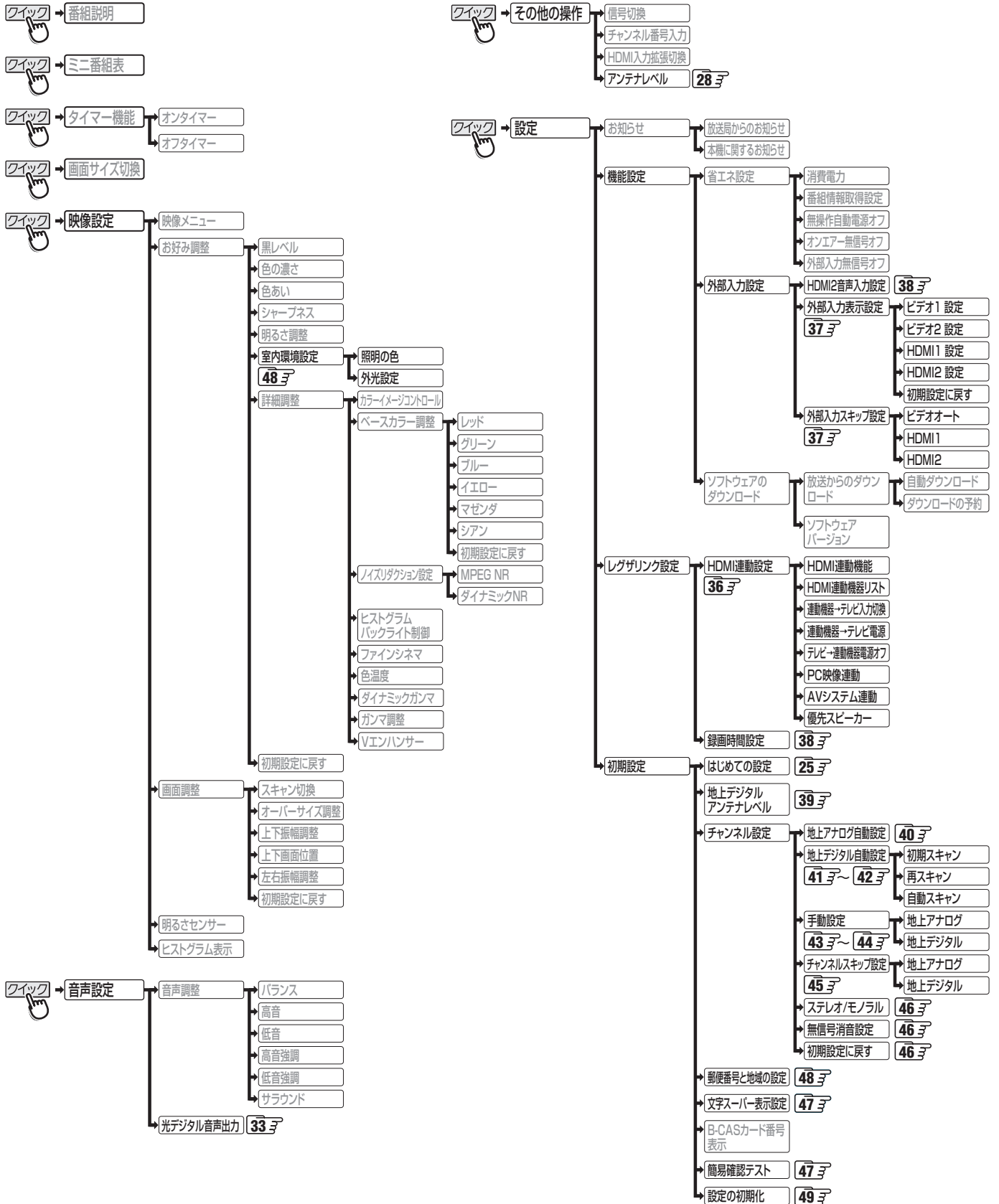
お買い上げ時の設定に戻すには　つづき

お買い上げ時の設定

項目			設定内容	
映像メニュー			おまかせ	
お好み調整	黒レベル		00	
お好み調整	色の濃さ		00	
お好み調整	色あい		00	
お好み調整	シャープネス		00	
お好み調整	室内環境設定	照明の色	電球色	
お好み調整	室内環境設定	外光設定	外光あり	
お好み調整	カラーイメージコントロール		オン	
お好み調整	ベースカラー調整		色あい	色の濃さ
お好み調整	ベースカラー調整	レッド	00	00
お好み調整	ベースカラー調整	グリーン	00	+04
お好み調整	ベースカラー調整	ブルー	00	+04
お好み調整	ベースカラー調整	イエロー	00	00
お好み調整	ベースカラー調整	マゼンダ	00	00
お好み調整	ベースカラー調整	シアン	00	00
お好み調整	MPEG NR		弱	
お好み調整	ダイナミックNR		オート	
お好み調整	ヒストグラムバックライト制御		オン	
お好み調整	ファインシネマ		オート	
お好み調整	色温度		00	
お好み調整	ダイナミックガンマ		00	
お好み調整	ガンマ調整		00	
お好み調整	Vエンハンサー		00	
明るさセンサー			オン	
音声調整	バランス		中央	
音声調整	高音		00	
音声調整	低音		00	
音声調整	高音強調		オン	
音声調整	低音強調		弱	
音声調整	サラウンド		オフ	
光デジタル音声出力			PCM	
省エネ設定	消費電力		標準	
省エネ設定	番組情報取得設定		取得する	
省エネ設定	無操作自動電源オフ		動作しない	
省エネ設定	オンエアー無信号オフ		待機にする	
省エネ設定	外部入力無信号オフ		待機にする	
外部入力表示設定	ビデオ1設定		DVD	
外部入力表示設定	ビデオ2設定		ゲーム	
外部入力表示設定	HDMI1設定		DVD	
外部入力表示設定	HDMI2設定		DVD	
外部入力スキップ設定			「ビデオオート」のみスキップ「する」	

項目		設定内容
放送からの自動ダウンロード		自動ダウンロード　する
自動スキャン		自動スキャンする
チャンネルスキップ設定		CATV:スキップ、その他の放送:受信
ステレオ／モノラル		ステレオ
無信号消音設定		オン
HDMI連動設定	HDMI連動機能	使用する
HDMI連動設定	連動機器→テレビ入力切換	連動する
HDMI連動設定	連動機器→テレビ電源	連動する
HDMI連動設定	テレビ→連動機器電源オフ	連動する
HDMI連動設定	PC映像連動	使用する
HDMI連動設定	AVシステム連動	使用する
HDMI連動設定	優先スピーカー	テレビスピーカー
録画時間設定		2時間
番組表	文字サイズ変更	小さく
番組表	ジャンル色分け設定	青:映画、橙:スポーツ、緑:音楽
番組表	スキップチャンネル表示設定	スキップチャンネル表示
オフタイマー		オフ
音多切換		主音声
字幕		字幕オフ
音量		30

メニュー 一覧

- 設定・調整のメニュー 一覧を下図に示します。（薄く記載している部分は、別冊「操作編」で説明している部分です）
  「操作編」で説明している部分のメニュー 一覧は、操作編 55 をご覧ください。
- メニューに表示される項目や項目名、選択できる項目などは設定状態によって変わります。選択できない項目はメニュー画面で薄く表示されます。
- 「映像設定」のメニューは、「映像メニュー」で「おまかせ」を選んでいる場合の一覧です。

地上デジタル放送について

●地上デジタル(テレビ)放送とは？

地上波のUHF帯を使用したデジタル放送のことです。(本書および別冊の「操作編」では、「地上デジタル放送」と記載しています)
現在行われているアナログ方式の地上放送(本書および別冊の「操作編」では、「地上アナログ放送」と記載しています)は、今後この地上デジタル放送に変わっていきます。

●地上デジタル放送の特長

これまでの地上アナログ放送に比べて、以下の特長があります。

(1) デジタルハイビジョン放送を中心とした高画質放送・多チャンネル放送

放送フォーマットには以下の4種類があります。時間帯によってデジタルハイビジョン放送1チャンネル分の電波を使って通常放送2 ～ 3チャンネルの多チャンネル放送が行われることがあります。

	デジタルハイビジョン放送(HD)		プログレッシブ放送(SD)	通常放送(SD)
放送フォーマット	1080i放送	720p放送	480p放送	480i放送
走査線の数	有効1080本	有効720本	有効480本	有効480本
走査の方式	インターレース (飛越走査)	プログレッシブ (順次走査)	プログレッシブ (順次走査)	インターレース (飛越走査)
画面サイズ	16：9	16：9	16：9	16：9、4：3

※ 本機は各種の放送フォーマットをデジタル処理によって液晶パネルの画素数に合わせて表示します。
※ ハイビジョン放送には1035iの放送信号もあります。1035iの放送信号を受信した場合は、画面上部が黒く表示されます。

(2) CD並みの高音質放送(MPEG-2 AAC方式)

通常のステレオ放送のほかに5.1chステレオサラウンドの番組も放送されており、5.1chのオーディオシステムにつなげば、前後左右からのサウンドが楽しめます。

(3) ゴーストのない鮮明な映像

アナログ放送では地形や建造物などの影響で反射電波によるゴーストが起こりますが、デジタル放送ではゴーストはなく、高品質な映像が楽しめます。

(4) データ放送や双方向サービス(本機は双方向サービスには対応していません)

通常の番組に加えて、地域に密着したニュースや天気予報などのデータ放送があります。また、電話回線などを使った双方向サービスによるオンラインショッピングや、視聴者参加型のクイズ番組なども予定されています。

(5) 固定・移動受信向けサービスと携帯受信向け部分受信サービス

ご家庭や移動中の車などに向けた固定・移動受信サービスと、携帯電話などで受信できる部分受信サービス(ワンセグ)があります。
※本機は部分受信サービス(ワンセグ)は受信できません。

●BSデジタル放送や110度CSデジタル放送との違いは？

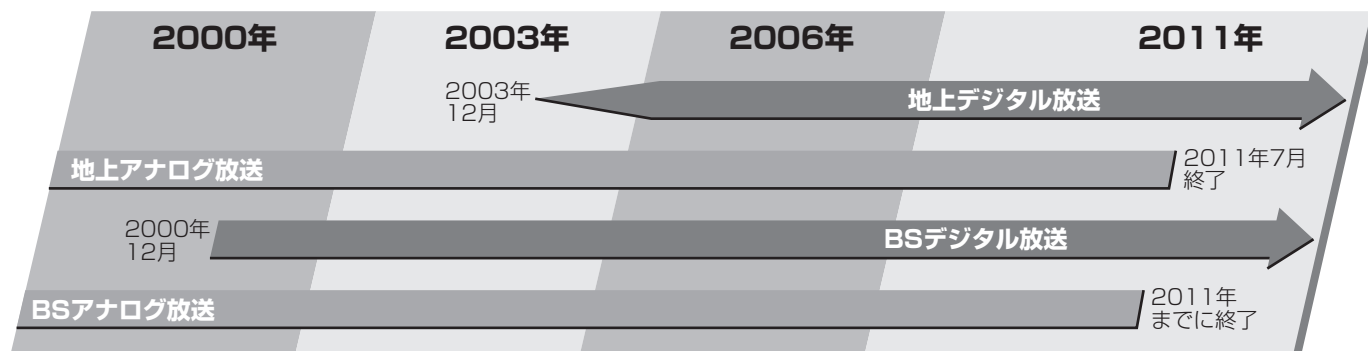
BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の場合................ 衛星を使った放送であり、日本全国どこでも同じ番組が楽しめます。
地上デジタル放送の場合 .... 放送は各地域の放送局から送信されます。
地域に密着した放送・番組が多く提供される予定です。

●地上デジタル放送を受信するには

本機のほかに、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが必要です。(ほかに、混合器や分波器が必要な場合もあります)

●デジタル放送への移行スケジュールについて

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送は2011年7月までに、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。

資料

地上アナログ放送の自動設定一覧表

- 「はじめての設定」25や「地上アナログ自動設定」40をすると、この表にある放送局がリモコンの数字ボタン1～12に自動設定されます。
- この表にない放送局を受信するとき(受信できる場合)は、「手動設定」43で設定してください。
- お住まいの地域がこの表に記載されていない場合は、近くの地域・都市名で「地上アナログ自動設定」をして、正しく受信できないときは「手動設定」で設定してください。
- 地上デジタル放送開始にともなう「アナログ周波数変更対策」によって、この表のチャンネルの内容が変わることがあります。その場合は「手動設定」で設定してください。
- この表に記載のお使いになる地域・都市名を「はじめての設定」や「地上アナログ自動設定」で選んで設定しても、アンテナの向きや高層物などの影響によって、正しく受信できない場合があります。その場合は28の説明をご覧ください。
- ダウンロード(操作編52)によって、この表の内容(自動設定される内容)は、変わる場合があります。
- この表の内容は放送局側の運用変更によって、変わる場合があります。

2006年12月1日現在

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
北海道	北海道・北部	旭川	2	NHK教育	2	2
			4	テレビ北海道(TVh)	33	33
			5	北海道文化放送(UHB)	37	37
			6	北海道テレビ放送(HTB)	39	39
			7	札幌テレビ放送(STV)	7	7
			9	NHK総合	9	9
			11	北海道放送(HBC)	11	11
		釧路	2	NHK教育	2	2
			3	北海道テレビ放送(HTB)	39	39
			4	北海道文化放送(UHB)	41	41
			7	札幌テレビ放送(STV)	7	7
			9	NHK総合	9	9
			11	北海道放送(HBC)	11	11
		北見	2	NHK教育	2	2
			4	北海道テレビ放送(HTB)	61	61
			5	北海道文化放送(UHB)	59	59
			7	札幌テレビ放送(STV)	7	7
			9	NHK総合	9	9
			11	北海道放送(HBC)	53	53
		網走	1	北海道放送(HBC)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	札幌テレビ放送(STV)	5	5
			7	北海道文化放送(UHB)	27	27
			9	北海道テレビ放送(HTB)	35	35
			12	NHK教育	12	12
		稚内	2	北海道文化放送(UHB)	26	26
			4	NHK総合	28	28
			6	札幌テレビ放送(STV)	22	22
			8	北海道テレビ放送(HTB)	24	24
			10	北海道放送(HBC)	10	10
			12	NHK教育	30	30
		名寄	2	北海道文化放送(UHB)	26	26
			4	NHK総合	4	4
			6	札幌テレビ放送(STV)	6	6
			8	北海道テレビ放送(HTB)	24	24
			10	北海道放送(HBC)	10	10
			12	NHK教育	12	12
		根室	2	NHK教育	2	2
			5	北海道文化放送(UHB)	62	62
			6	北海道テレビ放送(HTB)	60	60
			7	札幌テレビ放送(STV)	7	7
			9	NHK総合	9	9
			11	北海道放送(HBC)	11	11
	北海道・南部	札幌	1	北海道放送(HBC)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			4	テレビ北海道(TVh)	17	17
			5	札幌テレビ放送(STV)	5	5
			7	北海道文化放送(UHB)	27	27
			10	北海道テレビ放送(HTB)	35	35
			12	NHK教育	12	12
		函館	1	北海道文化放送(UHB)	27	27
			3	北海道テレビ放送(HTB)	35	35
			4	NHK総合	4	4
			5	テレビ北海道(TVh)	21	21
			6	北海道放送(HBC)	6	6
			10	NHK教育	10	10
			12	札幌テレビ放送(STV)	12	12
北海道	北海道・南部	帯広	1	北海道文化放送(UHB)	32	32
			3	北海道テレビ放送(HTB)	34	34
			4	NHK総合	4	4
			6	北海道放送(HBC)	6	6
			10	札幌テレビ放送(STV)	10	10
			12	NHK教育	12	12
		苫小牧	2	NHK教育	49	49
			4	北海道テレビ放送(HTB)	61	61
			5	北海道文化放送(UHB)	53	53
			7	札幌テレビ放送(STV)	57	57
			9	NHK総合	51	51
			11	北海道放送(HBC)	55	55
			12	テレビ北海道(TVh)	47	47
		小樽	2	NHK教育	2	2
			4	北海道テレビ放送(HTB)	4	4
			5	北海道文化放送(UHB)	26	26
			7	札幌テレビ放送(STV)	7	7
			9	北海道放送(HBC)	9	9
			11	NHK総合	11	11
			12	テレビ北海道(TVh)	24	24
		室蘭	2	NHK教育	2	2
			4	テレビ北海道(TVh)	29	29
			5	北海道文化放送(UHB)	37	37
			6	北海道テレビ放送(HTB)	39	39
			7	札幌テレビ放送(STV)	7	7
			9	NHK総合	9	9
			11	北海道放送(HBC)	11	11
東北	青森	青森	1	青森放送(RAB)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			4	青森朝日放送(ABA)	34	34
			5	NHK教育	5	5
			12	青森テレビ(ATV)	38	38
		八戸	2	アイビーシー岩手放送(IBCテレビ)	2	2
			3	テレビ岩手	37	37
			4	岩手めんこいテレビ	29	29
			6	岩手朝日テレビ	27	27
			7	NHK教育	7	7
			9	NHK総合	9	9
			10	青森朝日放送(ABA)	31	31
			11	青森放送(RAB)	11	11
			12	青森テレビ(ATV)	33	33
		むつ	4	NHK総合	4	4
			6	青森朝日放送(ABA)	56	56
			8	青森テレビ(ATV)	58	58
			10	青森放送(RAB)	10	10
			12	NHK教育	12	12
	岩手	盛岡	1	テレビ岩手	35	35
			4	NHK総合	4	4
			6	アイビーシー岩手放送(IBCテレビ)	6	6
			8	NHK教育	8	8
			10	岩手めんこいテレビ	33	33
			12	岩手朝日テレビ	31	31
		釜石	2	NHK総合	2	2
			4	岩手朝日テレビ	62	62
			6	岩手めんこいテレビ	60	60
			8	テレビ岩手	58	58
			10	アイビーシー岩手放送(IBCテレビ)	10	10
			12	NHK教育	12	12
東北	岩手	二戸	2	アイビーシー岩手放送(IBCテレビ)	2	2
			4	岩手朝日テレビ	27	27
			5	NHK総合	5	5
			8	岩手めんこいテレビ	29	29
			10	テレビ岩手	37	37
			12	NHK教育	12	12
	宮城	仙台	1	東北放送(TBCテレビ)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	NHK教育	5	5
			7	東日本放送	32	32
			9	宮城テレビ放送(ミヤギテレビ)	34	34
			12	仙台放送	12	12
		石巻	1	東北放送(TBCテレビ)	59	59
			3	NHK総合	51	51
			5	NHK教育	49	49
			7	東日本放送	61	61
			9	宮城テレビ放送(ミヤギテレビ)	55	55
			12	仙台放送	57	57
		気仙沼	2	NHK総合	2	2
			4	東北放送(TBCテレビ)	4	4
			6	仙台放送	6	6
			8	東日本放送	43	43
			10	NHK教育	10	10
			12	宮城テレビ放送(ミヤギテレビ)	37	37
	秋田	秋田	2	NHK教育	2	2
			5	秋田朝日放送	31	31
			9	NHK総合	9	9
			11	秋田放送(ABSテレビ)	11	11
			12	秋田テレビ(AKT)	37	37
		大館	1	青森放送(RAB)	1	1
			4	NHK総合	4	4
			5	秋田朝日放送	59	59
			6	秋田放送(ABSテレビ)	6	6
			8	NHK教育	8	8
			12	秋田テレビ(AKT)	57	57
		大仙・横手	2	NHK教育	43	43
			5	秋田朝日放送	41	41
			9	NHK総合	45	45
			11	秋田放送(ABSテレビ)	47	47
			12	秋田テレビ(AKT)	51	51
	山形	山形	4	NHK教育	4	4
			6	テレビユー山形(TUY)	36	36
			8	NHK総合	8	8
			10	山形放送(YBC山形放送)	10	10
			11	さくらんぼテレビジョン(さくらんぼテレビ)	30	30
			12	山形テレビ	38	38
		鶴岡・酒田	1	山形放送(YBC山形放送)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			6	NHK教育	6	6
			8	テレビユー山形(TUY)	22	22
			11	さくらんぼテレビジョン(さくらんぼテレビ)	24	24
			12	山形テレビ	39	39
		米沢	2	さくらんぼテレビジョン(さくらんぼテレビ)	60	60
			4	NHK教育	50	50
			6	テレビユー山形(TUY)	56	56
			8	NHK総合	52	52
			10	山形放送(YBC山形放送)	54	54
			12	山形テレビ	58	58

地上アナログ放送の自動設定一覧表　つづき

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
東北	山形	新庄	2	NHK教育	2	2
			4	さくらんぼテレビジョン(さくらんぼテレビ)	28	28
			6	テレビユー山形(TUY)	26	26
			9	NHK総合	9	9
			11	山形放送(YBC山形放送)	11	11
			12	山形テレビ	58	58
	福島	福島・郡山	2	NHK教育	2	2
			4	テレビユー福島	31	31
			6	福島中央テレビ	33	33
			9	NHK総合	9	9
			10	福島放送(KFB)	35	35
			11	福島テレビ(FTV)	11	11
		いわき	4	NHK総合	4	4
			6	福島中央テレビ	58	58
			7	テレビユー福島	62	62
			8	福島テレビ(FTV)	8	8
			10	NHK教育	10	10
			12	福島放送(KFB)	60	60
		会津若松	1	NHK総合	1	1
			3	NHK教育	3	3
			4	テレビユー福島	47	47
			6	福島テレビ(FTV)	6	6
			8	福島中央テレビ	37	37
			10	福島放送(KFB)	41	41
関東	茨城	水戸	1	NHK総合	44	1
			3	NHK教育	46	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	42	4
			6	東京放送(TBS)	40	6
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	38	8
			10	テレビ朝日	36	10
			12	テレビ東京	32	12
		日立	1	NHK総合	52	1
			3	NHK教育	50	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	54	4
			6	東京放送(TBS)	56	6
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	58	8
			10	テレビ朝日	60	10
			12	テレビ東京	62	12
	栃木	宇都宮	1	NHK総合	51	1
			3	NHK教育	49	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	53	4
			5	とちぎテレビ	31	31
			6	東京放送(TBS)	55	6
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	57	8
			10	テレビ朝日	41	10
			12	テレビ東京	44	12
		矢板	1	NHK総合	40	1
			3	NHK教育	30	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	36	4
			5	とちぎテレビ	33	31
			6	東京放送(TBS)	42	6
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	45	8
			10	テレビ朝日	59	10
			12	テレビ東京	61	12
	群馬	前橋	1	NHK総合	52	1
			3	NHK教育	50	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	54	4
			5	放送大学	40	40
			6	東京放送(TBS)	56	6
			7	テレビ埼玉(テレ玉)	38	38
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	58	8
			10	テレビ朝日	60	10
			11	群馬テレビ	48	48
			12	テレビ東京	62	12
		桐生	1	NHK総合	51	1
			3	NHK教育	57	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	53	4
			5	放送大学	40	40
			6	東京放送(TBS)	55	6
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	35	8
			10	テレビ朝日	59	10
			11	群馬テレビ	41	48
			12	テレビ東京	61	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
関東	埼玉	さいたま	1	NHK総合	1	1
			3	NHK教育	3	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	4	4
			5	放送大学	16	16
			6	東京放送(TBS)	6	6
			7	テレビ埼玉(テレ玉)	38	38
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	8	8
			10	テレビ朝日	10	10
			11	群馬テレビ	48	48
			12	テレビ東京	12	12
		熊谷・児玉	1	NHK総合	51	1
			3	NHK教育	35	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	53	4
			6	東京放送(TBS)	55	6
			7	テレビ埼玉(テレ玉)	30	38
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	57	8
			10	テレビ朝日	59	10
			11	群馬テレビ	48	48
			12	テレビ東京	61	12
		秩父	1	NHK総合	14	1
			3	NHK教育	49	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	16	4
			6	東京放送(TBS)	18	6
			7	テレビ埼玉(テレ玉)	47	38
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	29	8
			10	テレビ朝日	38	10
			12	テレビ東京	44	12
	千葉	千葉・船橋	1	NHK総合	1	1
			2	TOKYO MX	14	14
			3	NHK教育	3	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	4	4
			5	放送大学	16	16
			6	東京放送(TBS)	6	6
			7	テレビ神奈川(tvk)	42	42
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	8	8
			9	千葉テレビ放送(CTC)	46	46
			10	テレビ朝日	10	10
			12	テレビ東京	12	12
		銚子	1	NHK総合	51	1
			3	NHK教育	49	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	53	4
			6	東京放送(TBS)	55	6
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	57	8
			9	千葉テレビ放送(CTC)	39	46
			10	テレビ朝日	59	10
			12	テレビ東京	61	12
	東京	23区	1	NHK総合	1	1
			2	放送大学	16	16
			3	NHK教育	3	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	4	4
			5	TOKYO MX	14	14
			6	東京放送(TBS)	6	6
			7	テレビ神奈川(tvk)	42	42
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	8	8
			9	千葉テレビ放送(CTC)	46	46
			10	テレビ朝日	10	10
			11	テレビ埼玉(テレ玉)	38	38
			12	テレビ東京	12	12
		八王子	1	NHK総合	33	1
			3	NHK教育	29	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	35	4
			5	TOKYO MX	40	14
			6	東京放送(TBS)	37	6
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	31	8
			10	テレビ朝日	45	10
			12	テレビ東京	62	12
		多摩	1	NHK総合	49	1
			3	NHK教育	47	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	51	4
			5	TOKYO MX	61	14
			6	東京放送(TBS)	53	6
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	55	8
			10	テレビ朝日	57	10
			12	テレビ東京	59	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
関東	神奈川	横浜・川崎	1	NHK総合	1	1
			3	NHK教育	3	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	4	4
			5	放送大学	16	16
			6	東京放送(TBS)	6	6
			7	テレビ神奈川(tvk)	42	42
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	8	8
			9	千葉テレビ放送(CTC)	46	46
			10	テレビ朝日	10	10
			12	テレビ東京	12	12
		横浜みなと	1	NHK総合	52	1
			3	NHK教育	50	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	54	4
			6	東京放送(TBS)	56	6
			7	テレビ神奈川(tvk)	48	42
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	58	8
			9	千葉テレビ放送(CTC)	46	46
			10	テレビ朝日	60	10
			12	テレビ東京	62	12
		平塚・茅ヶ崎	1	NHK総合	33	1
			3	NHK教育	29	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	35	4
			6	東京放送(TBS)	37	6
			7	テレビ神奈川(tvk)	31	42
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	39	8
			10	テレビ朝日	41	10
			12	テレビ東京	43	12
		小田原	1	NHK総合	52	1
			3	NHK教育	50	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	54	4
			6	東京放送(TBS)	56	6
			7	テレビ神奈川(tvk)	46	42
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	58	8
			10	テレビ朝日	60	10
			12	テレビ東京	62	12
		秦野	1	NHK総合	47	1
			3	NHK教育	49	3
			4	日本テレビ放送網(日本テレビ)	51	4
			6	東京放送(TBS)	53	6
			7	テレビ神奈川(tvk)	61	42
			8	フジテレビジョン(フジテレビ)	55	8
			10	テレビ朝日	57	10
			12	テレビ東京	59	12
甲信越	新潟	新潟	3	UX新潟テレビ21 (UXTV)	21	21
			4	テレビ新潟放送網(TeNY)	29	29
			5	新潟放送(BSN新潟放送)	5	5
			8	NHK総合	8	8
			10	新潟総合テレビ	35	35
			12	NHK教育	12	12
		上越	1	NHK教育	1	1
			3	NHK総合	3	3
			6	UX新潟テレビ21 (UXTV)	37	37
			8	テレビ新潟放送網(TeNY)	27	27
			10	新潟放送(BSN新潟放送)	10	10
			12	新潟総合テレビ	33	33
	山梨	※	1	NHK総合	1	1
			3	NHK教育	3	3
			5	山梨放送(YBS)	5	5
			6	テレビ山梨(UTY)	37	37
	長野	長野(美ヶ原)	2	NHK総合	2	2
			4	長野朝日放送(ABN)	20	20
			6	テレビ信州	30	30
			9	NHK教育	9	9
			10	長野放送(NBS)	38	38
			11	信越放送	11	11
		長野(善光寺平)	2	NHK総合	44	44
			4	長野朝日放送(ABN)	50	50
			6	テレビ信州	40	40
			9	NHK教育	46	46
			10	長野放送(NBS)	42	42
			11	信越放送	48	48

※山梨は、甲府地域のチャンネルが設定されます。

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
甲信越	長野	松本	2	NHK総合	44	44
			4	長野朝日放送(ABN)	50	50
			6	テレビ信州	48	48
			9	NHK教育	46	46
			10	長野放送(NBS)	42	42
			11	信越放送	40	40
		飯田	3	NHK教育	3	3
			4	NHK総合	4	4
			6	信越放送	6	6
			8	テレビ信州	42	42
			10	長野放送(NBS)	40	40
			12	長野朝日放送(ABN)	44	44
		岡谷・諏訪	1	長野朝日放送(ABN)	61	61
			4	NHK総合	4	4
			6	信越放送	6	6
			8	NHK教育	8	8
			10	テレビ信州	59	59
			12	長野放送(NBS)	47	47
中部	富山	富山	1	北日本放送	1	1
			3	NHK総合	3	3
			6	チューリップテレビ	32	32
			10	NHK教育	10	10
			12	富山テレビ放送(BBT)	34	34
		高岡	1	北日本放送	50	1
			3	NHK総合	48	3
			6	チューリップテレビ	42	32
			10	NHK教育	46	10
			12	富山テレビ放送(BBT)	44	34
	石川	金沢	4	NHK総合	4	4
			6	北陸放送(MRO)	6	6
			7	北陸朝日放送(HAB)	25	25
			8	NHK教育	8	8
			10	テレビ金沢	33	33
			12	石川テレビ放送(石川テレビ)	37	37
		七尾	1	テレビ金沢	57	57
			3	北陸朝日放送(HAB)	59	59
			5	NHK教育	5	5
			7	石川テレビ放送(石川テレビ)	55	55
			9	NHK総合	9	9
			11	北陸放送(MRO)	11	11
	福井	福井	3	NHK教育	3	3
			9	NHK総合	9	9
			11	福井放送(FBCテレビ)	11	11
			12	福井テレビジョン放送(福井テレビ)	39	39
		敦賀	6	NHK総合	6	6
			8	福井放送(FBCテレビ)	8	8
			10	福井テレビジョン放送(福井テレビ)	38	38
			12	NHK教育	12	12
	岐阜	岐阜	1	東海テレビ放送(東海テレビ)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	中部日本放送(CBC)	5	5
			6	三重テレビ放送(三重テレビ)	33	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	NHK教育	9	9
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	37	37
			11	名古屋テレビ放送(メ〜テレ)	11	11
			12	中京テレビ放送(中京テレビ)	35	35
		長良	1	東海テレビ放送(東海テレビ)	57	57
			3	NHK総合	53	53
			5	中部日本放送(CBC)	55	55
			9	NHK教育	49	49
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	61	61
			11	名古屋テレビ放送(メ〜テレ)	59	59
			12	中京テレビ放送(中京テレビ)	47	47
		高山	2	NHK教育	2	2
			3	中京テレビ放送(中京テレビ)	26	26
			4	NHK総合	4	4
			6	中部日本放送(CBC)	6	6
			8	東海テレビ放送(東海テレビ)	8	8
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	38	38
			12	名古屋テレビ放送(メ〜テレ)	12	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中部	岐阜	各務原	1	東海テレビ放送(東海テレビ)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	中部日本放送(CBC)	5	5
			9	NHK教育	9	9
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	37	37
			11	名古屋テレビ放送(メ〜テレ)	11	11
			12	中京テレビ放送(中京テレビ)	35	35
		中津川	3	中京テレビ放送(中京テレビ)	26	26
			4	NHK総合	4	4
			6	名古屋テレビ放送(メ〜テレ)	6	6
			8	中部日本放送(CBC)	8	8
			10	東海テレビ放送(東海テレビ)	10	10
			11	岐阜放送(岐阜テレビ)	28	28
			12	NHK教育	12	12
	静岡	静岡	2	NHK教育	2	2
			4	静岡第一テレビ	31	31
			6	静岡朝日テレビ	33	33
			9	NHK総合	9	9
			11	静岡放送(SBSテレビ)	11	11
			12	テレビ静岡	35	35
		浜松	2	静岡第一テレビ	30	30
			4	NHK総合	4	4
			6	静岡放送(SBSテレビ)	6	6
			8	NHK教育	8	8
			10	静岡朝日テレビ	28	28
			12	テレビ静岡	34	34
		三島・沼津	2	NHK教育	51	51
			3	静岡第一テレビ	61	61
			5	静岡朝日テレビ	57	57
			7	テレビ静岡	59	59
			9	NHK総合	53	53
			11	静岡放送(SBSテレビ)	55	55
		島田	1	NHK総合	56	56
			3	NHK教育	54	54
			5	静岡放送(SBSテレビ)	62	62
			7	静岡第一テレビ	48	48
			10	静岡朝日テレビ	50	50
			12	テレビ静岡	58	58
		富士	2	NHK教育	54	54
			3	静岡第一テレビ	27	27
			5	静岡朝日テレビ	29	29
			7	テレビ静岡	39	39
			9	NHK総合	52	52
			11	静岡放送(SBSテレビ)	41	41
		藤枝	1	NHK総合	42	42
			3	NHK教育	44	44
			5	静岡放送(SBSテレビ)	40	40
			7	静岡第一テレビ	24	24
			10	静岡朝日テレビ	26	26
			12	テレビ静岡	38	38
	愛知	名古屋	1	東海テレビ放送(東海テレビ)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	中部日本放送(CBC)	5	5
			6	三重テレビ放送(三重テレビ)	33	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	NHK教育	9	9
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	37	37
			11	名古屋テレビ放送(メ〜テレ)	11	11
			12	中京テレビ放送(中京テレビ)	35	35
		豊橋	1	東海テレビ放送(東海テレビ)	56	1
			3	NHK総合	54	3
			5	中部日本放送(CBC)	62	5
			6	三重テレビ放送(三重テレビ)	33	33
			7	テレビ愛知	52	25
			9	NHK教育	50	9
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	37	37
			11	名古屋テレビ放送(メ〜テレ)	60	11
			12	中京テレビ放送(中京テレビ)	58	35

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中部	愛知	豊田	1	東海テレビ放送(東海テレビ)	57	1
			3	NHK総合	53	3
			5	中部日本放送(CBC)	55	5
			6	三重テレビ放送(三重テレビ)	33	33
			7	テレビ愛知	49	25
			9	NHK教育	51	9
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	37	37
			11	名古屋テレビ放送(メ〜テレ)	61	11
			12	中京テレビ放送(中京テレビ)	59	35
	三重	津	1	東海テレビ放送(東海テレビ)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	中部日本放送(CBC)	5	5
			6	三重テレビ放送(三重テレビ)	33	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	NHK教育	9	9
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	37	37
			11	名古屋テレビ放送(メ〜テレ)	11	11
			12	中京テレビ放送(中京テレビ)	35	35
		伊勢	1	東海テレビ放送(東海テレビ)	57	1
			3	NHK総合	53	3
			5	中部日本放送(CBC)	55	5
			6	三重テレビ放送(三重テレビ)	59	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	NHK教育	49	9
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	37	37
			11	名古屋テレビ放送(メ〜テレ)	61	11
			12	中京テレビ放送(中京テレビ)	47	35
		名張	1	東海テレビ放送(東海テレビ)	62	1
			3	NHK総合	52	3
			5	中部日本放送(CBC)	60	5
			6	三重テレビ放送(三重テレビ)	58	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	NHK教育	50	9
			10	岐阜放送(岐阜テレビ)	37	37
			11	名古屋テレビ放送(メ〜テレ)	56	11
			12	中京テレビ放送(中京テレビ)	54	35
近畿	滋賀	大津	2	NHK総合	28	2
			4	毎日放送	36	4
			6	朝日放送(ABC)	38	6
			7	京都放送(KBS京都)	34	34
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	40	8
			9	びわ湖放送(BBCびわ湖放送)	30	30
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	42	10
			12	NHK教育	46	12
		彦根	2	NHK総合	52	2
			4	毎日放送	54	4
			6	朝日放送(ABC)	58	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	60	8
			9	びわ湖放送(BBCびわ湖放送)	56	56
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	62	10
			12	NHK教育	50	12
	京都	京都	2	NHK総合	32	2
			3	テレビ大阪	19	19
			4	毎日放送	4	4
			6	朝日放送(ABC)	6	6
			7	京都放送(KBS京都)	34	34
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	8	8
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	10	10
			12	NHK教育	12	12
		山科	2	NHK総合	52	2
			4	毎日放送	54	4
			6	朝日放送(ABC)	56	6
			7	京都放送(KBS京都)	62	62
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	58	8
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	60	10
			12	NHK教育	50	12
		福知山	2	NHK総合	50	2
			4	毎日放送	54	4
			6	朝日放送(ABC)	58	6
			7	京都放送(KBS京都)	56	56
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	60	8
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	62	10
			12	NHK教育	52	12

地上アナログ放送の自動設定一覧表 つづき

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
近畿	京都	舞鶴	2	NHK総合	51	2
			4	毎日放送	53	4
			6	朝日放送(ABC)	55	6
			7	京都放送(KBS京都)	57	57
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	59	8
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	61	10
			12	NHK教育	49	12
	大阪	※	2	NHK総合	2	2
			3	テレビ大阪	19	19
			4	毎日放送	4	4
			5	サンテレビジョン(サンテレビ)	36	36
			6	朝日放送(ABC)	6	6
			7	京都放送(KBS京都)	34	34
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	8	8
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	10	10
			12	NHK教育	12	12
	兵庫	神戸	2	NHK総合	28	28
			4	毎日放送	31	4
			5	テレビ大阪	19	19
			6	朝日放送(ABC)	41	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	43	8
			9	サンテレビジョン(サンテレビ)	36	36
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	47	10
			12	NHK教育	45	12
		姫路	2	NHK総合	50	50
			4	毎日放送	54	4
			6	朝日放送(ABC)	58	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	60	8
			9	サンテレビジョン(サンテレビ)	56	56
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	62	10
			12	NHK教育	52	12
		明石	2	NHK総合	51	51
			4	毎日放送	53	4
			5	テレビ大阪	19	19
			6	朝日放送(ABC)	57	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	59	8
			9	サンテレビジョン(サンテレビ)	55	55
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	61	10
			12	NHK教育	49	12
		川西	2	NHK総合	29	29
			4	毎日放送	35	4
			6	朝日放送(ABC)	37	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	39	8
			9	サンテレビジョン(サンテレビ)	33	33
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	41	10
			12	NHK教育	31	12
		灘	2	NHK総合	52	52
			4	毎日放送	54	4
			5	テレビ大阪	19	19
			6	毎日放送(ABC)	56	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	58	8
			9	サンテレビジョン(サンテレビ)	62	62
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	60	10
			12	NHK教育	50	12
		長田	2	NHK総合	44	44
			4	毎日放送	38	4
			6	朝日放送(ABC)	40	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	42	8
			9	サンテレビジョン(サンテレビ)	34	34
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	48	10
			12	NHK教育	46	12
		北淡・垂水	2	NHK総合	51	51
			4	毎日放送	53	4
			6	朝日放送(ABC)	57	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	59	8
			9	サンテレビジョン(サンテレビ)	55	55
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	61	10
			12	NHK教育	49	12

※大阪は、大阪地域のチャンネルが設定されます。

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
近畿	兵庫	三木	2	NHK総合	44	44
			4	毎日放送	34	4
			6	朝日放送(ABC)	38	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	40	8
			9	サンテレビジョン(サンテレビ)	36	36
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	42	10
			12	NHK教育	46	12
	奈良	奈良	2	NHK総合	2	2
			4	毎日放送	4	4
			5	京都放送(KBS京都)	34	34
			6	朝日放送(ABC)	6	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	8	8
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	10	10
			11	奈良テレビ放送	55	55
			12	NHK教育	12	12
		生駒	2	NHK総合	2	2
			4	毎日放送	4	4
			6	朝日放送(ABC)	6	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	8	8
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	10	10
			11	奈良テレビ放送	26	55
			12	NHK教育	22	12
		五條	2	NHK総合	43	2
			4	毎日放送	33	4
			6	朝日放送(ABC)	35	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	37	8
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	39	10
			11	奈良テレビ放送	41	55
			12	NHK教育	45	12
	和歌山	和歌山	2	NHK総合	32	2
			4	毎日放送	42	4
			5	テレビ和歌山	30	30
			6	毎日放送(ABC)	44	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	46	8
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	48	10
			12	NHK教育	25	12
		海南・田辺	2	NHK総合	50	2
			4	毎日放送	54	4
			5	テレビ和歌山	56	56
			6	朝日放送(ABC)	58	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	60	8
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	62	10
			12	NHK教育	52	12
		新宮	2	NHK総合	44	2
			4	毎日放送	36	4
			5	テレビ和歌山	34	34
			6	朝日放送(ABC)	38	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	40	8
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	42	10
			12	NHK教育	46	12
中国	鳥取	鳥取	1	日本海テレビジョン放送(日本海テレビ)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			4	NHK教育	4	4
			10	山陰放送(BSSテレビ)	22	22
			12	山陰中央テレビジョン放送(TSK)	24	24
		米子	3	NHK総合	42	42
			5	NHK教育	5	5
			8	日本海テレビジョン放送(日本海テレビ)	8	8
			10	山陰放送(BSSテレビ)	10	10
			12	山陰中央テレビジョン放送(TSK)	34	34
		倉吉	1	日本海テレビジョン放送(日本海テレビ)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			4	NHK教育	4	4
			8	山陰中央テレビジョン放送(TSK)	58	58
			10	山陰放送(BSSテレビ)	56	56
	島根	松江	1	日本海テレビジョン放送(日本海テレビ)	30	30
			6	NHK総合	6	6
			8	山陰中央テレビジョン放送(TSK)	34	34
			10	山陰放送(BSSテレビ)	10	10
			12	NHK教育	12	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中国	島根	浜田	2	NHK総合	2	2
			3	日本海テレビジョン放送(日本海テレビ)	54	54
			5	山陰放送(BSSテレビ)	5	5
			8	山陰中央テレビジョン放送(TSK)	58	58
			9	NHK教育	9	9
	岡山	岡山	3	NHK教育	3	3
			5	NHK総合	5	5
			6	テレビせとうち	23	23
			7	瀬戸内海放送	25	25
			9	西日本放送	9	9
			11	山陽放送(RSK)	11	11
			12	岡山放送(OHK)	35	35
		津山	2	NHK総合	2	2
			4	テレビせとうち	56	56
			6	瀬戸内海放送	62	62
			7	山陽放送(RSK)	7	7
			9	西日本放送	58	58
			11	岡山放送(OHK)	60	60
			12	NHK教育	12	12
		笠岡	2	NHK総合	2	2
			4	NHK教育	4	4
			5	テレビせとうち	22	22
			6	山陽放送(RSK)	6	6
			9	西日本放送	34	34
			10	瀬戸内海放送	55	55
			11	岡山放送(OHK)	60	60
	広島	広島	1	テレビ新広島(TSS)	31	31
			3	NHK総合	3	3
			4	中国放送(RCC)	4	4
			7	NHK教育	7	7
			9	広島ホームテレビ	35	35
			12	広島テレビ放送(広島テレビ)	12	12
		福山	1	テレビ新広島(TSS)	54	54
			3	NHK教育	3	3
			5	NHK総合	5	5
			7	中国放送(RCC)	7	7
			9	広島ホームテレビ	57	57
			11	広島テレビ放送(広島テレビ)	11	11
		呉	1	NHK教育	1	1
			3	広島ホームテレビ	24	24
			5	広島テレビ放送(広島テレビ)	5	5
			7	テレビ新広島(TSS)	26	26
			9	中国放送(RCC)	9	9
			11	NHK総合	11	11
		尾道	1	NHK総合	1	1
			3	広島ホームテレビ	24	24
			5	テレビ新広島(TSS)	26	26
			7	NHK教育	7	7
			10	中国放送(RCC)	10	10
			12	広島テレビ放送(広島テレビ)	12	12
	山口	山口	1	NHK教育	42	42
			6	山口朝日放送(YAB山口朝日放送)	52	52
			7	テレビ山口(TYS)	49	49
			9	NHK総合	44	44
			11	山口放送(KRY山口放送)	46	46
		下関	1	NHK教育	41	41
			3	TVQ九州放送	23	23
			4	山口放送(KRY山口放送)	4	4
			6	山口朝日放送(YAB山口朝日放送)	21	21
			7	テレビ山口(TYS)	33	33
			9	NHK総合	39	39
			10	テレビ西日本(TNC)	10	10
			12	福岡放送(FBS)	35	35
		宇部	1	NHK教育	55	55
			6	山口朝日放送(YAB山口朝日放送)	24	24
			7	テレビ山口(TYS)	44	44
			9	NHK総合	58	58
			10	テレビ西日本(TNC)	10	10
			11	山口放送(KRY山口放送)	61	61

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
四国	山口	岩国	1	NHK教育	1	1
			6	山口朝日放送(YAB山口朝日放送)	28	28
			7	テレビ山口(TYS)	62	62
			9	NHK総合	9	9
			11	山口放送(KRY山口放送)	11	11
		防府	1	NHK教育	1	1
			6	山口朝日放送(YAB山口朝日放送)	28	28
			7	テレビ山口(TYS)	38	38
			9	NHK総合	9	9
			11	山口放送(KRY山口放送)	11	11
	徳島	※	1	四国放送	1	1
			3	NHK総合	3	3
			4	毎日放送	4	4
			6	朝日放送(ABC)	6	6
			8	関西テレビ放送(関西テレビ)	8	8
			10	読売テレビ放送(よみうりテレビ)	10	10
			12	NHK教育	38	12
	香川	高松	3	NHK教育	39	39
			5	NHK総合	37	37
			6	テレビせとうち	19	19
			7	瀬戸内海放送	33	33
			9	西日本放送	41	41
			11	山陽放送(RSK)	29	29
			12	岡山放送(OHK)	31	31
		丸亀	3	NHK教育	40	40
			5	NHK総合	44	44
			6	テレビせとうち	46	46
			7	瀬戸内海放送	42	42
			9	西日本放送	50	50
			11	山陽放送(RSK)	48	48
			12	岡山放送(OHK)	52	52
	愛媛	松山	2	NHK教育	2	2
			6	NHK総合	6	6
			8	あいテレビ	29	29
			9	愛媛朝日テレビ(EAT)	25	25
			10	南海放送(RNB)	10	10
			11	広島ホームテレビ	35	35
			12	テレビ愛媛	37	37
	愛媛	今治	2	NHK教育	30	30
			6	NHK総合	32	32
			8	あいテレビ	27	27
			9	愛媛朝日テレビ(EAT)	17	17
			10	南海放送(RNB)	34	34
			12	テレビ愛媛	36	36
		新居浜	2	NHK総合	2	2
			4	NHK教育	4	4
			6	南海放送(RNB)	6	6
			7	愛媛朝日テレビ(EAT)	14	14
			8	あいテレビ	27	27
			12	テレビ愛媛	36	36
		宇和島	1	NHK教育	1	1
			6	NHK総合	6	6
			8	あいテレビ	25	25
			9	愛媛朝日テレビ(EAT)	16	16
			10	南海放送(RNB)	10	10
			12	テレビ愛媛	27	27
	高知	高知	4	NHK総合	4	4
			6	NHK教育	6	6
			8	高知放送(RKC)	8	8
			10	テレビ高知(KUTV)	38	38
			12	高知さんさんテレビ(さんさんテレビ)	40	40
		四万十	1	NHK総合	1	1
			3	高知放送(RKC)	3	3
			6	テレビ高知(KUTV)	32	32
			8	高知さんさんテレビ(さんさんテレビ)	14	14
			11	NHK教育	11	11
九州・沖縄	福岡	福岡	1	九州朝日放送(KBC)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			4	アール・ケー・ビー毎日放送(RKB)	4	4
			5	TVQ九州放送	19	19
			6	NHK教育	6	6
			9	テレビ西日本(TNC)	9	9
			12	福岡放送(FBS)	37	37

※徳島は、徳島地域のチャンネルが設定されます。

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
九州・沖縄	福岡	北九州	2	九州朝日放送(KBC)	2	2
			3	福岡放送(FBS)	35	35
			5	TVQ九州放送	23	23
			6	NHK総合	6	6
			8	アール・ケー・ビー毎日放送(RKB)	8	8
			10	テレビ西日本(TNC)	10	10
			12	NHK教育	12	12
		久留米	1	九州朝日放送(KBC)	57	57
			3	NHK総合	46	46
			4	アール・ケー・ビー毎日放送(RKB)	48	48
			5	TVQ九州放送	14	14
			6	NHK教育	54	54
			9	テレビ西日本(TNC)	60	60
			12	福岡放送(FBS)	52	52
		大牟田	1	九州朝日放送(KBC)	58	58
			3	NHK総合	53	53
			4	アール・ケー・ビー毎日放送(RKB)	61	61
			5	TVQ九州放送	19	19
			6	NHK教育	50	50
			9	テレビ西日本(TNC)	55	55
			12	福岡放送(FBS)	43	43
		行橋	2	九州朝日放送(KBC)	57	57
			3	福岡放送(FBS)	43	43
			5	TVQ九州放送	19	19
			6	NHK総合	49	49
			8	アール・ケー・ビー毎日放送(RKB)	60	60
			10	テレビ西日本(TNC)	54	54
			12	NHK教育	46	46
	佐賀	佐賀	2	NHK教育	40	40
			3	福岡放送(FBS)	52	52
			4	サガテレビ	36	36
			5	TVQ九州放送	14	14
			6	九州朝日放送(KBC)	57	57
			8	アール・ケー・ビー毎日放送(RKB)	48	48
			9	NHK総合	38	38
			10	テレビ西日本(TNC)	60	60
			11	熊本放送(RKK)	11	11
		伊万里	1	NHK教育	44	44
			3	福岡放送(FBS)	52	52
			4	サガテレビ	41	41
			5	TVQ九州放送	14	14
			6	九州朝日放送(KBC)	57	57
			8	アール・ケー・ビー毎日放送(RKB)	48	48
			9	NHK総合	51	51
			10	テレビ西日本(TNC)	60	60
			11	熊本放送(RKK)	11	11
	長崎	長崎	1	NHK教育	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	長崎放送(NBC)	5	5
			7	テレビ長崎(KTN)	37	37
			9	長崎文化放送(NCC)	27	27
			11	長崎国際テレビ	25	25
		佐世保	2	NHK教育	2	2
			6	長崎文化放送(NCC)	31	31
			7	テレビ長崎(KTN)	35	35
			8	NHK総合	8	8
			10	長崎放送(NBC)	10	10
			11	長崎国際テレビ	17	17
		諫早	1	NHK教育	51	51
			3	NHK総合	59	59
			5	長崎放送(NBC)	62	62
			7	テレビ長崎(KTN)	39	39
			9	長崎文化放送(NCC)	56	56
			11	長崎国際テレビ	32	32
	熊本	熊本	2	NHK教育	2	2
			3	熊本朝日放送(KAB)	16	16
			4	熊本県民テレビ(KKT)	22	22
			6	テレビ熊本(TKU)	34	34
			9	NHK総合	9	9
			11	熊本放送(RKK)	11	11

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
九州・沖縄	熊本	水俣	1	NHK教育	1	1
			3	熊本朝日放送(KAB)	32	32
			4	NHK総合	4	4
			6	熊本放送(RKK)	6	6
			8	熊本県民テレビ(KKT)	36	36
			10	テレビ熊本(TKU)	38	38
	大分	大分	3	NHK総合	3	3
			5	大分放送(OBS)	5	5
			6	大分朝日放送(OAB大分朝日放送)	24	24
			7	テレビ大分(TOS)	36	36
			12	NHK教育	12	12
		中津	3	NHK総合	48	48
			5	大分放送(OBS)	51	51
			6	大分朝日放送(OAB大分朝日放送)	17	17
			7	テレビ大分(TOS)	37	37
			12	NHK教育	45	45
		佐伯	1	NHK教育	1	1
			5	テレビ大分(TOS)	49	49
			6	大分朝日放送(OAB大分朝日放送)	31	31
			7	NHK総合	7	7
			9	大分放送(OBS)	9	9
	宮崎	宮崎	3	テレビ宮崎(UMK)	35	35
			8	NHK総合	8	8
			10	宮崎放送(MRT)	10	10
			12	NHK教育	12	12
		延岡	2	NHK教育	2	2
			4	NHK総合	4	4
			6	宮崎放送(MRT)	6	6
			8	テレビ宮崎(UMK)	39	39
	鹿児島	鹿児島	1	南日本放送(MBC)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	NHK教育	5	5
			7	鹿児島放送(KKB鹿児島放送)	32	32
			9	鹿児島テレビ放送(KTS)	38	38
			11	鹿児島読売テレビ(KYT)	30	30
		鹿屋	2	NHK教育	2	2
			4	NHK総合	4	4
			6	南日本放送(MBC)	6	6
			8	鹿児島放送(KKB鹿児島放送)	31	31
			10	鹿児島テレビ放送(KTS)	33	33
			12	鹿児島読売テレビ(KYT)	25	25
		阿久根	4	鹿児島放送(KKB鹿児島放送)	23	23
			6	鹿児島テレビ放送(KTS)	35	35
			8	NHK総合	8	8
			10	南日本放送(MBC)	10	10
			11	鹿児島読売テレビ(KYT)	17	17
			12	NHK教育	12	12
	沖縄	※	2	NHK総合	2	2
			6	琉球朝日放送(QAB)	28	28
			8	沖縄テレビ放送(OTV)	8	8
			10	琉球放送(RBC)	10	10
			12	NHK教育	12	12

※沖縄は、那覇地域のチャンネルが設定されます。

地上デジタル放送の放送(予定)一覧表

- この表は、地上デジタル放送の放送予定を表したものです。
  同時に、以下についても記載しています。
  (1) 域内(お住まいの地域)の放送がリモコンの数字ボタンに自動設定される目安
  - 「はじめての設定」25や「地上デジタル自動設定」41をすると、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを探してリモコンの数字ボタン[1]～[12]に放送の運用規定に基づいて自動設定されます。
    この表では、その際に域内のどの放送局がどのリモコンボタンに自動設定されるのか、その目安を記載しています。

  (2) 番組表に表示される域内の放送局の順番(目安)
- この表をご覧の際には、次ページの「お知らせ」もよくお読みください。
- 放送局の開局の状況などによっては、この表のとおり(上記のとおり)にならない場合があります。

2008年3月現在

地方名	都道府県名または地域・都市名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
北海道	北海道全域(区域放送開始前)	1	HBC北海道放送	3
		2	NHK教育・札幌	2
		3	NHK総合・札幌	1
		5	STV札幌テレビ	4
		6	HTB北海道テレビ	5
		7	TVH	7
		8	UHB	6
	旭川(区域放送開始後)	1	HBC旭川	3
		2	NHK教育・旭川	2
		3	NHK総合・旭川	1
		5	STV旭川	4
		6	HTB旭川	5
		7	TVH旭川	7
		8	UHB旭川	6
	釧路(区域放送開始後)	1	HBC釧路	3
		2	NHK教育・釧路	2
		3	NHK総合・釧路	1
		5	STV釧路	4
		6	HTB釧路	5
		7	TVH釧路	7
		8	UHB釧路	6
	北見(区域放送開始後)	1	HBC北見	3
		2	NHK教育・北見	2
		3	NHK総合・北見	1
		5	STV北見	4
		6	HTB北見	5
		7	TVH北見	7
		8	UHB北見	6
	帯広(区域放送開始後)	1	HBC帯広	3
		2	NHK教育・帯広	2
		3	NHK総合・帯広	1
		5	STV帯広	4
		6	HTB帯広	5
		7	TVH帯広	7
		8	UHB帯広	6
	札幌(区域放送開始後)	1	HBC札幌	3
		2	NHK教育・札幌	2
		3	NHK総合・札幌	1
		5	STV札幌	4
		6	HTB札幌	5
		7	TVH札幌	7
		8	UHB札幌	6
	函館(区域放送開始後)	1	HBC函館	3
		2	NHK教育・函館	2
		3	NHK総合・函館	1
		5	STV函館	4
		6	HTB函館	5
		7	TVH函館	7
		8	UHB函館	6
	室蘭(区域放送開始後)	1	HBC室蘭	3
		2	NHK教育・室蘭	2
		3	NHK総合・室蘭	1
		5	STV室蘭	4
		6	HTB室蘭	5
		7	TVH室蘭	7
		8	UHB室蘭	6

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
東北	青森	1	RAB青森放送	3
		2	NHK教育・青森	2
		3	NHK総合・青森	1
		5	青森朝日放送	5
		6	ATV青森テレビ	4
	岩手	1	NHK総合・盛岡 ※3	1
		2	NHK教育・盛岡 ※3	2
		4	テレビ岩手	4
		5	岩手朝日テレビ	6
		6	IBCテレビ	3
		8	めんこいテレビ	5
	宮城	1	TBCテレビ	3
		2	NHK教育・仙台	2
		3	NHK総合・仙台	1
		4	ミヤギテレビ	5
		5	KHB東日本放送	6
		8	仙台放送	4
	秋田	1	NHK総合・秋田	1
		2	NHK教育・秋田	2
		4	ABS秋田放送	3
		5	AAB秋田朝日放送	5
		8	AKT秋田テレビ	4
	山形	1	NHK総合・山形	1
		2	NHK教育・山形	2
		4	YBC山形放送	3
		5	YTS山形テレビ	4
		6	テレビユー山形	5
		8	さくらんぼテレビ	6
	福島	1	NHK総合・福島 ※3	1
		2	NHK教育・福島 ※3	2
		4	福島中央テレビ	4
		5	KFB福島放送	5
		6	テレビユー福島	6
		8	福島テレビ	3
関東	茨城	1	NHK総合・水戸 ※3	1
		2	NHK教育・東京	2
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	8
	栃木	1	NHK総合・東京	1
		2	NHK教育・東京	2
		3	とちぎテレビ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9
	群馬	1	NHK総合・東京	1
		2	NHK教育・東京	2
		3	群馬テレビ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
関東	埼玉	1	NHK総合・東京	1
		2	NHK教育・東京	2
		3	テレ玉	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9
	千葉	1	NHK総合・東京	1
		2	NHK教育・東京	2
		3	チバテレビ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9
	東京	1	NHK総合・東京	1
		2	NHK教育・東京	2
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		9	TOKYO MX	8
		12	放送大学	9
	神奈川	1	NHK総合・東京	1
		2	NHK教育・東京	2
		3	tvk	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9
甲信越	新潟	1	NHK総合・新潟	1
		2	NHK教育・新潟	2
		4	TeNYテレビ新潟	5
		5	新潟テレビ21	6
		6	BSN	3
		8	NST	4
	山梨	1	NHK総合・甲府 ※3	1
		2	NHK教育・甲府 ※3	2
		4	YBS山梨放送	3
		6	UTY	4
	長野	1	NHK総合・長野	1
		2	NHK教育・長野	2
		4	テレビ信州	3
		5	abn長野朝日放送	4
		6	SBC信越放送	5
		8	NBS長野放送	6

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
中部	富山	1	KNB北日本放送	3
		2	NHK教育・富山 ※3	2
		3	NHK総合・富山 ※3	1
		6	チューリップテレビ	5
		8	BBT富山テレビ	4
	石川	1	NHK総合・金沢 ※3	1
		2	NHK教育・金沢 ※3	2
		4	テレビ金沢	3
		5	北陸朝日放送	4
		6	MRO	5
		8	石川テレビ	6
	福井	1	NHK総合・福井 ※3	1
		2	NHK教育・福井 ※3	2
		7	FBCテレビ	3
		8	福井テレビ	4
	静岡	1	NHK総合・静岡	1
		2	NHK教育・静岡	2
		4	静岡第一テレビ	5
		5	静岡朝日テレビ	6
		6	SBS	3
		8	テレビ静岡	4
	愛知	1	東海テレビ	3
		2	NHK教育・名古屋	2
		3	NHK総合・名古屋	1
		4	中京テレビ	6
		5	CBC	4
		6	メ～テレ	5
		10	テレビ愛知	7
	三重	1	東海テレビ	3
		2	NHK教育・名古屋	2
		3	NHK総合・津 ※3	1
		4	中京テレビ	6
		5	CBC	4
		6	メ～テレ	5
		7	三重テレビ	7
	岐阜	1	東海テレビ	3
		2	NHK教育・名古屋	2
		3	NHK総合・岐阜 ※3	1
		4	中京テレビ	6
		5	CBC	4
		6	メ～テレ	5
		8	岐阜テレビ	7
近畿	滋賀	1	NHK総合・大津 ※3	1
		2	NHK教育・大阪	2
		3	BBCびわ湖放送	7
		4	MBS毎日放送	3
		6	ABCテレビ	4
		8	関西テレビ	5
		10	読売テレビ	6
	京都	1	NHK総合・京都 ※3	1
		2	NHK教育・大阪	2
		4	MBS毎日放送	3
		5	KBS京都	7
		6	ABCテレビ	4
		8	関西テレビ	5
		10	読売テレビ	6
	大阪	1	NHK総合・大阪	1
		2	NHK教育・大阪	2
		4	MBS毎日放送	3
		6	ABCテレビ	4
		7	テレビ大阪	7
		8	関西テレビ	5
		10	読売テレビ	6

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
近畿	兵庫	1	NHK総合・神戸 ※3	1
		2	NHK教育・大阪	2
		3	サンテレビ	7
		4	MBS毎日放送	3
		6	ABCテレビ	4
		8	関西テレビ	5
		10	読売テレビ	6
	奈良	1	NHK総合・奈良 ※3	1
		2	NHK教育・大阪	2
		4	MBS毎日放送	3
		6	ABCテレビ	4
		8	関西テレビ	5
		9	奈良テレビ	7
		10	読売テレビ	6
	和歌山	1	NHK総合・和歌山 ※3	1
		2	NHK教育・大阪	2
		4	MBS毎日放送	3
		5	テレビ和歌山	7
		6	ABCテレビ	4
		8	関西テレビ	5
		10	読売テレビ	6
中国	鳥取	1	日本海テレビ	5
		2	NHK教育・鳥取 ※3	2
		3	NHK総合・鳥取 ※3	1
		6	BSSテレビ	4
		8	山陰中央テレビ	3
	島根	1	日本海テレビ	5
		2	NHK教育・松江 ※3	2
		3	NHK総合・松江 ※3	1
		6	BSSテレビ	4
		8	山陰中央テレビ	3
	岡山	1	NHK総合・岡山 ※3	1
		2	NHK教育・岡山 ※3	2
		4	RNC西日本テレビ	3
		5	KSB瀬戸内海放送	4
		6	RSKテレビ	5
		7	テレビせとうち	6
		8	OHKテレビ	7
	広島	1	NHK総合・広島	1
		2	NHK教育・広島	2
		3	RCCテレビ	3
		4	広島テレビ	4
		5	広島ホームテレビ	5
		8	TSS	6
	山口	1	NHK総合・山口 ※3	1
		2	NHK教育・山口 ※3	2
		3	tysテレビ山口	4
		4	KRY山口放送	3
		5	yab山口朝日	5

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
四国	徳島	1	四国放送	3
		2	NHK教育・徳島 ※3	2
		3	NHK総合・徳島 ※3	1
	香川	1	NHK総合・高松 ※3	1
		2	NHK教育・高松 ※3	2
		4	RNC西日本テレビ	3
		5	KSB瀬戸内海放送	4
		6	RSKテレビ	5
		7	テレビせとうち	6
		8	OHKテレビ	7
	愛媛	1	NHK総合・松山	1
		2	NHK教育・松山	2
		4	南海放送	3
		5	愛媛朝日	4
		6	あいテレビ	5
		8	テレビ愛媛	6
	高知	1	NHK総合・高知	1
		2	NHK教育・高知	2
		4	高知放送	3
		6	テレビ高知	4
		8	さんさんテレビ	5
九州・沖縄	福岡	1	KBC九州朝日放送	3
		2	NHK教育・福岡 NHK教育・北九州 ※2	2
		3	NHK総合・福岡 NHK総合・北九州 ※2	1
		4	RKB毎日放送	4
		5	FBS福岡放送	5
		7	TVQ九州放送	6
		8	TNCテレビ西日本	7
	佐賀	1	NHK総合・佐賀 ※3	1
		2	NHK教育・佐賀 ※3	2
		3	STSサガテレビ	3
	長崎	1	NHK総合・長崎 ※3	1
		2	NHK教育・長崎 ※3	2
		3	NBC長崎放送	3
		4	NIB長崎国際テレビ	6
		5	NCC長崎文化放送	5
		8	KTNテレビ長崎	4
	熊本	1	NHK総合・熊本 ※3	1
		2	NHK教育・熊本 ※3	2
		3	RKK熊本放送	3
		4	KKTくまもと県民	5
		5	KAB熊本朝日放送	6
		8	TKUテレビ熊本	4
	大分	1	NHK総合・大分 ※3	1
		2	NHK教育・大分 ※3	2
		3	OBS大分放送	3
		4	TOSテレビ大分	4
		5	OAB大分朝日放送	5
	宮崎	1	NHK総合・宮崎 ※3	1
		2	NHK教育・宮崎 ※3	2
		3	UMKテレビ宮崎	4
		6	MRT宮崎放送	3
	鹿児島	1	MBC南日本放送	3
		2	NHK教育・鹿児島 ※3	2
		3	NHK総合・鹿児島 ※3	1
		4	KYT鹿児島読売TV	6
		5	KKB鹿児島放送	5
		8	KTS鹿児島テレビ	4
	沖縄	1	NHK総合・那覇	1
		2	NHK教育・那覇	2
		3	RBCテレビ	3
		5	QAB琉球朝日放送	4
		8	沖縄テレビ(OTV)	5

■ 表中の「リモコンボタン※１」の項目について

● 「初期スキャン」や「再スキャン」をしたときに、その放送局がリモコンのどの数字ボタンに設定されるかを表します。

■ 表中の「※2」が記載されている放送局の放送について

● 「初期スキャン」や「再スキャン」の際に、入力レベルの高いほうの放送が数字ボタンに設定されます。
（これは、放送の運用規定によるものです）

■ 表中の「※3」が記載されている放送局（NHK）の放送について

● 「初期スキャン」や「再スキャン」の際に受信できなかった場合は、受信できた域外（お住まいの地域以外）のNHK放送が数字ボタンに設定されます。（設定される放送は、地域によって決められています）
その後「※3」の放送が受信できると、新しい放送に設定が変更されます。（これは、放送の運用規定によるものです）

東芝デジタルテレビA8000で使われるソフトウェアのライセンス情報

東芝デジタルテレビ19/22A8000（A8000と略して記載します）に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに東芝または第三者の著作権が存在します。

東芝デジタルテレビA8000は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下、「EULA」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧いただくようお願いいたします。

ホームページアドレス
http://www.toshiba.co.jp/product/tv/LZ1/eula/

また、**東芝デジタルテレビA8000**のソフトウェアコンポーネントには、東芝自身が開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント類には、東芝の所有権が存在し、著作権法、国際条約条項及び他の準拠法によって保護されています。「EULA」の適用を受けない東芝自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネンツは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた**東芝デジタルテレビA8000**は、製品として、弊社所定の保証をいたします。

ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is"（現状）の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、東芝は一切の責任を負いません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネンツの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

東芝デジタルテレビA8000に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は東芝以外の第三者による規定であるため、原文（英文）を記載します。

東芝デジタルテレビA8000で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント　**原文（英文）**

対応ソフトウェアモジュール	
Linux Kernel busybox	Exhibit A
glibc gcc	Exhibit B
malloc	Exhibit C
PPxP	Exhibit D

Exhibit A

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/ or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License;they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part there of, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program,and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code,which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any thirdparty, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange;or,
c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the

Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/ OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<One line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © 19yy <name of author>
This program is free software; you can redistribute it and/ or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.
This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation,Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © 19yy name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items – whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program; if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.
<signature of Ty Coon>,1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

Exhibit B

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages – typically libraries – of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author’s reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General PublicLicense. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the “Lesser” General Public License because it does Less to protect the user’s freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in nonfree programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users’ freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a “work based on the library” and a “work that uses the library”. The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

**GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING,
DISTRIBUTION AND MODIFICATION**

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called “this License”). Each licensee is addressed as “you”.

A “library” means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The “Library”, below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A “work based on the Library” means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term “modification”.)

“Source code” for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library’s complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d)If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this,

you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machinereadable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables..

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications. You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7.You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library", the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus

excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/ or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/ OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/ OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © <year> <name of author>
This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.
This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation,Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>,1 April 1990
Ty Coon,President of Vice

That's all there is to it!

Exhibit C

This is a version (aka dlmalloc) of malloc/free/realloc written by Doug Lea and released to the public domain. Use, modify, and redistribute this code without permission or acknowledgement in any way you wish. Send questions, comments, complaints, performance data, etc to dl@cs.oswego.edu

VERSION 2.7.2 Sat Aug 17 09:07:30 2002 Doug Lea (dl at gee)
Note: There may be an updated version of this malloc obtainable at
ftp://gee.cs.oswego.edu/pub/misc/malloc.c
Check before installing!

Exhibit D

●利用と配布
Copyright (c) 1997, 1998, 1999 The PPxP Development Team. All rights reserved.

以下の条件が満たされる限り、変更の有無に関係なくソースおよびバイナリ形式での再配布と利用を許可します:

ソースコードの再配布には上記の著作権表示、これらの条項と後述の免責条項がそのまま含まれていなければなりません。
バイナリ形式の再配布には上記の著作権表示、これらの条項と後述の免責条項が配布に含まれている文章、もしくはその他の資料にそのまま含まれていなければなりません。
このソフトウェアの機能や利用方法について記述されている全ての宣伝資料には以下の文章を記載して下さい:
この製品にはPPxP開発チームによって開発されたソフトウェアが含まれています。

事前承諾なしにこのソフトウェアから派生した製品の推奨や宣伝のためにこのチームや賛同者達の名前を利用することはできません。

●免責
PPxP開発チームが提供しているのはソフトウェアそのもののみであり、保証や責任などを提供しているわけではありません。このソフトウェアを導入したり、利用したりすることにより、あるいは何もしないことによりよって生じたいかなる問題についてもこのチーム、そのメンバー、テスター、および本ソフトウェア内に名前が記載されている者が責任を負うことはありません。

対応機器一覧

（2009年2月現在）

1 レグザリンク対応の東芝レコーダー

形　名
RD-A600*、RD-A300*、RD-S601、RD-S301、RD-E301、RD-A301、RD-X7、RD-S502、RD-S302、RD-E302、RD-X8、RD-S503、RD-S303、D-H320、RD-G503、RD-E303

*印の機種はバージョンアップが必要です。詳しくはhttp://www3.toshiba.co.jp/hdd-dvd/index_j.htmlでご確認ください。

2 レグザリンク対応AVシステム機器(推奨機器)

※ 推奨機器以外での動作は保証いたしかねます。

メーカー	形　名
オンキヨー	TX-SA806X、TX-SA706X、TX-SA606X、TX-SA605、TX-SA705、TX-SA805、TX-NA906X、TX-NA905、DTX-9.9、DTX-8.9、DTX-5.9、DTX-5.8、DTX-7.8、DTX-8.8、DHC-9.9、DTC-9.8、BASE-V20HD、SA-205HD、HTX-22HD、CB-SP1380+DHT-9HD（再生にはオプションサブウーハーDHT-9HDが必要になります）
YAMAHA	YSP-1000、YSP-600、DSP-AX863、DSP-AX763、YSP-LCP4000、YSP-LC4000、YSP-4000、YSP-3000、YSP-LC3000、YSP-LCW3000、DSP-Z7、DSP-AX3900
デノン	AVP-A1HDSP、AVC-A1HDSP、AVC-2809、AVC-1909 、AVC-2809

3 レグザリンク対応ビデオカメラレコーダー

商　品　名	形　名
東芝ハイビジョンムービーカメラ gigashot	GSC-A100F、GSC-A40F

4 レグザリンク対応東芝パソコン

商　品　名	形　名
Qosmio	G50/98G、G50/97G、F50/88G、F50/86G、G40/97E、G40/97D、G50/98H、G50/97H、G50/96H
dynabook	AX/54G、AX/53G、AX/53GBL、AX/53GPK、AX/55F、AX/54F、AX/53F、AX/53FBL、AX/53FPK、TX/67G、TX/66G、TX/66GBL、TX/66GPK、TX/68F、TX/67F、TX/66F、TX/66FBL、TX/66FPK、TX/68H、TX/67H、TX/66H、TX/66HBL、TX/66HPK、CX/48G、CX/47G、CX/45G、CX/48F、CX/47F、CX/45F、CX/48H、CX/47H、CX/45H
dynabook Qosmio	GX/79G、FX/77G、GX/G8H、GX/G7H

保証とアフターサービス

必ずお読みください

修理・お取り扱いについてご不明な点は

お買い上げの販売店にご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、以下の窓口にご相談ください。

「東芝テレビご相談センター」【受付時間】365日／9:00～20:00

【一般回線・PHSからのご利用は】（通話料：無料）

フリーダイヤル 0120-97-9674（クナン クローナシ）

●IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、

03-6830-1048（通話料：有料）

【携帯電話からのご利用は】（通話料：有料）

ナビダイヤル 0570-05-5100

【FAXからのご利用は】（通信料：有料）

03-3258-0470

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。

・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

ホームページに最新の商品情報などを掲載しておりますので、ご参照ください。 www.toshiba.co.jp/regza

※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。その場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ（www.toshiba.co.jp）をご参照ください。

保証書（別添）

●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

保証期間……お買い上げの日から1年間です。
B-CASカードは、保証の対象から除きます。

補修用性能部品の保有期間

●液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

●修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
●修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは～出張修理

●「操作編」42ページに従って調べていただき、なお異常があるときは本体の電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品名	地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
形名	19A8000、22A8000
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等もあわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	
お買い上げ店名	おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。 TEL（　　）　―

廃棄時にご注意願います

●家電リサイクル法では、お客様がご使用済の液晶テレビを2009年4月1日以降に廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際このような症状はありませんか?

●電源を入れても映像や音が出ない。
●映像が時々、消えることがある。
●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
●電源を切っても、映像や音が消えない。
●内部に水や異物がはいった。

ご使用中止

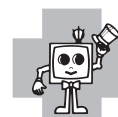
このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

株式会社 東芝

デジタルメディアネットワーク社

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

PRINTED WITH SOY INK

●この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。

●この印刷物は再生紙を使用しています。

TD/O3 VX1A00135500